

1 ヒスタミンを産生するのはどれか。

- a リンパ球
- b 単 球
- c 好中球
- d 好酸球
- e 好塩基球

2 コラーゲンの約 1/3 を占めるアミノ酸はどれか。

- a リシン
- b グリシン
- c プロリン
- d フェニルアラニン
- e ヒドロキシプロリン

3 ヒト永久歯の基本歯式はどれか。

a I $\frac{3}{3}$ C $\frac{1}{1}$ P $\frac{4}{4}$ M $\frac{3}{3}$

b I $\frac{3}{3}$ C $\frac{1}{1}$ P $\frac{4}{4}$ M $\frac{2}{3}$

c I $\frac{0}{3}$ C $\frac{0}{1}$ P $\frac{3}{3}$ M $\frac{3}{3}$

d I $\frac{2}{2}$ C $\frac{1}{1}$ P $\frac{2}{2}$ M $\frac{3}{3}$

e I $\frac{2}{2}$ C $\frac{1}{1}$ P $\frac{2}{2}$ M $\frac{2}{2}$

4 医療面接で患者の立場に配慮した質問法はどれか。

- a 開かれた質問
- b 誘導型の質問
- c 重複型の質問
- d 中立的な質問
- e 繰り返しの質問

5 痛みを指標としないのはどれか。

- a 打診
- b 温度診
- c 電気診
- d 化学診
- e 動揺度診査

6 対象部位とエックス線撮影法との組合せで誤っているのはどれか。

- a 鼻口蓋管 ——— 咬合法
- b 下顎管 ——— パノラマ撮影法
- c 下顎骨体 ——— Waters 撮影法
- d 頬骨弓 ——— 頭部軸方向投影法
- e 耳下腺 ——— CT

7 施錠せずに保管できるのはどれか。

- a 向精神薬
- b 毒物・劇物
- c 麻 薬
- d 毒 薬
- e 劇 薬

8 に入るのはどれか。

は、現状にそぐわなくなった「ヒポクラテスの誓い」を時代に沿うようにしたものである。 は、医療における人道的目標に向けての医師の奉仕的提言として、世界医師会が行った最初の提言である。

- a ジュネーブ宣言
- b ヘルシンキ宣言
- c シドニー宣言
- d マドリード宣言
- e ニュールンベルグ綱領

9 医療の担い手が医療を提供するに当たり適切な説明を行い、医療を受ける者の理解を得るよう努めることを記した法律はどれか。

- a 刑 法
- b 民 法
- c 医療法
- d 地域保健法
- e 健康保険法

10 健康日本 21 で正しいのはどれか。

- a 2020 年に到達すべき健康目標を示している。
- b 不正咬合の減少が歯の健康目標の一つである。
- c 歯の健康増進の達成が主な目標となっている。
- d 歯の健康目標達成のため 8020 の目標値が定められている。
- e 少子化による人口減少の対策が掲げられている。

11 mRNA のトリプレットコドン表を示す。

1文字目 (5' 末端)	2文字目				3文字目 (3' 末端)
	U	C	A	G	
U	Phe	Ser	Tyr	Cys	U
	Phe	Ser	Tyr	Cys	C
	Leu	Ser	終 止	終 止	A
	Leu	Ser	終 止	Trp	G
C	Leu	Pro	His	Arg	U
	Leu	Pro	His	Arg	C
	Leu	Pro	Gln	Arg	A
	Leu	Pro	Gln	Arg	G
A	Ile	Thr	Asn	Ser	U
	Ile	Thr	Asn	Ser	C
	Ile	Thr	Lys	Arg	A
	Met(開始)	Thr	Lys	Arg	G
G	Val	Ala	Asp	Gly	U
	Val	Ala	Asp	Gly	C
	Val	Ala	Glu	Gly	A
	Val	Ala	Glu	Gly	G

鋳型 DNA 鎖(TAC-CTC-TTA)から合成されるペプチドはどれか。

- a チロシン — アラニン — システイン
- b チロシン — ロイシン — ロイシン
- c メチオニン — グルタミン酸 — アスパラギン
- d メチオニン — グルタミン — アスパラギン酸
- e メチオニン — グルタミン — アスパラギン

12 基底膜を構成するのはどれか。

- (1) ラミニン
- (2) ケラチン
- (3) I型コラーゲン
- (4) III型コラーゲン
- (5) IV型コラーゲン

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

13 非酵素性抗菌物質はどれか。

- (1) リゾチーム
- (2) スタテリン
- (3) カリクレイン
- (4) ヒスタチン
- (5) アポラクトフェリン

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

14 キニンを生成するのはどれか。

- a キニナーゼ
- b チロシンキナーゼ
- c シクロオキシゲナーゼ
- d カリクレイン
- e レニン

15 頭蓋骨を前面から見て観察できるのはどれか。

- (1) 切歯孔
- (2) 眼窩下孔
- (3) オトガイ孔
- (4) 口蓋孔
- (5) 下顎孔

- a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

16 粘膜下組織が存在しないのはどれか。

- a 口 唇
- b 歯 肉
- c 硬口蓋
- d 軟口蓋
- e 頬

17 エナメル横紋に関連するのはどれか。

- a Andresen 線
- b Retzius の並行条
- c Hunter-Schreger 条
- d Owen の外形線
- e Ebner の成長線

18 歯軸方向の咬合圧に最も抵抗するのはどれか。

- a 歯槽頂線維群
- b 水平線維群
- c 根間線維群
- d 斜走線維群
- e 根尖線維群

19 末梢血管を拡張するのはどれか。

- a 酸素、
- b 二酸化炭素
- c セロトニン
- d 抗利尿ホルモン
- e アンギオテンシンⅡ

20 痛覚で正しいのはどれか。

- a 一次痛は C 線維によって伝導される。
- b 内臓痛は局在の判別性が高い。
- c 平滑筋の収縮は内臓痛を引き起こす。
- d 痛点は触点より分布密度が低い。
- e 痛覚線維は前根を経て脊髓前角に入る。

21 血液の緩衝系でないのはどれか。

- a 炭酸塩系
- b 重炭酸塩系
- c リン酸塩系
- d 血漿タンパク系
- e ヘモグロビン系

22 開口反射と屈曲反射とに共通するのはどれか。

- (1) 両側性
- (2) 多シナプス性
- (3) 侵害入力
- (4) 筋紡錘入力
- (5) γ 運動ニューロン

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

23 受容器細胞と一次ニューロンとが同一なのはどれか。

- (1) 視 覚
- (2) 聴 覚
- (3) 味 覚
- (4) 嗅 覚
- (5) 体性感覚

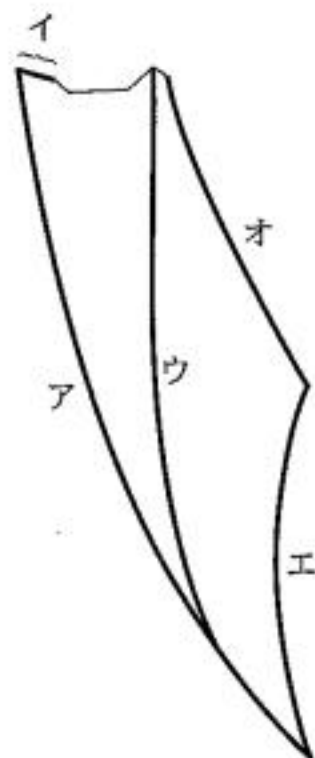
a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

24 成人の嚥下の咽頭相で起こるのはどれか。

- (1) 耳管開口
- (2) 軟口蓋下降
- (3) 喉頭蓋上昇
- (4) 喉頭挙上
- (5) 呼吸運動停止

a (1)、(2) b; (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

25 下顎の矢状面限界運動を図に示す。



蝶番運動はどれか。

- (1) ア
- (2) イ
- (3) ウ
- (4) エ
- (5) オ

a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3) d (3), (4) e (4), (5)

26 ツボクラリンで正しいのはどれか。

- a アセチルコリン放出の抑制
- b アセチルコリン分解の抑制
- c ムスカリン受容体との結合
- d ニコチン受容体との結合
- e ナトリウムチャネルの不活性化

27 ヘルパー T 細胞の機能はどれか。

- a CD 4 をもつ。
- b 形質細胞に分化する。
- c 食作用をもつ。
- d Fc レセプターをもつ。
- e 移植組織の細胞を排除する。

28 正しいのはどれか。

- (1) クラス I MHC は多種の組織細胞に発現している。
- (2) クラス II MHC はマクロファージに発現している。
- (3) Th 1 細胞は IL-2、IFN- γ を産生する。
- (4) Th 1 細胞は B 細胞の抗体産生を誘導する。
- (5) Th 2 細胞はマクロファージを活性化する。

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

29 I型アレルギー反応はどれか。

- a 関節リウマチ
- b じんま疹
- c 結核症
- d 溶血性貧血
- e 糸球体腎炎

30 Rh 陰性の母親と Rh 陽性の父親との間に生まれた第 2 子に新生児溶血性黄疸が生じた。

この病態に関与するのはどれか。

- a IgA
- b IgD
- c IgE
- d IgG
- e IgM

31 内毒素の生物活性はどれか。

- (1) タンパク質分解活性
- (2) 糖発酵活性
- (3) 補体活性化
- (4) 骨吸収作用
- (5) 発熱作用

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

32 咽頭ぬぐい液の Ziehl-Neelsen 染色で赤く染まる小桿菌が検出された。
培養に用いるのはどれか。

- a ミティス・サリバリウス寒天培地
- b ボルデー・ジャング培地
- c 遠藤培地
- d 小川培地
- e 胆汁培地

33 正しい組合せはどれか。

- a 手足口病 ————— コクサッキーウイルス
- b 帯状疱疹 ————— EB ウイルス
- c 麻疹 ————— サイトメガロウイルス
- d 成人 T 細胞白血病 ————— ムンプスウイルス
- e 流行性耳下腺炎 ————— ポリオウイルス

34 単純ヘルペスウイルス 1 型で正しいのはどれか。

- a 初感染はほとんどが顕性感染の形をとる。
- b 初感染の後、脊髄後根神経節に潜伏感染する。
- c 好発部位は性器である。
- d 皮膚や粘膜に水疱性病変を形成する。
- e 治癒後には排除される。

35 歯肉縁下で優勢なのはどれか。

- a *Streptococcus mutans*
- b *Lactobacillus casei*
- c *Mycoplasma salivarium*
- d *Actinomyces viscosus*
- e *Prevotella intermedia*

36 *Porphyromonas gingivalis* の病原因子はどれか。

- (1) ロイコトキシン
- (2) 発熱毒素
- (3) ヒアルロニダーゼ
- (4) 内毒素
- (5) コラゲナーゼ

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

37 プリオンの本体はどれか。

- a DNA
- b RNA
- c 糖 質
- d 脂 質
- e タンパク質

38 腫瘍性形質細胞が増殖するのはどれか。

- a 多発性骨髄腫
- b 悪性線維性組織球腫
- c 悪性黒色腫
- d 骨髄性白血病
- e 悪性胸腺腫

39 慢性増殖性歯髄炎の特徴はどれか。

- a 潰瘍形成
- b 膿瘍形成
- c 肉芽組織形成
- d 第三象牙質形成
- e 異栄養性石灰沈着

40 催奇形性作用を最も受けやすいのはどれか。

- a 受精直後
- b 細胞期
- c 胎芽期
- d 胎児期
- e 新生児期

41 生活歯にインレー窩洞の形成、シリコーンゴム印象採得および酸化亜鉛ユージンオールセメント仮封を行った。翌日、患者は軽度の咀嚼時痛を訴えた。冷水痛はない。

咀嚼時痛の原因で考えられるのはどれか。

- a 齶蝕象牙質の取り残し
- b 歯の切削による刺激
- c 印象材の刺激
- d 仮封材の刺激
- e 辺縁漏洩

42 消失が離乳開始の指標となるのはどれか。

- a 探索反射
- b 口唇反射
- c 吸啜反射
- d 嚥下反射
- e 舌挺出反射

43 先天欠如の頻度が高いのはどれか。

- a 上顎乳中切歯
- b 上顎中切歯
- c 下顎第二乳臼歯
- d 下顎第二小臼歯
- e 下顎第一大臼歯

44 象牙質知覚過敏症の患歯の特定に有効なのはどれか。

(1) エックス線診査

(2) 打診

(3) 動揺度診査

(4) 温度診

(5) 擦過診

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

45 咬合性外傷を起こしにくいのはどれか。

- a 早期接触
- b 側方位咬頭干涉
- c 1 歯対 2 歯咬合
- d クレンチング
- e グラインディング

46 口呼吸患者でみられるのはどれか。

- (1) 口輪筋の弛緩
- (2) 前歯部歯肉の肥厚
- (3) 上顎歯列弓の狭窄
- (4) 上顎前歯の舌側傾斜
- (5) 上唇小帯の高位付着

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

47 生理的な加齢変化はどれか。

- (1) 歯髓腔の拡大
- (2) 歯根膜腔の拡大
- (3) セメント質の肥厚
- (4) 歯冠の変色
- (5) 歯根の短小化

- a (1)、(2)
- b (1)、(5)
- c (2)、(3)
- d (3)、(4)
- e (4)、(5)

48 疾患と異常値を示す検査項目との組合せで正しいのはどれか。

- a 糖尿病 ————— HbA_{1c}
- b リウマチ性顎関節炎 ————— AST
- c 血友病A ————— Ret
- d Plummer-Vinson 症候群 ————— Na
- e 口腔梅毒 ————— Ht

49 歯科用デジタルエックス線撮影システムで誤っているのはどれか。

- a CCD (電荷結合素子) センサーを用いる。
- b 撮影直後に画像を観察できる。
- c コントラストを強調できる。
- d 解像度はフィルムよりも高い。
- e 被曝線量はフィルムを用いるよりも低い。

50 上顎の二等分法エックス線写真で見られるのはどれか。

- a 関節突起
- b 茎状突起
- c 翼状突起
- d 前頭突起
- e 筋突起

51 エックス線写真(別冊No. 1)を別に示す。

認められる所見はどれか。

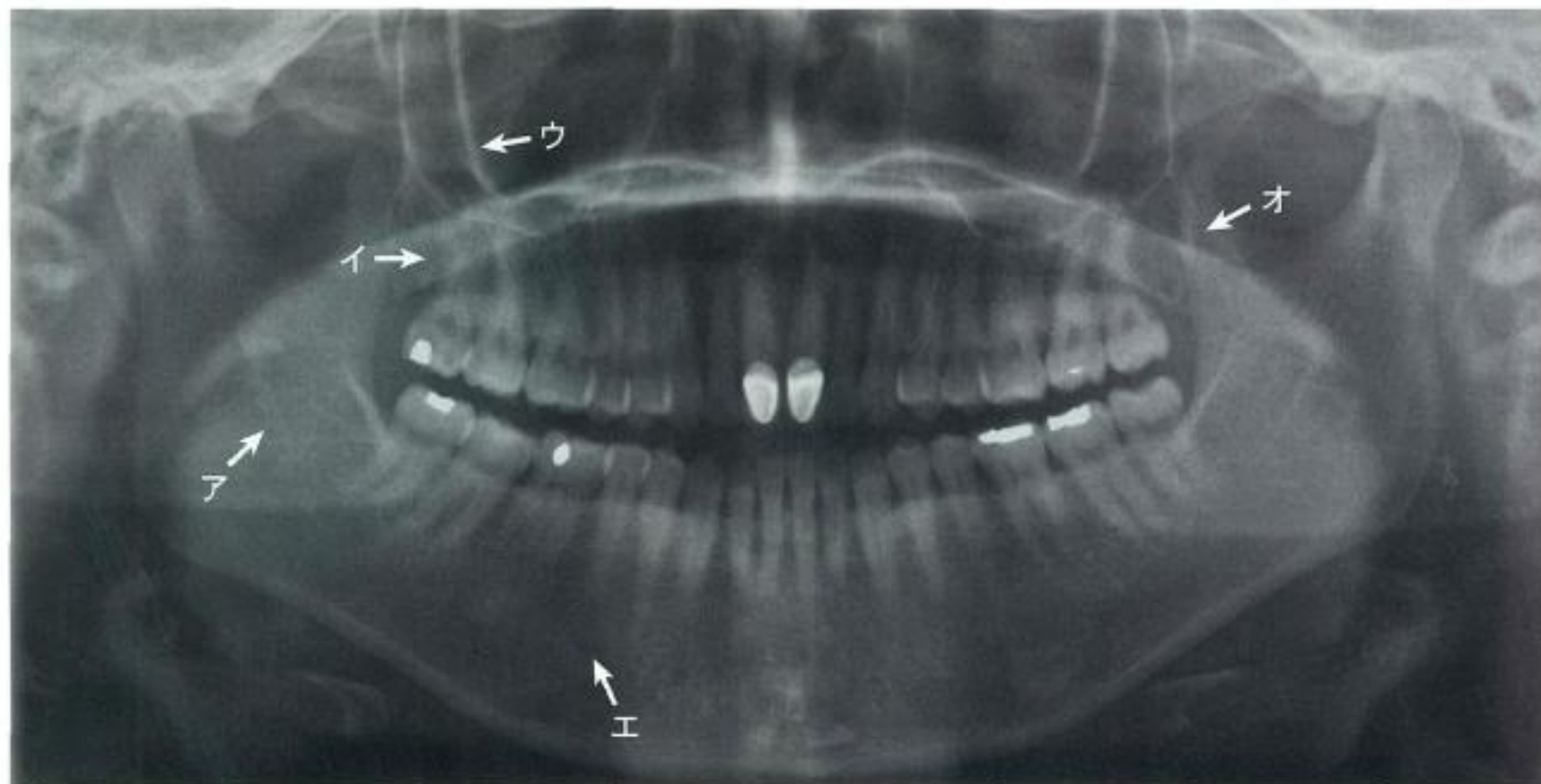
- a 上顎小白歯の隣接面齲蝕
- b 下顎大白歯の咬合面齲蝕
- c 上顎臼歯部の水平性骨吸収
- d 下顎臼歯部の垂直性骨吸収
- e 下顎大白歯の根分岐部病変



52 パノラマエックス線写真(別冊No. 2)を別に示す。

誤っている組合せはどれか。

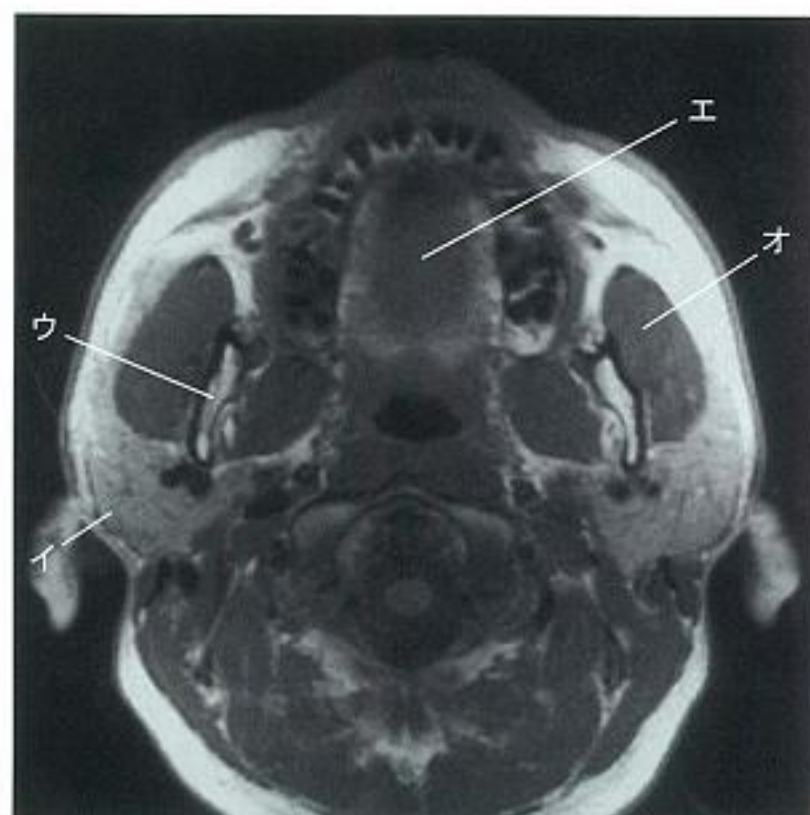
- a ア ——— 下顎管
- b イ ——— 上顎結節
- c ウ ——— 上顎洞後壁
- d エ ——— オトガイ孔
- e オ ——— 筋突起



53 MR 像(別冊No. 3A、B)を別に示す。

誤っている組合せはどれか。

- a ア ——— 内側翼突筋
- b イ ——— 耳下腺
- c ウ ——— 下顎枝
- d エ ——— 舌
- e オ ——— 咬 筋



54 誤っている組合せはどれか。

- a 根尖病変 ————— 二等分法
- b 隣接面齲蝕 ————— 咬翼法
- c 顎下腺唾石 ————— 咬合法
- d 正中埋伏歯 ————— 歯頸部投影法
- e 辺縁性歯周炎 ————— 平行法

55 パノラマエックス線撮影に用いるのはどれか。

- a コーン
- b カセット
- c グリッド
- d セファロスタット
- e ノンスクリーンフィルム

56 造影剤の具備すべき条件はどれか。

- a 吸収係数が組織と異なる。
- b 粘稠度が高い。
- c 液体である。
- d 体内での滞留時間が長い。
- e 浸透圧が高い。

57 造影 MRI の原則禁忌はどれか。

- (1) 気管支喘息
- (2) 心疾患
- (3) ヨードアレルギー
- (4) 授乳婦
- (5) 重篤な腎障害

- a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

58 超音波検査の適応はどれか。

- (1) ガマ腫
- (2) 頸部リンパ節転移
- (3) エナメル上皮腫
- (4) 術後性上顎嚢胞
- (5) 耳下腺腫瘍

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

59 鼻咽腔閉鎖機能の検査法はどれか。

- a オージオメトリ
- b シンチグラフィ
- c 内視鏡検査
- d 二点識別検査
- e スパイログラフィ

60 平行模型で分析できるのはどれか。

- (1) アーチレングスディスクレパンシー
- (2) オーバーオールレイシオ
- (3) オーバーバイト
- (4) リーウェイスペース
- (5) 咬合平面の傾斜角度

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

61 唾液に含まれるのはどれか。

(1) ペプシン

(2) ビリルビン

(3) パロチン

(4) リゾチーム

(5) 免疫グロブリン

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

62 下顎運動の検査に用いるのはどれか。

(1) パントグラフ法

(2) チューイン法

(3) 顎態診断法

(4) 筋電図法

(5) ゴシックアーチ描記法

a (1)、(2)、(3) :

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

63 AIDS と B 型肝炎との感染予防に有効なのはどれか。

- (1) 消毒用エタノール
- (2) 希ヨードチンキ
- (3) 2 % グルコン酸クロルヘキシジン液
- (4) 2 % グルタラール液
- (5) 1 % 次亜塩素酸ナトリウム液

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

64 口唇・口蓋裂患者で最も早期に行われるのはどれか。

- a 口唇形成術
- b 口蓋形成術
- c 咽頭弁形成術
- d 哺乳床の装着
- e 言語治療

65 無歯顎の概形印象に適するのはどれか。

- (1) 印象用ワックス
- (2) 印象用石膏
- (3) ポリサルファイドゴム印象材
- (4) モデリングコンパウンド
- (5) アルジネート印象材

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

66 セルフエッチングプライマーに含まれるのはどれか。

- a 過酸化水素水
- b 次亜塩素酸ナトリウム
- c 酸性モノマー
- d ポリマー
- e フィラー

67 30歳の男性。顎下部に膿瘍を認めた。口腔外からの切開排膿手術中に拍動性出血をみた。

損傷したのはどれか。

- a 顎動脈
- b 下歯槽動脈
- c 顔面動脈
- d 舌動脈
- e 上甲状腺動脈

68 20歳の男性。抗菌薬を投与したところ、口唇と四肢のしびれが出現した。続いて皮膚紅潮と喘鳴を聴取し、呼吸困難となった。全身に膨疹を認め、脈拍の触知が不能となった。

第一選択薬はどれか。

- a 硫酸アトロピン
- b 塩化スキサメトニウム
- c 塩酸イソプロテレノール
- d エピネフリン
- e アミノフィリン

69 口腔領域の放射線治療期間中に出現するのはどれか。

- (1) 味覚の減退
- (2) 唾液の粘度増加
- (3) 放射線骨髄炎
- (4) 毛細血管の拡張
- (5) 口内炎

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

70 アレルギーを誘発しやすい歯科材料はどれか。

- a 陶 材
- b 歯科用アマルガム
- c リン酸亜鉛セメント
- d チタン
- e 硬質レジン

71 薬物の用量と反応との関係で正しいのはどれか。

- (1) 用量は反応の強さを規定する。
- (2) 広範囲の用量は片対数目盛りのグラフで表す。
- (3) 最大有効量を超える用量では毒性が現れる。
- (4) ED_{50}/LD_{50} は安全性の目安とされる。
- (5) 医薬品の LD_{50} は臨床試験で決定される。

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

72 受容体を介するのはどれか。

- a 吸入麻酔薬の麻酔作用
- b 酸性非ステロイド性抗炎症薬の鎮痛作用
- c ユージノールの歯髄鎮静作用
- d ベンゾジアゼピン系薬物の催眠作用
- e ヨウ素系消毒薬の疼痛性知覚麻痺作用

73 局所作用を目的とするのはどれか。

- a プロドラッグ型抗菌薬の投与
- b ニトログリセリンの舌下投与
- c β_2 -アドレナリン受容体刺激薬の吸入
- d 非ステロイド性抗炎症薬の投与
- e 揮発性麻酔薬の吸入

74 処方せんの記載事項はどれか。

- (1) 使用期間
- (2) 医薬品名と用法・用量
- (3) 薬物アレルギーの有無
- (4) 病 歴
- (5) 処方者の記名押印又は署名

- | | | |
|-----------------|---------------|---------------|
| a (1)、(2)、(3) : | b (1)、(2)、(5) | c (1)、(4)、(5) |
| d (2)、(3)、(4) | e (3)、(4)、(5) | |

75 成人に対して1日750 mgを投与する薬物を6歳児に処方する。Augsbergerの式を次に示す。

$$\text{小児薬用量} = (\text{年齢} \times 4 + 20) \times \text{成人量} / 100$$

1日3回分服すると1回当たりの投与量はどれか。

- a 330 mg
- b 250 mg
- c 110 mg
- d 75 mg
- e 33 mg

76 ある地域の飲酒者 1,000 人と非飲酒者 1,500 人とを 20 年間追跡調査した結果、
飲酒者から 16 人、非飲酒者から 12 人が大腸癌に罹患したという。

飲酒の相対危険度はどれか。

- a 0.50
- b 0.75
- c 1.33
- d 2.00
- e 4.00

77 DMF で正しいのはどれか。

- a 二次齲蝕：D
- b 予防填塞歯：F
- c 歯周病による喪失歯：M
- d エナメル質形成不全歯：D
- e ブリッジのポンティック：F

78 平成 11 年歯科疾患実態調査の結果の一部を表に示す。

年 齢 階 級 (歳)	一人平均 ①	一人平均 ②	一人平均 ③	一人平均 ④
20 ～ 24	9.52	7.98	1.39	19.19
40 ～ 44	15.64	12.46	1.34	13.08
60 ～ 64	18.97	9.64	1.32	9.43

正しい組合せはどれか。

	①	②	③	④
a	M 歯数	F 歯数	D 歯数	DMF 歯数
b	M 歯数	D 歯数	F 歯数	健全歯数
c	DMF 歯数	F 歯数	D 歯数	健全歯数
d	DMF 歯数	D 歯数	F 歯数	健全歯数
e	健全歯数	D 歯数	F 歯数	DMF 歯数

79 健康日本 21 の歯の健康目標で正しい組合せはどれか。

- a 3 歳児でう歯のない者の割合 _____ 80% 以上
- b 12 歳児の 1 人平均う歯数 _____ 3 歯 以下
- c フッ化物配合歯磨剤の使用者の割合 _____ 50% 以上
- d 40 歳で進行した歯周炎を有する者の割合 _____ 80% 以下
- e 60 歳で定期的な歯科検診を受けている者の割合 _____ 60% 以上

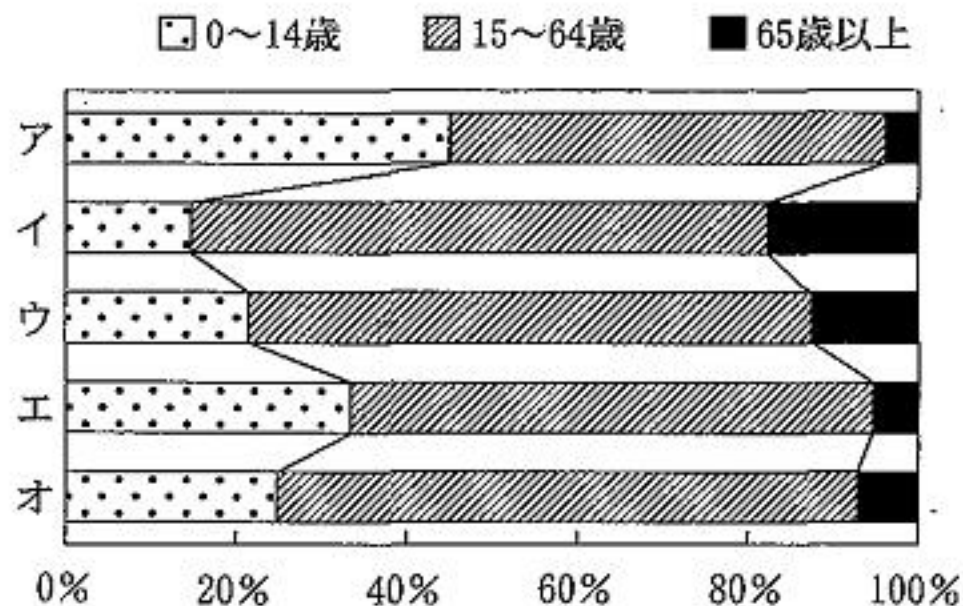
80 健康増進法に定められているのはどれか。

- a 禁煙教育の徹底
- b 禁煙支援プログラムの策定
- c 喫煙による健康被害の警告表示
- d 受動喫煙の防止
- e たばこ生産の抑制

81 スクリーニング検査の特異度はどれか。

- a 疾病のない者で検査陰性者の割合
- b 疾病のある者で検査陽性者の割合
- c 検査陽性者で疾病のある者の割合
- d 検査陰性者で疾病のない者の割合
- e 被検査者で疾病のある者の割合

82 日本、中国、インド、アメリカ合衆国およびナイジェリアの年齢3区分別人口の割合(2000年)を図に示す。



日本はどれか。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ

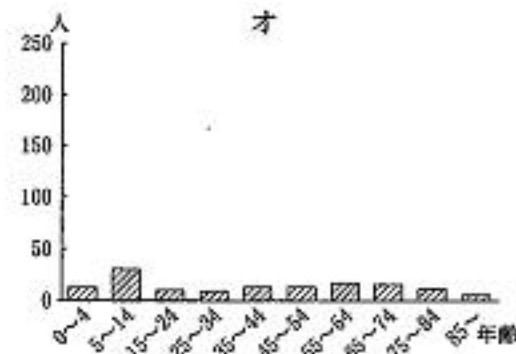
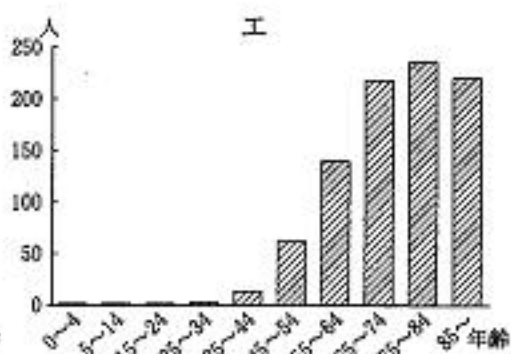
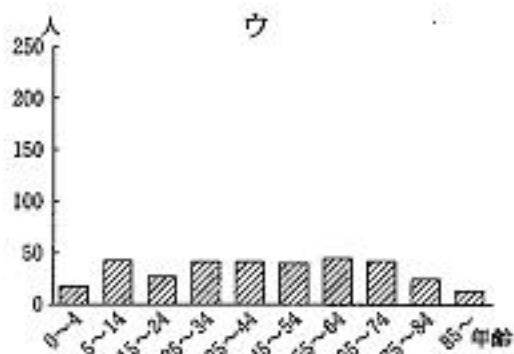
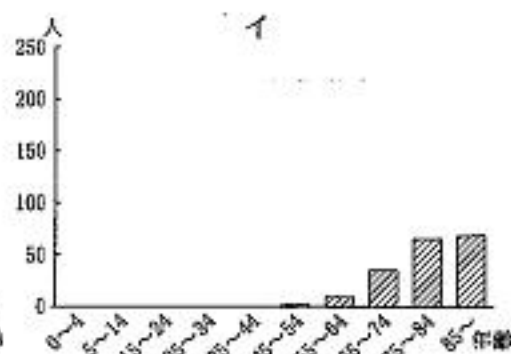
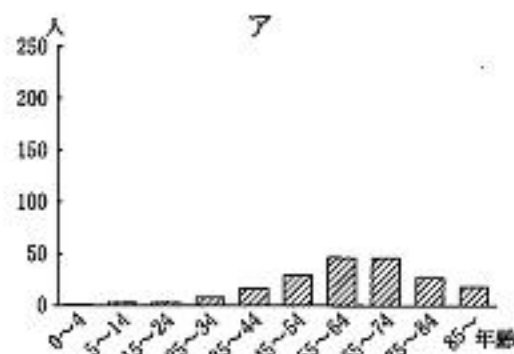
83 毎年実施されるのはどれか。

- a 国勢調査
- b 患者調査
- c 保健福祉動向調査
- d 歯科疾患実態調査
- e 学校保健統計調査

84 数値が大きいほど集団の健康水準が高いと判断できるのはどれか。

- a 50 歳以上死亡割合
- b 粗死亡率
- c 新生児死亡率
- d 年齢調整死亡率
- e 周産期死亡率

85 う蝕、歯周疾患、高血圧症、骨粗鬆症およびアレルギー性鼻炎の年齢階級別にみた通院患者率(人口千対)を図に示す(平成13年国民生活基礎調査)。



歯周疾患はどれか。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ

86 正しい組合せはどれか。

- (1) ペスト ————— 蚊
(2) 西ナイルウイルス感染症 ——— ノ ミ
(3) アニサキス症 ————— 魚
(4) つつが虫病 ————— ダ ニ
(5) レジオネラ症 ————— オウム

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

87 我が国の健康づくりのための食生活改善で誤っているのはどれか。

- a 脂肪エネルギー比率の減少
- b 食塩摂取量の減少
- c 野菜摂取量の増加
- d カルシウム摂取量の増加
- e エネルギー摂取量の増加

88 値が大きいほど下水の水質が良好と判断されるのはどれか。

- a 全酸素消費量(TOD)
- b 浮遊物質質量(SS)
- c 溶存酸素量(DO)
- d 化学的酸素要求量(COD)
- e 生物化学的酸素要求量(BOD)

89 地球温暖化の原因はどれか。

- (1) 酸素
- (2) 一酸化炭素
- (3) 窒素
- (4) 二酸化炭素
- (5) メタン

- a (1)、(2)
- b (1)、(5)
- c (2)、(3)
- d (3)、(4)
- e (4)、(5)

90 我が国の上水道の水質基準で「検出されないこと」とされているのはどれか。

- a 一般細菌
- b 大腸菌群
- c ヒ素
- d シアン
- e 水銀

91 医療法で正しいのはどれか。

- a 歯科診療所は歯科医師が管理者とならなければならない。
- b 歯科診療所を開設するには歯科医師会の許可が必要である。
- c 歯科診療所には歯科衛生士を配置しなければならない。
- d 歯科診療台を 20 台以上設置すると病院として申請できる。
- e 診療科名の標榜には学会認定医の資格が必要である。

92 我が国の届出医療関係者数(平成12年)で正しいのはどれか。

- a 医師 ————— 約 40 万人
- b 歯科医師 ————— 約 15 万人
- c 薬剤師 ————— 約 50 万人
- d 歯科技工士 ————— 約 8 万人
- e 歯科衛生士 ————— 約 7 万人

93 患者対照研究はどれか。

- a 集団を対象とした疾病分布の追跡調査
- b 患者を対象とした出生年代別の疾病要因の調査
- c 患者と健常者とを対象とした疾病要因の後向き調査
- d 治療群と治療なし群とを対象とした治療効果の調査
- e 集団を対象とした疾病要因別の発症率の前向き調査

94 市町村保健センターで正しいのはどれか。

- a 地方自治法で規定されている。
- b 都道府県に必置義務がある。
- c 市町村の任意設置である。
- d センター長は医師でなければならない。
- e 医務行政を担当する。

95 労働衛生管理の「作業管理」はどれか。

- a 休憩設備の充実
- b 有害ガスの測定
- c 労働衛生教育の実施
- d 遠隔操作の推進
- e 曝露時間の抑制

96 介護保険における在宅要介護者へのサービスで歯科医師が関与するのはどれか。

- a 訪問介護
- b 訪問看護
- c 居宅療養管理指導
- d 居宅介護支援
- e デイケア

97 医療法に規定されているのはどれか。

- a 保健所
- b 特定機能病院
- c 介護老人保健施設
- d 口腔保健センター
- e 市町村保健センター

98 正しい組合せはどれか。

- a 1歳6か月児健康診査 ————— 児童福祉法
- b 3歳児健康診査 ————— 母子保健法
- c 学校健康診断 ————— 学校教育法
- d 妊産婦健康診査 ————— 地域保健法
- e 有害業務従事者の健康診断 ————— 労働基準法

99 病院勤務の歯科医師が記載した診療録の保存義務者はどれか。

- a 病院事務長
- b 勤務歯科医師
- c 病院開設者
- d 病院管理者
- e 安全管理者

100 学校歯科医の職務でないのはどれか。

- a 歯に関する健康相談に従事する。
- b 学校歯科保健計画を決定する。
- c 健康診断で歯の検査に従事する。
- d 就学時健康診断で歯の検査に従事する。
- e 齲歯その他の歯疾の保健指導を行う。

101 学校歯科健康診断の結果の一部を図に示す。

7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7			
	○	\	\	\	\	C	CO	\	\	\		CO				
上	右					A	A	B	C	D	E	左		上		
						E	D	C	B	A	A			B	C	D
下						E	D	C	B	A	A	B	C	D	E	下
						\										
7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7			
	C	\	\	\	\	\	\		\	\		○	\			

正しい組合せはどれか。

- a 未処置歯数 ————— 2
- b 喪失歯数 ————— 1
- c 要観察歯数 ————— 3
- d DMF 歯数 ————— 4
- e 要注意乳歯数 ————— 1

102 介護保険制度で誤っているのはどれか。

- a 保険者は都道府県である。
- b 第1号被保険者は65歳以上である。
- c 第2号被保険者は40歳以上である。
- d 第2号被保険者の保険料は医療保険者が徴収する。
- e 要介護認定は介護認定審査会が行う。

103 口蓋裂手術を受けた6歳女兒の親から「歯並びの治療費が安くなる児童福祉の制度について教えて欲しい」という相談があった。

該当する制度はどれか。

- a 育成医療
- b 更生医療
- c 養育医療
- d 療育医療
- e 保険医療

104 我が国の平成 12 年度国民医療費で正しいのはどれか。

- a 歯科診療医療費が約 15 % を占める。
- b 65 歳以上の医療費が約 50 % を占める。
- c 国民所得の約 30 % である。
- d 入院医療費が約 60 % を占める。
- e 総額 60 兆円を超えている。

105 国際保健医療協力に関わる我が国の政府援助機関はどれか。

- a WHO
- b JICA
- c ODA
- d NGO
- e FDI

1 正しい組合せはどれか。

- a 乳中切歯萌出 ————— 生後 2 年ころ
- b 第一乳臼歯歯冠完成 ————— 胎生 32 週ころ
- c 第二乳臼歯歯根完成 ————— 生後 3 年ころ
- d 第一大臼歯石灰化開始 ————— 胎生 24 週ころ
- e 第二大臼歯歯胚発生 ————— 胎生 40 週ころ

98B02

2 生理的年齢を表すのはどれか。

- (1) 歯 齢
- (2) 発育指数
- (3) 比体重
- (4) 知能指数
- (5) 骨核化骨数

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

3 3歳児の発達で正しいのはどれか。

- a 基本的運動が完成する。
- b 情動の分化が完成する。
- c 片言を話し始める。
- d 単語数が増加する。
- e 発音が完成する。

- 4 プラーク形成量が少なくても重篤な歯周組織破壊を示すのはどれか。
- a 妊娠性歯肉炎
 - b 慢性剥離性歯肉炎
 - c フェニトイン歯肉増殖症
 - d 成人性歯周炎
 - e 若年性歯周炎

5 歯髄炎と根尖性歯周炎との鑑別診断に有効なのはどれか。

- a インピーダンス測定検査
- b 電気診
- c 打診
- d 動揺度診査
- e 透照診

6 治療で正しい組合せはどれか。

- a 過換気症候群 ————— 二酸化炭素
- b 神経性ショック ————— 塩酸ジフェンヒドラミン
- c アスピリン喘息 ————— インドメタシン
- d 心停止 ————— ニトログリセリン
- e 代謝性アシドーシス ————— 生理食塩液

7 慢性齲蝕で正しいのはどれか。

- a 穿通性である。
- b 壮年者より若年者に多い。
- c 象牙質の着色が著しい。
- d エナメル質が白濁する。
- e 軟化象牙質が多量に存在する。

8 小児の笑気吸入鎮静法で正しいのはどれか。

- a 1～2歳児に適用される。
- b 疼痛の閾値が低下する。
- c 恐怖心が強い児童に有効である。
- d 笑気 75 %、酸素 25 % の混合ガスを用いる。
- e 血圧が上昇する。

9 幼児の歯種別齲蝕好発歯面で正しいのはどれか。

- a 上顎乳中切歯の近心面
- b 下顎乳中切歯の唇側面
- c 乳犬歯の舌側面
- d 第一乳臼歯の近心面
- e 第二乳臼歯の遠心面

98B10

10 ウイルスに関連するのはどれか。

(1) Bednar アフタ

(2) Riga-Fede 病

(3) Koplik 斑

(4) 手足口病

(5) 上皮真珠

a (1)、(2)

b (1)、(5)

c (2)、(3)

d (3)、(4)

e (4)、(5)

11 保隙装置と歯齡との組合せで正しいのはどれか。

- (1) クラウンループ ————— II A
- (2) ディスタルシュー ————— III A
- (3) 可撤式保隙装置 ————— III B
- (4) リンガルアーチ ————— III B
- (5) Nance のホールディングアーチ ————— III B

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

12 鎖骨頭蓋異骨症の特徴はどれか。

- a 乳歯の先天欠如
- b 乳歯の早期脱落
- c 歯冠の矮小化
- d 頭蓋縫合の早期閉鎖
- e 上顎の発育不全

13 関連のある組合せはどれか。

- a 脳性麻痺 ————— 言語障害
- b 筋ジストロフィー ————— 自傷行為
- c 精神発達遅滞 ————— 咬筋過緊張
- d 自閉症 ————— 歯肉増殖
- e てんかん ————— 流涎

14 高齢者に多いのはどれか。

(1) 扁平苔癬

(2) 白板症

(3) 地図状舌

(4) 粘液嚢胞

(5) カンジダ症

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

15 乳歯の処置と薬剤との組合せで適切なのはどれか。

- a 間接覆髄 ————— ホルムクレゾール
- b 直接覆髄 ————— パラホルムアルデヒド
- c 生活断髄 ————— 水酸化カルシウム
- d 抜 髄 ————— 過ホウ酸ナトリウム
- e 根管充填 ————— 亜ヒ酸

- 16 レジン系材料の窩溝填塞で正しいのはどれか。
- a ラバーダム防湿下で行う。
 - b 歯面清掃にはフッ化物配合研磨材を用いる。
 - c 保持率を高めるために裂溝歯質を削除する。
 - d 萌出直後の永久歯ではエッチング時間を長くする。
 - e 光重合型材料は翌日に研磨を行う。

17 アペキシゲネーシスの対象となるのはどれか。

- a 3 歳児の下顎第一乳臼歯
- b 5 歳児の上顎第二乳臼歯
- c 7 歳児の上顎第一大臼歯
- d 11 歳児の下顎中切歯
- e 12 歳児の下顎第一大臼歯

18 7歳の女兒。下顎切歯の萌出の異常を主訴として来院した。同部のエックス線写真で異常は認めない。初診時の口腔内写真(別冊No. 1)を別に示す。

適切な対応はどれか。

- a 経過観察
- b $\overline{A\ B}$ の抜歯
- c $\overline{B\ A\ A}$ の抜歯
- d $\overline{A\ A}$ の抜歯
- e $\overline{B\ A\ A\ B}$ の抜歯



19 5歳の男児。歯の変色を主訴として来院した。3か月前に転倒し、上顎前歯部を強打したという。初診時の口腔内写真(別冊No. 2A)とエックス線写真(別冊No. 2B)とを別に示す。

まず行うべき処置はどれか。

- a 漂 白
- b コンポジットレジン修復
- c 生活歯髄切断
- d 抜 髄
- e 感染根管治療



98B20

20 10歳の女兒。下口唇の異常を主訴として来院した。3週前に気付いたが放置していたという。疼痛はなく、軽度の波動を触れる。初診時の口腔内写真(別冊No. 3)を別に示す。

疑われる疾患はどれか。

- a 上皮真珠
- b 粘液嚢胞
- c 口唇ヘルペス
- d 咬傷
- e Koplik 斑



98B21

21 12歳の女兒。歯の異常を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊No. 4

A、B)とエックス線写真(別冊No. 4C)とを別に示す。

考えられる原因はどれか。

- a 象牙質形成不全症
- b エナメル質減形成
- c ボルフィリン症
- d テトラサイクリン系薬物の服用
- e 新生児メレナ



22 3歳の男児。上顎前歯部の異常を主訴として来院した。1か月前に同部を打撲し、1週間から腫脹があるという。初診時の口腔内写真(別冊No. 5A)とエックス線写真(別冊No. 5B)とを別に示す。

適切な処置はどれか。

- a 生活歯髄切断
- b 抜髄
- c 感染根管治療
- d 切開
- e 抜歯



23 6歳の男児。上顎右側第一大臼歯部の出血を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊No. 6A)と手掌の写真(別冊No. 6B)とを別に示す。初診時の検査結果の一部を表に示す。

赤血球数	: 460 万/ μ l (400~570)
血色素量	: 16.1 g/dl (13~18)
ヘマトクリット値	: 40 % (40~50)
白血球数	: 8,500/ μ l (5,000~15,000)
血小板数	: 20 万/ μ l (10~40)
出血時間	: 4 分 (2~6)

()内は乳幼児、男児の基準値

疑われる疾患はどれか。

- a 白血病
- b 血友病
- c 血小板減少性紫斑病
- d 鉄欠乏性貧血
- e 再生不良性貧血

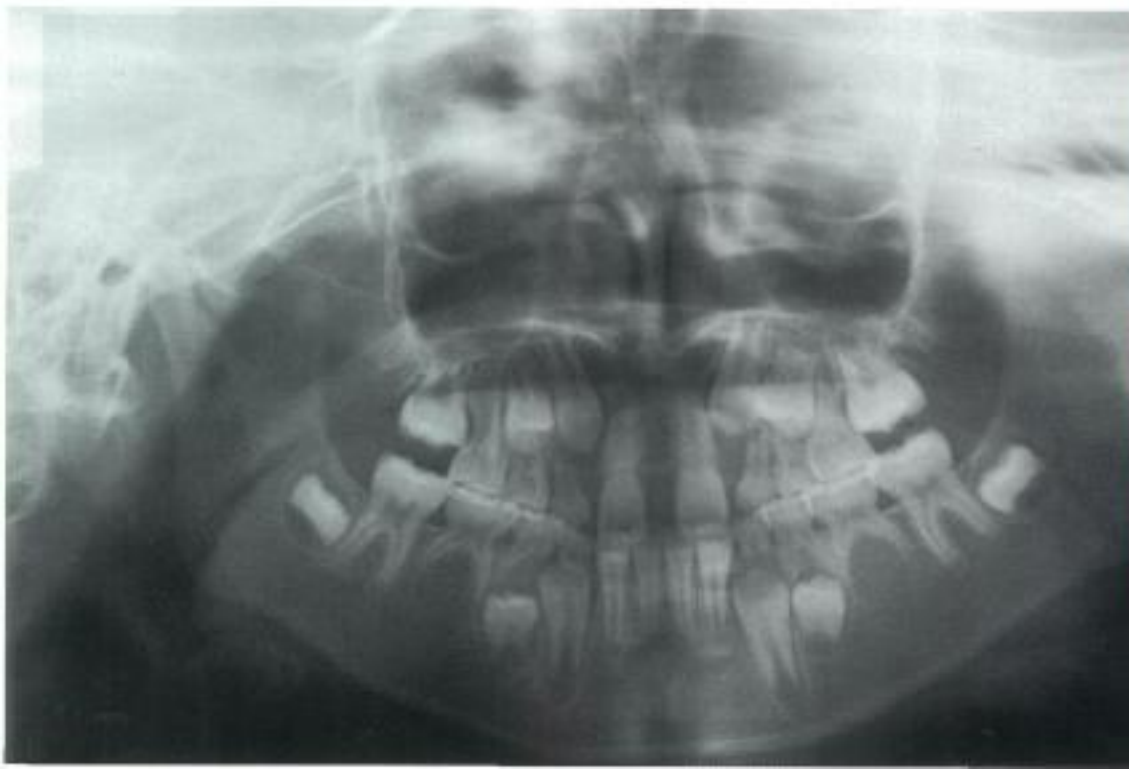


98B24

24 7歳の女兒。正中部の空隙を主訴として来院した。歯科治療の経験はないという。初診時の口腔内写真(別冊No. 7A、B)とエックス線写真(別冊No. 7C)とを別に示す。

適切な処置はどれか。2つ選べ。

- a 正中埋伏過剰歯の抜去
- b 上顎両側乳犬歯の抜去
- c 上唇小帯の切除
- d 上顎中切歯の近心移動
- e 下顎切歯部叢生の改善



98B25

25 18歳の女子。歯肉の異常を主訴として来院した。歯肉の状態は歯の交換期に悪化したという。10年前から内服薬を常用している。初診時の口腔内写真(別冊No. 8A)とエックス線写真(別冊No. 8B)とを別に示す。

診断名はどれか。

- a 歯肉線維腫症
- b 急性壊死性潰瘍性歯肉炎
- c 歯肉増殖症
- d 若年性歯周炎
- e 急速進行性歯周炎



26 9歳の女兒。歯冠破折を主訴として来院した。1時間前に転倒し、歯を強打したという。上顎左側中切歯の動揺度は1度で、破折部の電気抵抗値は12 k Ω である。初診時の口腔内写真(別冊No. 9A)とエックス線写真(別冊No. 9B)とを別に示す。

まず行うべき処置はどれか。

- a 間接覆髄
- b FC断髄 ;
- c 水酸化カルシウム断髄
- d 抜 髄
- e 感染根管治療



27 7歳の男児。咀嚼障害を主訴として来院した。初診時の顔貌写真(別冊No. 10A)、口腔内写真(別冊No. 10B)およびエックス線写真(別冊No. 10C)を別に示す。

疑われる疾患はどれか。

- a 色素失調症
- b クモ状指趾症
- c 鎖骨頭蓋異骨症
- d 先天性表皮水疱症
- e 無汗型外胚葉性異形成症



28 口腔内のバイオフィルムで正しいのはどれか。

- a 齲蝕の原因となる。
- b 頬粘膜に多く存在する。
- c 唾液に易溶解性である。
- d 含嗽で除去できる。
- e 厚さは一定である。

29 歯髄に近接した感染象牙質の除去に使用するのはいずれか。

- (1) スプーンエキスカベーター
- (2) スチールバー
- (3) ダイヤモンドポイント
- (4) エアブレイシブ
- (5) Nd:YAG レーザー

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

30 下顎前歯隣接面のコンポジットレジン修復窩洞形成に用いるのはどれか。

- (1) フレーム型ダイヤモンドポイント
- (2) ラウンド型ダイヤモンドポイント
- (3) ペアー型カーバイドバー
- (4) ストレートフィッシャー型カーバイドバー
- (5) 砲弾型カーボランダムポイント

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

31 インレー修復で窩洞外形を規定する因子はどれか。

- a 象牙細管の走向
- b 遊離エナメル質の有無
- c 合着材の種類
- d 隣接歯の修復材料
- e 裏層材の厚さ

32 II級メタルインレーの隣接面接触点の微調整に用いるのはどれか。

- a 厚さ 100 μm のスチール板
- b ダイヤモンドポイント
- c 歯間分離器
- d 仕上げ研磨用ストリップス
- e シリコンポイント

33 セラミックインレー製作法で色調再現性が最も優れているのはどれか。

- a 鋳造法
- b 加熱加圧法
- c 焼成法
- d CAD/CAM 法
- e 研削法

34 コンポジットレジンインレー修復後の咬合面辺縁部のクレビス(溝)形成に直接関係するのはどれか。

- a インレー体の温度膨縮
- b インレー体の辺縁破折
- c 合着材の剥離
- d 合着材の溶解
- e 合着材の摩耗

35 歯周疾患に対する喫煙の影響で正しいのはどれか。

- a 歯肉出血が多くなる。
- b アタッチメントロスが増加する。
- c 歯周ポケットが臼歯部に多発する。
- d 組織抵抗性が増大する。
- e 歯周外科処置後の治癒が促進される。

36 限局した深い歯周ポケットの原因となるのはどれか。

- (1) 舌面歯頸溝
- (2) 歯根破折
- (3) エナメル突起
- (4) くさび状欠損
- (5) セメント質肥大

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

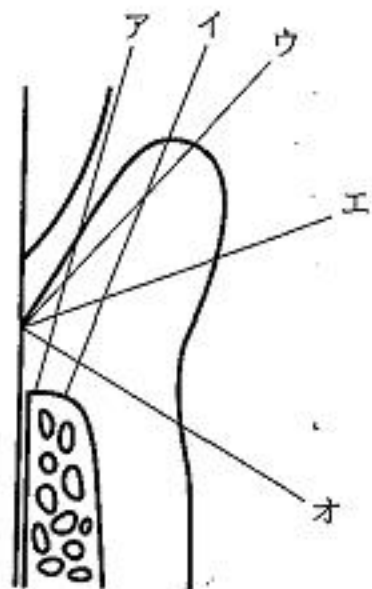
d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

98B37

37 歯肉切除術の切開線はどれか。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ



38 歯周外科手術で術後にアンキローシスを生じる可能性があるのはどれか。

- a ヘミセクション
- b GTR 法
- c 歯槽骨整形術
- d 歯槽骨切除術
- e 骨移植術

39 正しい組合せはどれか。

- a 歯肉退縮 ————— 歯肉整形術
- b 小帯異常 ————— 歯肉弁歯冠側移動術
- c 歯肉増殖 ————— 新付着術
- d 骨縁上ポケット ————— フラップ手術
- e 歯根露出 ————— 遊離歯肉移植術

98B40

40 下顎第一大臼歯頬側に2級の根分岐部病変(Glickman の分類)があり、歯周ポケットは6 mm である。

適切な処置はどれか。

- a ルートセパレーション
- b ヘミセクション
- c トンネリング
- d 歯周ポケット搔爬術
- e GTR 法

41 リーマー、ファイルの ISO 規格で正しいのはどれか。

- a 40 番の D_1 は 0.40 mm である。
- b 刃部の長さは番号で異なる。
- c 刃部のテーパーは番号で異なる。
- d 先端の角度は 30 度である。
- e 45 番の把柄部の色は黒である。

42 スミヤー層で正しいのはどれか。

- a 根管充填材の接着性を高める。
- b 根管の機械的拡大・形成時に生じる。
- c 根管消毒剤の効果を高める。
- d 除去には NaOCl と H_2O_2 とを併用する。
- e 歯冠側からの漏洩を防ぐ。

43 根管清掃用の EDTA 溶液で正しいのはどれか。

- a 30 % の濃度で用いられる。
- b 酸性で用いられる。
- c 組織刺激性がある。
- d 有機質溶解作用を有する。
- e キレート作用を有する。

44 ガッタパーチャポイントの性質で正しいのはどれか。

- a 硬組織誘導能
- b エックス線透過性
- c 殺菌作用
- d 熱可塑性
- e 根管壁への接着性

45 根管充填後の治癒を妨げる因子はどれか。

- (1) 死腔の存在
- (2) 壊死組織の残存
- (3) 瘻 孔
- (4) セメント質の厚さ
- (5) 過剰な根管充填

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

46 幼若永久歯で正しい組合せはどれか。

- a 歯髄充血 ————— 抜髄法
- b 急性化膿性歯髄炎 ————— 失活断髄法
- c 慢性増殖性歯髄炎 ————— 直接覆髄法
- d 歯髄壊疽 ————— アペキシフィケーション
- e 慢性根尖性歯周炎 ————— アペキソゲネーシス

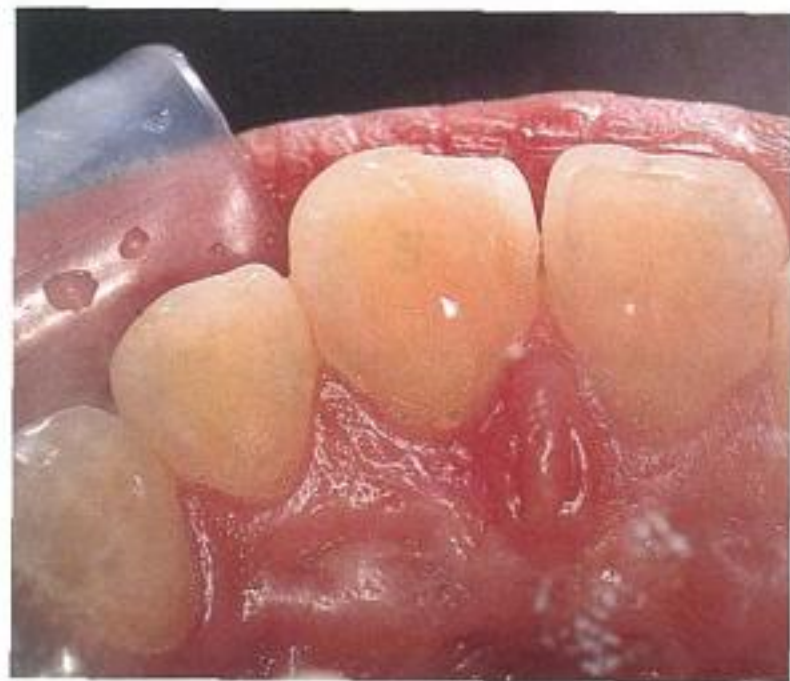
47 正しい組合せはどれか。

- a 歯根尖切除法 ————— 髄床底穿孔
- b 歯根分離法 ————— Lindhe の分類 1 度
- c 根尖搔爬法 ————— 歯根破折
- d 歯の再植法 ————— 完全脱臼
- e ヘミセクション ————— 槌状根

48 20歳の女性。上顎右側中切歯の冷水痛を主訴として来院した。昨日打撲したという。Ⅱの自発痛はなく、動揺度は1度である。初診時の口腔内写真(別冊No. 11 A、B)とエックス線写真(別冊No. 11C)とを別に示す。

治療で必要なのはどれか。

- a 局所麻酔
- b 歯肉圧排
- c 裏層 ;
- d ベベルの付与
- e 隣接面の予防拡大



49 35歳の女性。上顎左側側切歯の軽度の冷水痛を主訴として来院した。2週間前から症状があるという。2は電気診に正常に反応する。初診時の口腔内写真(別冊No. 12A)とエックス線写真(別冊No. 12B)とを別に示す。

処置に必要なでないのはどれか。

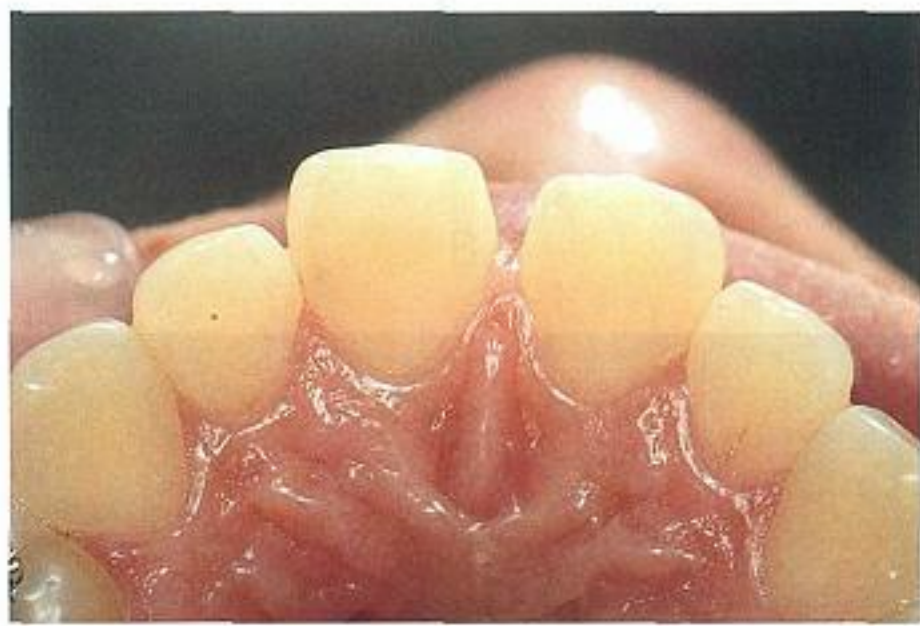
- a ダイヤモンドポイント
- b サンドペーパーコーン
- c マトリックスバンド
- d 研磨用ストリップス
- e 咬合紙



50 25歳の女性。上顎前歯部の外観不良を主訴として来院した。10年前に正中離開に気づき放置していたが、明日、長期海外出張に出発するため、今日中に治してほしいという。I|Iは電気診に正常に反応する。初診時の口腔内写真(別冊No. 13 A、B)とエックス線写真(別冊No. 13C)とを別に示す。

適切な処置はどれか。

- a グラスアイオノマーセメント修復
- b コンポジットレジン修復
- c ラミネートベニア修復
- d ポーセレンジャケットクラウン修復
- e レジンジャケットクラウン修復



51 20歳の男性。歯の変色を主訴として来院した。乳幼児期に腎盂腎炎のため長期入院した既往がある。色調異常は萌出時からあり、次第に強くなってきたという。上下顎前歯は電気診に正常に反応する。初診時の口腔内写真(別冊No. 14A、B、C)を別に示す。

$\begin{array}{c|c|c|c|c} 3 & 2 & 1 & 1 & 2 & 3 \\ \hline 3 & 2 & 1 & 1 & 2 & 3 \end{array}$ に対する適切な処置はどれか。

- a ウォーキングブリーチ
- b オフィスブリーチ
- c ホームブリーチ
- d レジンコーティング
- e ラミネートベニア修復



52 16歳の男子。上顎右側第一小臼歯の破折を主訴として来院した。1週前に事故で下顎部を強打したという。4]に一過性の冷水痛と軽度の打診痛とがみられる。初診時の口腔内写真(別冊 No. 15A)とエックス線写真(別冊 No. 15B)とを別に示す。

適切な処置はどれか。

- a グラスアイオノマーセメント修復
- b コンポジットレジン修復
- c アマルガム修復
- d ポーセレンジャケットクラウン修復
- e メタルクラウン修復

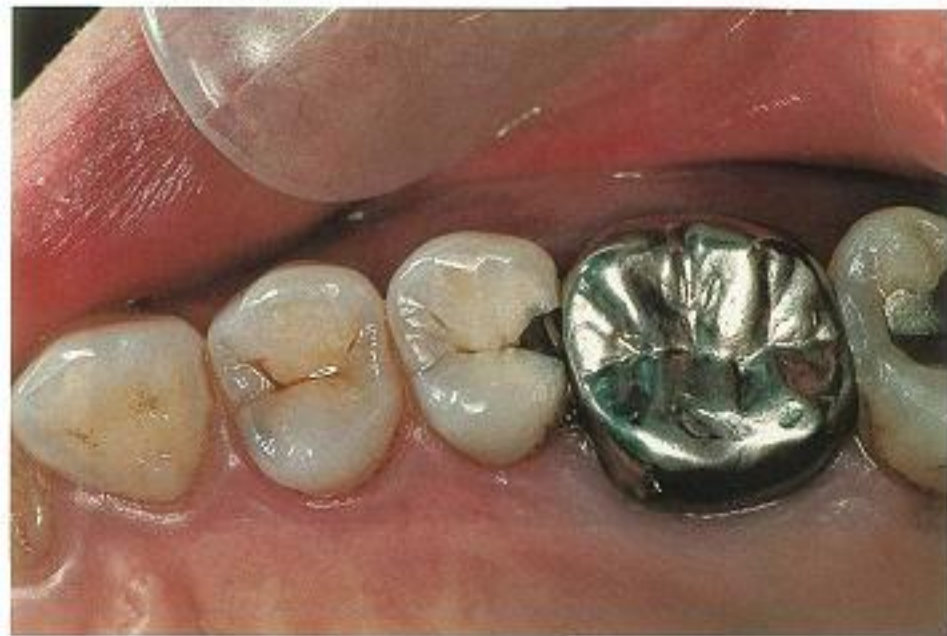


98B53

53. 45歳の女性。上顎左側第二小白歯の疼痛を主訴として来院した。1週間前から冷温刺激に過敏になったという。齦窩の電気抵抗値は15 k Ω である。初診時の口腔内写真(別冊No. 16A)とエックス線写真(別冊No. 16B)とを別に示す。

まず行うべき処置はどれか。

- a コンポジットレジン修復
- b 光硬化型グラスアイオノマー修復
- c 間接覆髄
- d 直接覆髄
- e 麻酔抜髄



54 70歳の女性。下顎右側犬歯の冷水痛を主訴として来院した。昨日、食事中に3]が破折したという。自発痛はない。齦窩の電気抵抗値は20 k Ω である。初診時の口腔内写真(別冊No. 17A、B)とエックス線写真(別冊No. 17C)とを別に示す。

まず行うべき処置はどれか。

- a 知覚過敏処置
- b 間接覆髄
- c 直接覆髄
- d 失活抜髄
- e 麻酔抜髄



55 48歳の男性。上顎左側第二大臼歯の違和感を主訴として来院した。修復物は半年前に脱落したが、痛みがないため放置していたという。[7]は冷刺激にわずかに反応する。齦窩の電気抵抗値は25 k Ω である。初診時の口腔内写真(別冊No. 18A)とエックス線写真(別冊No. 18B)とを別に示す。

まず行うべき処置はどれか。

- a 歯冠修復
- b IPC 法
- c 直接覆髄
- d 生活断髄
- e 麻酔抜髄



56 61歳の女性。下顎左側臼歯部の咬合痛を主訴として来院した。[6]の歯周ポケットの深さは近心から、頬側9、7、4mm、舌側8、6、4mmである。分岐部用プローブは頬側から舌側に貫通する。電気診には正常に反応する。初診時の口腔内写真(別冊No. 19A)とエックス線写真(別冊No. 19B)とを別に示す。

治療法で正しい組合せはどれか。

- a 抜 髄 ————— ファルカプラスティ
- b 抜 髄 ————— ルートセパレーション
- c 抜 髄 ————— ヘミセクション
- d 感染根管治療 ————— ファルカプラスティ
- e 感染根管治療 ————— ヘミセクション



57 52歳の男性。上顎左側中切歯部の歯肉腫脹を主訴として来院した。歯周基本治療で1近心部の歯周ポケットが改善されないため、フラップ手術を行った。初診時のエックス線写真(別冊No. 20A)と手術時の口腔内写真(別冊No. 20B)とを別に示す。

1近心部の骨欠損の種類はどれか。

- a 1壁性
- b 2壁性
- c 3壁性
- d 1壁・2壁混合性
- e 2壁・3壁混合性



58 43歳の男性。上顎前歯部の歯肉腫脹と疼痛とを主訴として来院した。2|2は3か月前から症状を繰り返しているという。初診時の口腔内写真(別冊No. 21A)とエックス線写真(別冊No. 21B、C、D)とを別に示す。歯周組織検査結果の一部を表に示す。

唇側*	9	4	11	8	3	9
歯種	2			2		
口蓋側*	8	4	10	8	3	10
動揺度	2			3		

*プロービングデプス(mm)



2|2の処置として適切なものはどれか。

- a ルートプレーニング
- b 歯周ポケット搔爬術
- c 暫間固定
- d フラップ手術
- e 抜歯



59 58歳の男性。下顎右側臼歯部の歯肉出血を主訴として来院した。特記すべき既往歴はない。初診時の口腔内写真(別冊No. 22A)とエックス線写真(別冊No. 22B、C)とを別に示す。初診時と歯周基本治療後の検査結果の一部を表に示す。

初診時

舌側*	7	2	3	3	2	6	3	2	2	2	2	2
歯種	7			6			5			4		
頬側*	8	6	3	6	3	7	4	2	3	3	2	3
動揺度	0			2			0			0		



歯周基本治療後

舌側*	5	3	3	3	2	4	2	2	2	2	2	2
歯種	7			6			5			4		
頬側*	5	3	3	4	2	7	2	2	2	3	2	2
動揺度	0			1			0			0		

*プロービングデプス(mm)

76] に対し次に行うべき処置はどれか。

- a ルートプレーニング
- b 歯周ポケット搔爬術
- c 歯肉切除術
- d 新付着術
- e フラップ手術



98B60

60 42歳の男性。下顎右側犬歯部歯肉の違和感を主訴として来院した。31の頬側歯肉部に食渣が停滞するという。初診時の口腔内写真(別冊No. 23A)、外科処置時の口腔内写真(別冊No. 23B)および術後1か月の口腔内写真(別冊No. 23C)を別に示す。

行った処置はどれか。2つ選べ。

- a 遊離歯肉移植術
- b 小帯切除術
- c 口腔前庭拡張術
- d 歯肉弁根尖側移動術
- e 歯肉弁側方移動術



98B61

61 53歳の男性。下顎左側第一大臼歯の痛みを主訴として来院した。1年前から頬側歯肉の腫脹を繰り返しているという。初診時の口腔内写真(別冊No. 24A)とエックス線写真(別冊No. 24B)とを別に示す。

適切な処置はどれか。

- a 感染根管治療
- b 歯根尖切除法
- c 歯根分離法
- d ヘミセクション
- e トライセクション



98B62

62 57歳の男性。上顎右側臼歯部の自発痛を主訴として来院した。2日前から痛みがあるという。6の歯周ポケットの深さは、近心から、頬側12、6、5mm、口蓋側4、4、4mmである。冷刺激に反応する。初診時の口腔内写真(別冊No. 25A)とエックス線写真(別冊No. 25B)とを別に示す。

まず行うべき処置はどれか。

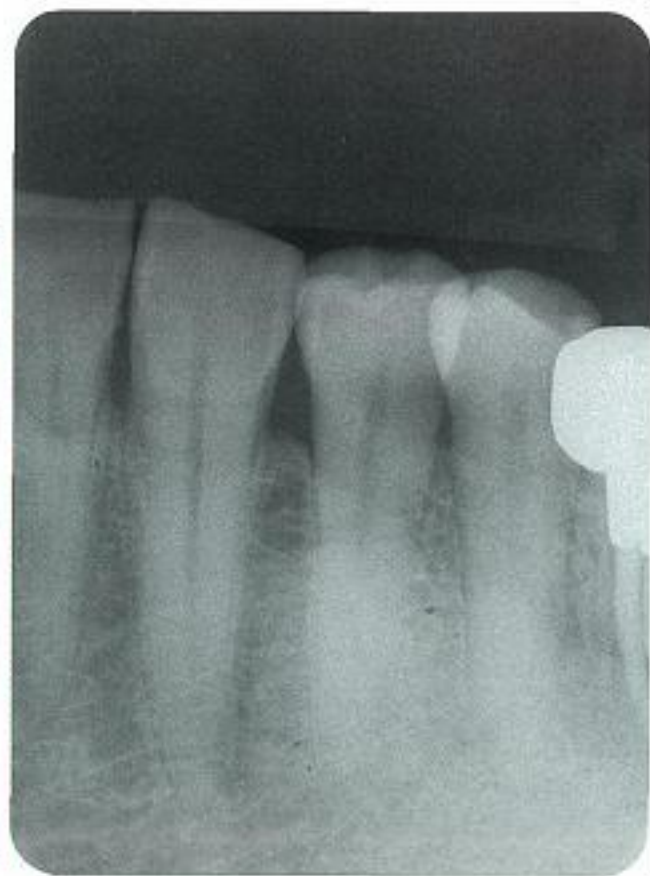
- a 麻酔抜髄
- b 感染根管治療
- c フラップ手術
- d トンネル形成術
- e 歯根尖切除法



63 45歳の男性。下顎左側犬歯と小白歯との疼痛を主訴として来院した。ブラッシングによって頬側部に時々痛みが起こるという。345の表面を探針で触知すると滑沢で硬い。初診時の口腔内写真(別冊No. 26A)とエックス線写真(別冊No. 26B)とを別に示す。

診断名はどれか。

- a 象牙質知覚過敏症
- b 急性単純性歯髄炎
- c 慢性閉鎖性歯髄炎
- d 急性単純性根尖性歯周炎
- e 慢性歯周炎



64 57歳の男性。上顎右側犬歯部の違和感を主訴として来院した。2年前に気付いたが、痛みがないため放置していたという。初診時の口腔内写真(別冊No. 27A)とエックス線写真(別冊No. 27B)とを別に示す。

適切な処置はどれか。

- a 破折片除去
- b 感染根管治療
- c 歯根尖切除法
- d 歯内骨内インプラント
- e 抜 歯



98B65

65 21歳の女性。上顎右側中切歯の打撲を主訴として来院した。昨日11が友人の頭にぶつかったという。自発痛はなく、軽度の打診痛がある。動揺度は1度で電気診に反応しない。初診時の口腔内写真(別冊No. 28A)とエックス線写真(別冊No. 28B)とを別に示す。

適切な対応はどれか。

- a 経過観察
- b 永久固定
- c 抜 髄
- d 感染根管治療
- e 抜 歯



66 51歳の男性。上顎右側第一大臼歯の痛みを主訴として来院した。1週間前から咬合痛と一過性の冷水痛とがあるという。初診時の口腔内写真(別冊No. 29A)とエックス線写真(別冊No. 29B)とを別に示す。

考えられる原因はどれか。2つ選べ。

- a 象牙質知覚過敏
- b 修復物の破折
- c 歯の亀裂
- d 二次齲蝕
- e 咬合性外傷



98B67

67 18歳の男子。上顎左側第一大臼歯の自発痛を主訴として来院した。7年前にコンポジットレジン修復処置を受けたが、2年前から冷水痛があり、1週前に自発痛へ移行したという。6は温熱刺激と打診とに鋭敏に反応する。初診時の口腔内写真(別冊No. 30A)とエックス線写真(別冊No. 30B)とを別に示す。

考えられる原因はどれか。

- a 辺縁漏洩
- b 歯冠破折
- c 咬合性外傷
- d 咬 耗
- e 象牙質知覚過敏



68 48歳の男性。上顎右側中切歯部の違和感を主訴として来院した。5年前に補綴物を装着し、3か月前から疲労時に症状が現れるようになったという。初診時の口腔内写真(別冊No. 31A)とエックス線写真(別冊No. 31B)とを別に示す。歯周組織検査結果の一部を表に示す。

唇側*	8	4	9
歯種	1		
口蓋側*	7	3	8
動揺度	2		
打診痛	+		

*ブローピングデプス(mm)

診断名はどれか。2つ選べ。

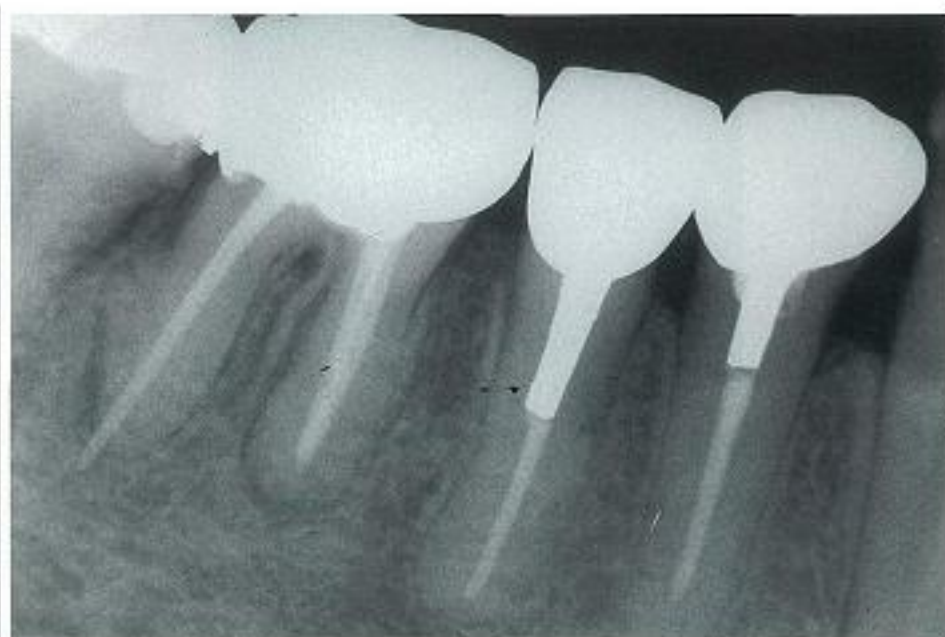
- a 慢性閉鎖性歯髄炎
- b 慢性根尖性歯周炎
- c 慢性剥離性歯肉炎
- d 慢性歯周炎
- e 歯根破折



69 45歳の女性。2年前に下顎右側臼歯部の治療を終了し、定期診査のため来院した。初診時のエックス線写真(別冊No. 32A)と定期診査時のエックス線写真(別冊No. 32B)とを別に示す。

エックス線写真から判定される術後所見はどれか。2つ選べ。

- a 歯の挺出
- b 歯槽骨頂部の吸収
- c 咬合性外傷の消失
- d 骨硬化像の消失
- e 固有歯槽骨の回復

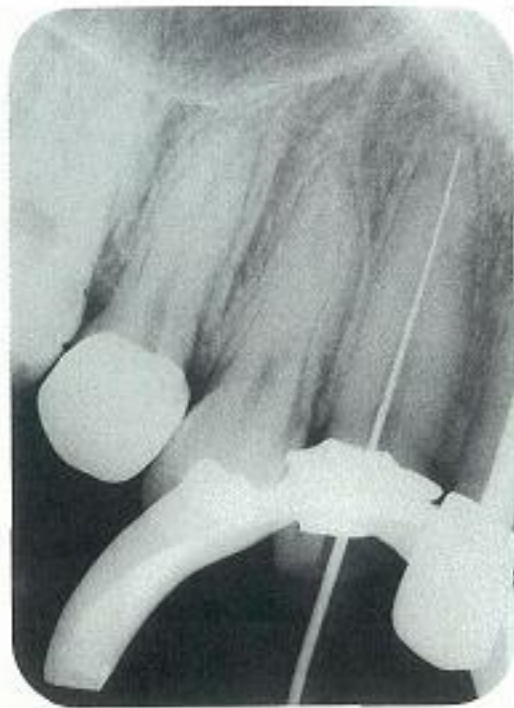


98B70

70 43歳の男性。上顎右側犬歯の治療中、頬部に腫脹が発現した。初診時のエックス線写真(別冊No. 33A)、根管長測定時のエックス線写真(別冊No. 33B)および腫脹発現時の顔貌写真(別冊No. 33C)を別に示す。

適切な対応はどれか。2つ選べ。

- a 摂食の制限
- b 温電法
- c 抗菌薬の投与
- d 内容物の穿刺
- e 切開



- 1 被着体とセメントとの組合せで最も大きい維持力が得られるのはどれか。
- a エナメル質 ————— リン酸亜鉛セメント
 - b 象牙質 ————— グラスアイオノマーセメント
 - c ニッケルクロム合金 ————— カルボキシレートセメント
 - d ISO タイプ 3 金合金 ————— レジン強化型グラスアイオノマーセメント
 - e コバルトクロム合金 ————— 接着性レジンセメント

2 無歯顎顎堤で骨梁が最も密な部位はどれか。'

- a 上顎切歯部
- b 上顎小白歯部
- c 上顎大白歯部
- d 下顎切歯部
- e 下顎大白歯部

3 高齢者にみられる加齢変化はどれか。

- a 味覚閾値の上昇
- b 唾液分泌量の増加
- c 咬合力の増大
- d 反射機能の亢進
- e 欠損部顎堤粘膜の肥厚

4 シランカップリング処理で接着性レジンセメントとの接着強さが向上するのはどれか。

(1) 硬質レジン

(2) アクリルレジン

(3) 金銀パラジウム合金

(4) コバルトクロム合金

(5) 陶 材

a (1)、(2)

b (1)、(5)

c (2)、(3)

d (3)、(4)

e (4)、(5)

5 軟骨内骨化がみられるのはどれか。

- a 頭頂骨
- b 前頭骨
- c 鼻 骨
- d 蝶形骨
- e 頬 骨

6 咬合平面の傾斜を評価できるのはどれか。

- (1) 顎態模型
- (2) 平行模型
- (3) パノラマエックス線写真
- (4) 咬合法エックス線写真
- (5) 側面頭部エックス線規格写真

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

7 負のアーチリングスディスクレパンシーで生じるのはどれか。

- a 交叉咬合
- b 過蓋咬合
- c 下顎近心咬合
- d 空隙歯列弓
- e 叢 生

8 サベヤーで決定できるのはどれか。

- a 人工歯の排列位置
- b レストの位置
- c リンガルバー下縁の位置
- d 人工歯の水平被蓋
- e ブロックアウトの範囲

9 鞍状型ポンティックを適用してよいのはどれか。

- a 半固定性ブリッジ
- b 固定性ブリッジ
- c 延長ブリッジ
- d 可撤性ブリッジ
- e 接着ブリッジ

10 無歯顎患者の水平的下顎位の決定に影響するのはどれか。

- a 顔面長径
- b 安静空隙量
- c 咬合力
- d F発音位
- e 頭部の後傾

- 11 陶材焼付鑄造冠のオペーク材で正しいのはどれか。
- a 熱膨張係数を小さくする成分が添加されている。
 - b 焼成は大気中で行う。
 - c コーピング表面の酸化膜と化学的に結合する。
 - d 光透過性を有する。
 - e 焼成は $600\sim 700^{\circ}\text{C}$ で行う。

12 全部床義歯でリリーフの適応部位はどれか。

- a 頬 棚
- b レトロモラーパッド
- c アーライン
- d ハミユラーノッチ
- e 切歯乳頭

13 支台歯が負担過重となりやすいブリッジの設計はどれか。

a $\overline{\textcircled{3}2\textcircled{1}}$

b $\overline{\textcircled{4}3\textcircled{2}}$

c $\overline{\textcircled{6}\textcircled{5}4}$

d $\overline{\textcircled{6}5\textcircled{4}}$

e $\overline{\textcircled{7}6\textcircled{5}}$

14 Kennedy II級患者の部分床義歯で支台歯の負担軽減に有効なのはどれか。

- (1) 頬舌径の小さい人工歯の使用
- (2) 遠心レストの付与
- (3) 欠損部顎堤の無圧印象
- (4) 片側性義歯の設計
- (5) 床面積の増大

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

15 失活した前歯の修復に用いないのはどれか。

- a ピンレッジ
- b ポーセレンジャケットクラウン
- c ポストインレー
- d 硬質レジン前装冠
- e 歯冠継続歯

- 16 リンガルバーの設計で正しいのはどれか。
- a 上縁は歯肉縁から 2 mm 以内に設置する。
 - b 上縁はコルベン状に形成する。
 - c 下縁は自然移行形にする。
 - d 下縁をリリーフする。
 - e 下部にケネディバーを併設する。

17 オルタードキャスト法に適するのはどれか。

- a 印象用石膏
- b モデリングコンパウンド
- c アルジネート印象材
- d 寒天印象材
- e ポリサルファイドゴム印象材

18 有歯顎者で後方基準点を平均的顆頭点、前方基準点を眼窩下点としてフェイスボ
 ウトランスファーを行った。

平均的な矢状顆路傾斜はどれか。

- a 約 40 度
- b 約 50 度
- c 約 60 度
- d 約 70 度
- e 約 80 度

19 陶材焼付鑄造冠ブリッジの構成材料で融解温度が最も低いのはどれか。

- a 前ろう着用ろう
- b 後ろう着用ろう
- c 陶材焼付合金
- d 歯冠色陶材
- e オペーク陶材

20 上下顎無歯顎患者でゴシックアーチ描記を行った。アペックスの位置はタッピングポイントの位置とほぼ一致しており、咬合採得した位置から後方へ2 mm、左側へ1 mm 偏位していた。

次に行うのはどれか。

- a 側方位でのチェックバイト
- b 前方位でのチェックバイト
- c 下顎安静位での石膏コアの採得
- d アペックスの位置での石膏コアの採得
- e 描記板と描記針の取り替え

21 コンダイラー型半調節性咬合器を使用するスプリットキャスト法での模型付着の目的はどれか。

- a ゴシックアーチの描記
- b Tench の歯型の採得
- c 矢状顎路傾斜の測定
- d 副模型の製作
- e オルタードキャスト法の使用

22 全部床義歯で蠟義歯試適時の点検事項でないのはどれか。

- a 顎堤粘膜の被圧縮性
- b 中心咬合位の咬合接触
- c 水平的顎間関係
- d 口唇・頬の豊隆
- e 歯頸線の位置

23 右側の非復位性顎関節円板前方転位で見られる症状はどれか。

- a 開口路の右側偏位
- b 右側顎関節のクリック音
- c 右側耳前部の腫脹
- d 右側耳前部の自発痛
- e 右側側方運動の制限

24 ポストの要件はどれか。

- a 補綴歯冠長以上の長さ
- b 補綴歯冠と同じ軸方向
- c 滑沢な研磨面
- d 歯根の 1/4 以内の太さ
- e 第一種銀合金での製作

25 内に入る語句の組合せで正しいのはどれか。

ワイヤークラスプ屈曲で用いる応力は ① より大きく、 ② より小さい。

- | | ① | ② |
|---|------|------|
| a | 比例限 | 降伏応力 |
| b | 比例限 | 弾性限 |
| c | 弾性限 | 比例限 |
| d | 弾性限 | 降伏応力 |
| e | 降伏応力 | 最大応力 |

26 ポストダム設置に関係するのはどれか。

- a 口蓋帆挙筋
- b 咽頭口蓋筋
- c 舌口蓋筋
- d 頬咽頭筋
- e 舌咽頭筋

27 口蓋裂患者の鼻漏防止用閉鎖床製作で使用するのはいずれか。

- a シリコーンゴム印象材
- b ポリサルファイドゴム印象材
- c 酸化亜鉛ユージノール印象材
- d アルジネート印象材
- e アクリル系印象材

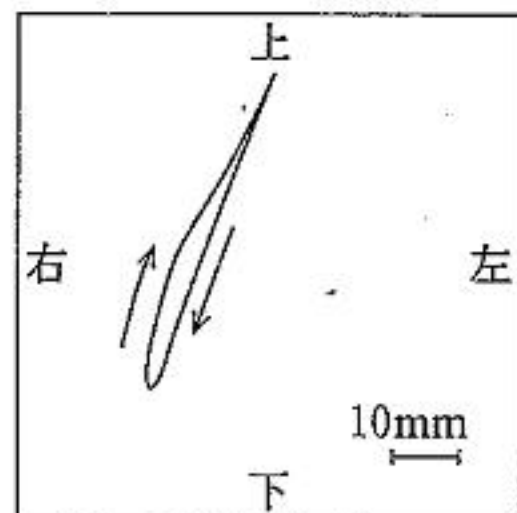
28 24歳の女性。上顎前歯部の冷水痛を主訴として来院した。過食症の治療を受けているという。初診時の口腔内写真(別冊No. 1A、B)を別に示す。

冷水痛の誘因で考えられるのはどれか。

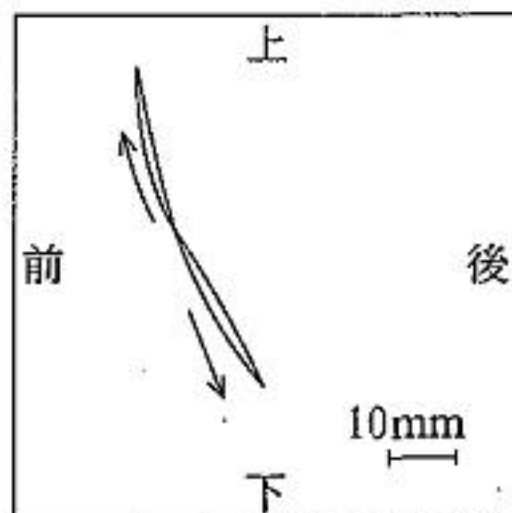
- a ブラキシズム
- b エナメル質形成不全
- c 過度のブラッシング
- d 硬い食品の嗜好
- e 頻回の嘔吐



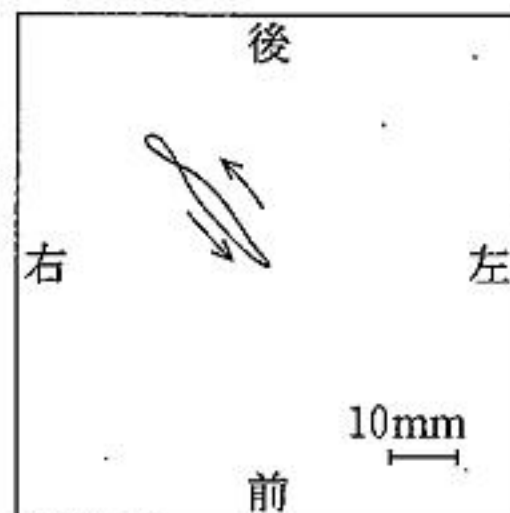
29 19歳の女性。右側顎関節部の開口時疼痛を主訴として来院した。開閉口運動軌跡を図に示す。



(前頭面観)



(矢状面観)



(水平面観)

この原因となる右側下顎頭の病態はどれか。

- a 位置異常
- b 骨増生
- c 過剰運動
- d 軟骨破壊
- e 運動制限

30 42歳の女性。上顎前歯部の外観不良を主訴として来院した。ブリッジは8年前に装着したという。初診時の口腔内写真(別冊No. 2A)、新しく製作したブリッジ②①①②③④⑤の写真(別冊No. 2B)および装着時の口腔内写真(別冊No. 2C)を別に示す。

前歯唇側部に用いた辺縁形態はどれか。2つ選べ。

- a ナイフエッジ
- b フェザーエッジ
- c ショルダー
- d ベベルドショルダー
- e ヘビーシャンファア



31 55歳の女性。下顎両側中切歯の変色を主訴として来院した。8か月前に事故で強打したという。治療前後の口腔内写真(別冊No. 3A、B)とエックス線写真(別冊No. 3C、D)とを別に示す。

行った処置はどれか。2つ選べ。

- a 歯面の清掃
- b 歯の漂白
- c ラミネートベニアの装着
- d 陶材焼付鑄造冠の装着
- e 歯の再植



32 67歳の女性。上顎右側側切歯の補綴物脱離を主訴として来院した。脱離した補綴物の写真(別冊No. 4A)、脱離補綴物を戻した状態での口腔内写真(別冊No. 4B)およびそのエックス線写真(別冊No. 4C)を別に示す。

適切な治療の組合せはどれか。

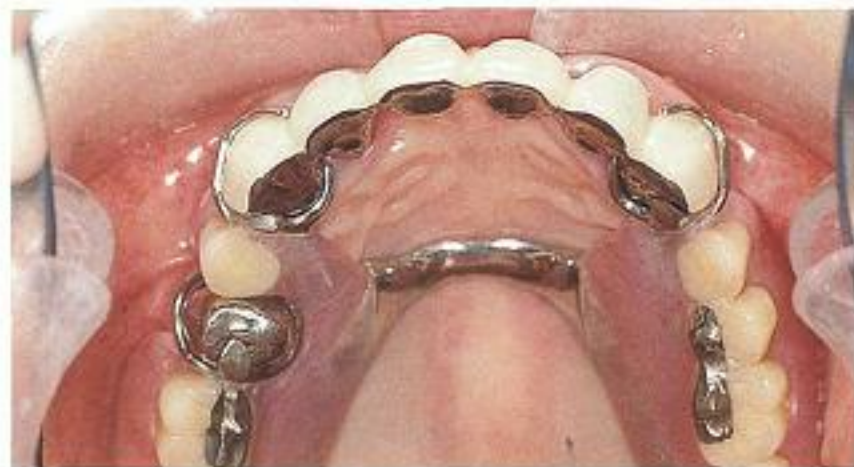
- a 咬合調整 ————— 補綴物の再装着
- b 支台築造体の再装着 ————— クラウンの製作
- c 支台築造体の製作 ————— クラウンの再装着
- d 支台築造体の製作 ————— クラウンの製作
- e 抜 歯 ————— 前装冠ブリッジの製作



33 56歳の女性。上下顎部分床義歯を製作した。上顎義歯装着時の口腔内写真(別冊No. 5A)と中心咬合位の口腔内写真(別冊No. 5B、C)とを別に示す。

この段階で用いるのはどれか。2つ選べ。

- a 咬合紙
- b バイトフォーク
- c バイトゲージ
- d 咬合平面板
- e 適合試験材



34 51歳の女性。上顎前歯部の歯冠継続歯の脱離を主訴として来院した。11の動揺度は1度である。初診時の口腔内写真(別冊No. 6A)と継続歯を戻した状態でのエックス線写真(別冊No. 6B)とを別に示す。

まず行うべき処置はどれか。

- a 挺 出
- b 圧 下
- c 固 定
- d 回 転
- e 傾 斜



次の文により 35、36 の問いに答えよ。

58 歳の男性。上顎歯列の歯冠補綴治療を行っている。形成後の口腔内写真(別冊 No. 7A)と作業用模型の写真(別冊 No. 7B)とを別に示す。

35 形成に用いたポイントの組合せで正しいのはどれか。



次の文により 35、36 の問いに答えよ。

58 歳の男性。上顎歯列の歯冠補綴治療を行っている。形成後の口腔内写真(別冊 No. 7A)と作業用模型の写真(別冊 No. 7B)とを別に示す。

36 形成後に行っている操作の写真(別冊 No. 7C、D)を別に示す。

計測しているのはどれか。

- a 支台歯の長径
- b 安静空隙量
- c オーバーバイト
- d オーバージェット
- e 咬合高径



37 77歳の女性。上下顎部分床義歯の製作を希望して来院した。初診時の口腔内写真(別冊No. 8A、B、C、D)を別に示す。

適切な設計はどれか。

- a 支台歯は $\frac{6}{3}|\frac{6}{3}$ とする。
- b 人工歯は頬舌径の大きなものとする。
- c 維持装置は緩圧型とする。
- d 大連結子は強固なものとする。
- e 床面積を小さくする。



98C38

38 63歳の男性。咀嚼障害を主訴として来院した。義歯は5年前に装着したという。義歯修理を行うこととした。初診時の口腔内写真(別冊No. 9A、B)、義歯の写真(別冊No. 9C)およびピンセットで義歯を加圧した時の写真(別冊No. 9D)を別に示す。

まず行うべき処置はどれか。

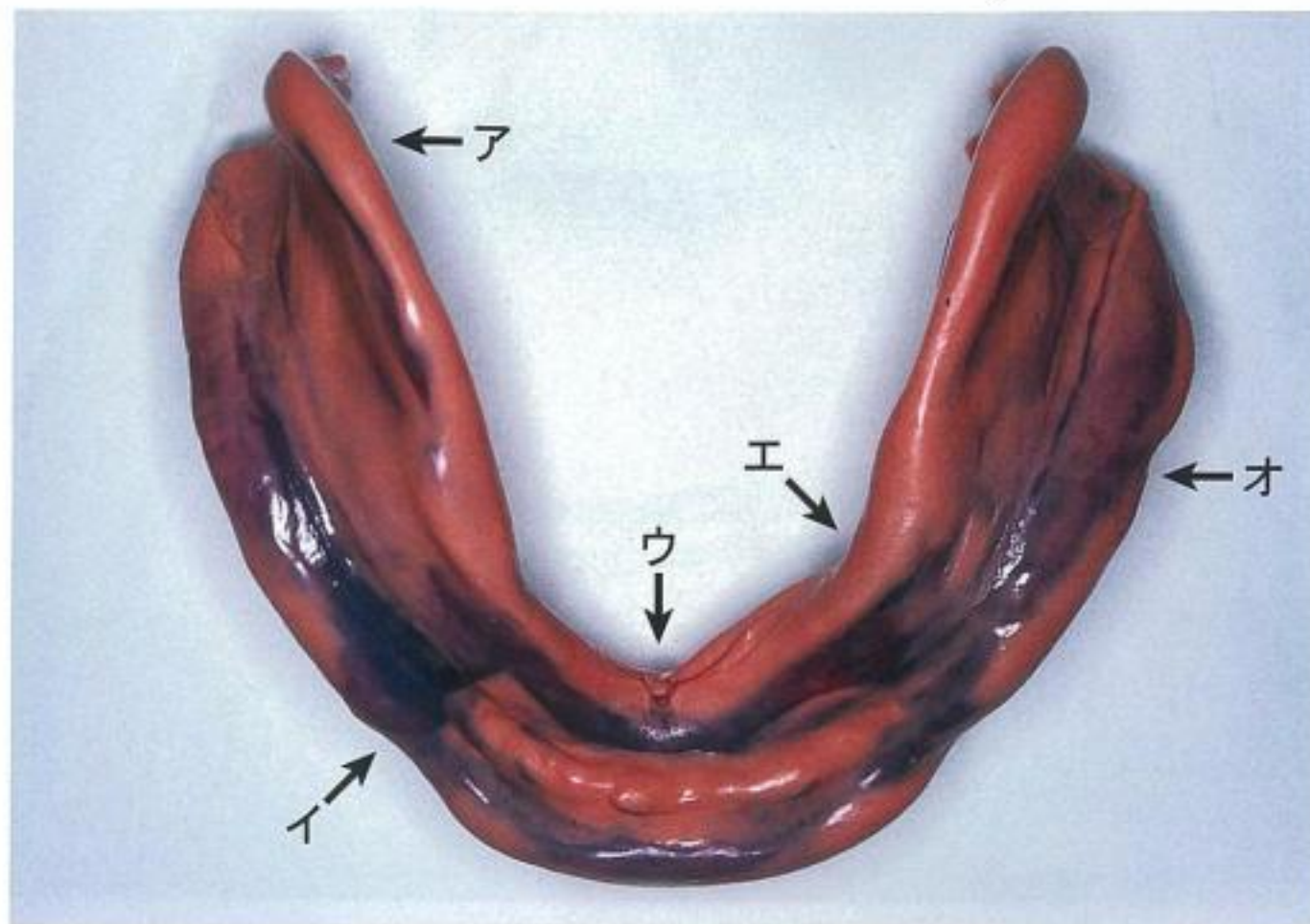
- a バラタルバーの再製
- b レストの追加
- c 義歯床面積の拡大
- d 粘膜調整
- e リライニング



39 80歳の女性。新たに下顎全部床義歯を製作することとした。精密印象後の写真(別冊No. 10)を別に示す。

モダイオラスの動きで形成されるのはどれか。

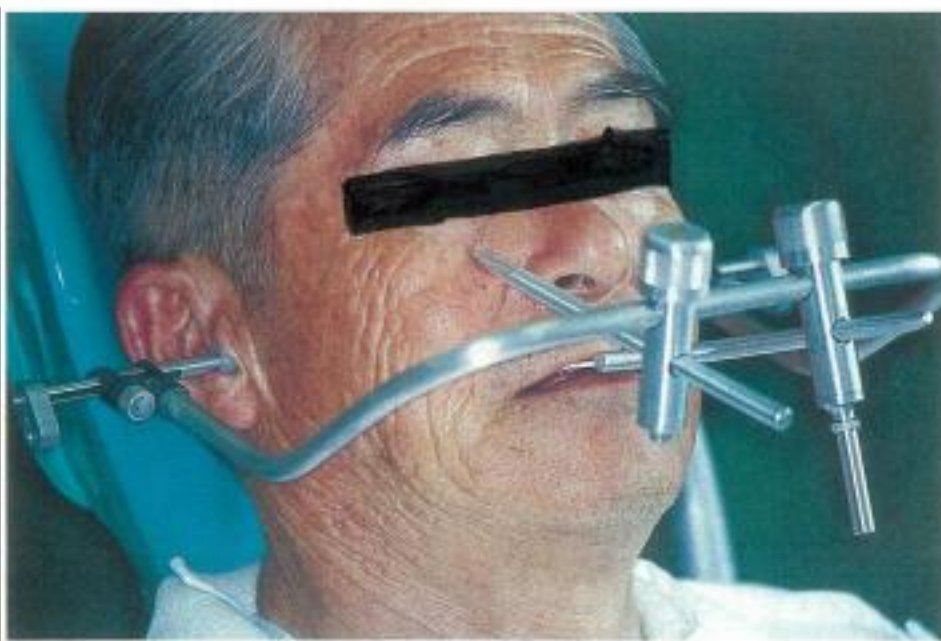
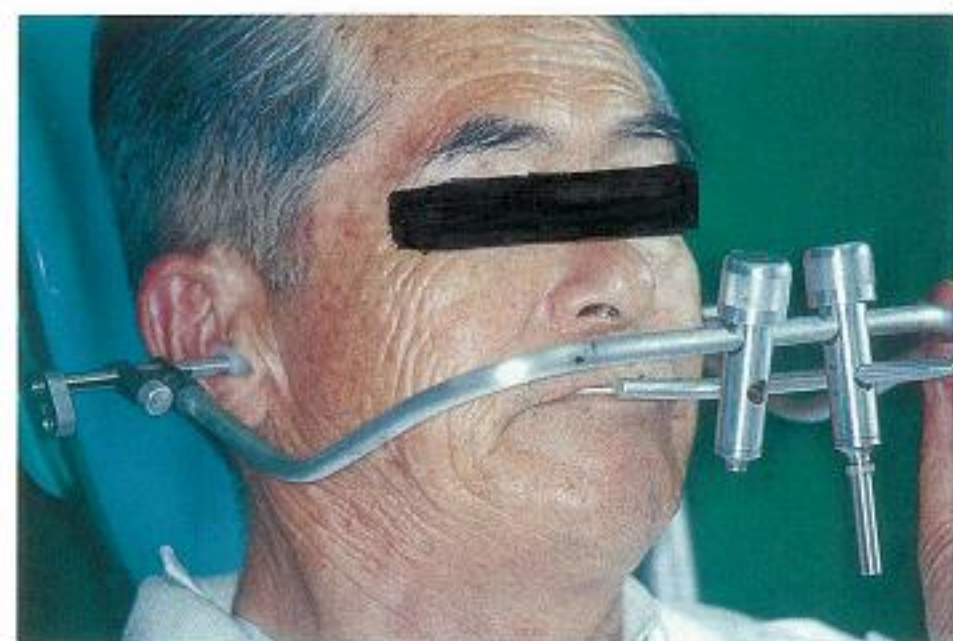
- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ



40 65歳の男性。上下顎全部床義歯の製作を希望して来院した。咬合採得時の写真(別冊No. 11A、B)を別に示す。

写真の操作の目的はどれか。

- a 咬合器上での咬合高径の修正
- b Balkwill 角の記録
- c バイトフォークの位置の修正
- d 顎頭点と咬合平面との関係の記録
- e 基準平面に対する上顎の位置の記録



41 76歳の男性。上下顎の補綴処置を希望して来院した。初診時の口腔内写真(別冊No. 12A)と咬合採得時の口腔内写真(別冊No. 12B)とを別に示す。

適切なのはどれか。

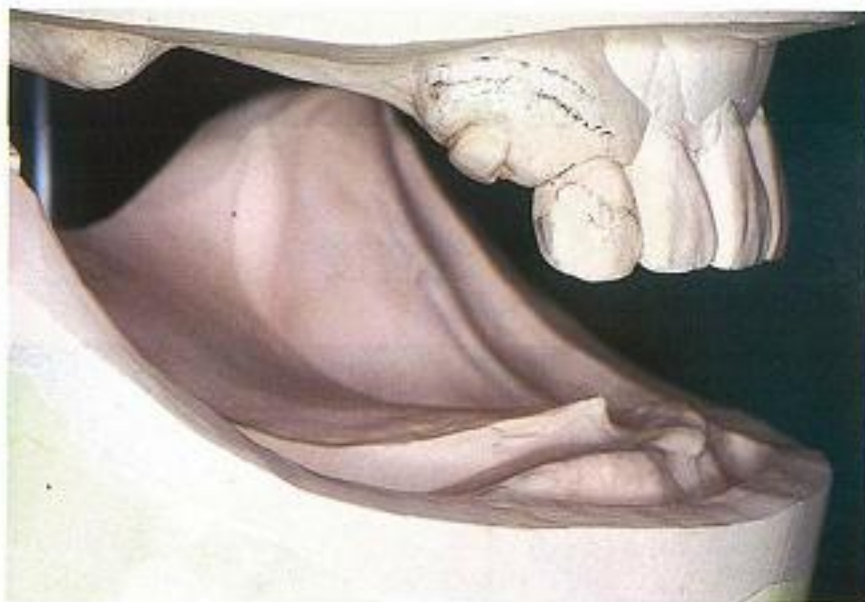
- a 上顎咬合堤前縁は切歯乳頭に一致させる。
- b 下顎咬合堤の高さは残存歯咬頭頂に一致させる。
- c 咬合平面の決定は無歯顎に準じて行う。
- d 咬合採得時には残存歯部で強く咬ませる。
- e 標示線の記入は残存歯を基準とする。



42 80歳の女性。上下顎義歯の製作を希望して来院した。初診時の口腔内写真(別冊No. 13A)と上下顎顎堤の対向関係の写真(別冊No. 13B、C)とを別に示す。

正しいのはどれか。

- a 卵円形の前歯部人工歯を選択する。
- b 咬頭傾斜の緩い臼歯部人工歯を選択する。
- c 前歯部を咬合させる。
- d 臼歯部人工歯を顎堤斜面まで排列する。
- e 調節彎曲を大きくする。



43 65歳の女性。上顎全部床義歯試適時に「サ」行が発音しにくいと訴えたため、パラトグラム法で発音試験を行った。「サ」音発音前後の蠟義歯の写真(別冊No. 14 A、B)を別に示す。

行うべき操作はどれか。

- a 前歯を唇側に排列する。
- b 左側臼歯を頬側に排列する。
- c 左側臼歯口蓋側にワックスを追加する。
- d S字状隆起を付与する。
- e 義歯床を薄くする。



44. 63歳の女性。上下顎全部床義歯を製作することとした。上下顎蠟義歯の試適前の顔貌写真(別冊No. 15A、B)と試適時の顔貌写真(別冊No. 15C、D、E)とを別に示す。

試適時の所見はどれか。

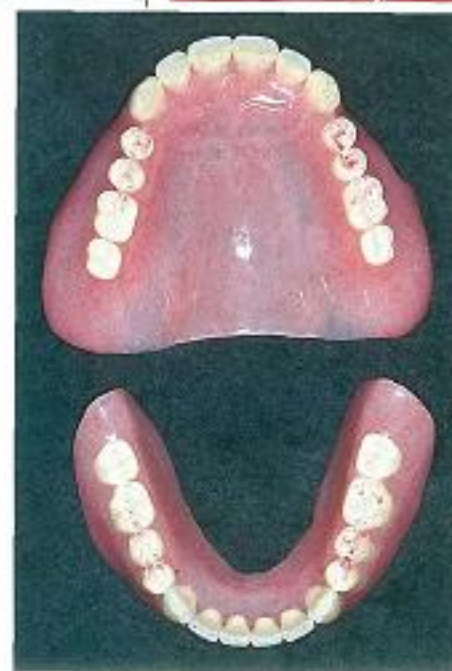
- a 咬合高径が不足している。
- b 前歯の幅径が小さい。
- c 顔面と義歯の正中が一致している。
- d 赤唇が薄い。
- e リップサポートがある。



45 72歳の男性。義歯装着3日後に下顎左側粘膜の疼痛を訴えて来院した。口腔内写真(別冊No. 16A、B)、適合試験の写真(別冊No. 16C)および義歯の写真(別冊No. 16D)を別に示す。

行うべき処置はどれか。2つ選べ。

- a 咬合調整
- b 床研磨面の調整
- c 床辺縁の調整
- d 床粘膜面の調整
- e 粘膜調整



赤マーク：中心咬合位の咬合接触

46 59歳の女性。咀嚼時の義歯床下粘膜の疼痛を主訴として来院した。8年前に義歯を装着し、2日前から咬合時に疼痛があるという。初診時の口腔内写真(別冊No. 17A、B)と適合試験の写真(別冊No. 17C)とを別に示す。

適切な処置はどれか。

- a クラスプの追加
- b リンガルバーの調整
- c 床粘膜面のリリース
- d 床辺縁の延長
- e リライニング



47 85歳の女性。咀嚼時の下顎右側臼歯部床下粘膜の疼痛を主訴として来院した。

5年前に義歯を装着し、1か月前から疼痛があるという。初診時の口腔内写真(別冊No. 18A)と義歯装着時の写真(別冊No. 18B)とを別に示す。

まず行うべき処置はどれか。

- a 咬合調整
- b 床粘膜面のリリース
- c 粘膜調整
- d リライニング
- e 義歯の維持力の増強



48 73歳の女性。咀嚼時の義歯の不安定を主訴として来院した。15年前に装着したが、3週間前から噛みにくく、脱離しやすくなったという。初診時の義歯の写真(別冊No. 19A、B、C)を別に示す。

疑われる原因はどれか。

- a ブラキシズム
- b 片側性咀嚼
- c 過度の義歯清掃
- d 前歯部陶歯の使用
- e 人工歯の咬耗



49 70歳の女性。咀嚼障害を主訴として来院した。3か月前に即時義歯を装着したが、1週間前から床下粘膜に圧迫感があるという。来院時の口腔内写真(別冊 No.20 A、B)と適合試験の写真(別冊No. 20C)とを別に示す。

適切な処置はどれか。2つ選べ。

- a 咬合調整
- b 床面積の拡大
- c 床辺縁の削除
- d 床粘膜面のリリース
- e リライニング



赤マーク：中心咬合位の咬合接触

50 76歳の男性。補綴処置を希望して来院した。2年前に咽頭部腫瘍を切除したが、義歯は装着しなかったという。初診時の口腔内写真(別冊No. 21)を別に示す。

義歯に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a パラタルストラップ
- b サージカルステント
- c 栓塞子
- d スピーチエイド
- e 金属スケルトン



51 骨格性開咬で小さい値を示すのはどれか。

- a Y 軸角
- b 下顎角
- c 下顎下縁平面角
- d 下顎枝高
- e 下顔面高

52 正しい組合せはどれか。

- a Pierre Robin 症候群 ————— 下顎遠心咬合
- b Apert 症候群 ————— 過蓋咬合
- c Crouzon 症候群 ————— 上顎前突
- d 唇顎口蓋裂 ————— 下顎歯列弓の狭窄
- e Treacher-Collins 症候群 ————— 下顎近心咬合

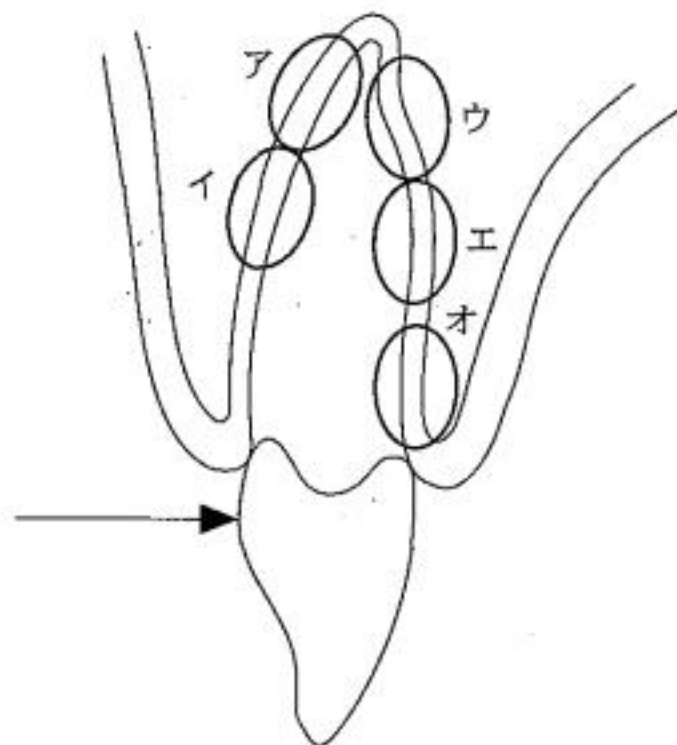
53 矯正歯科治療期間中に患者自身が行うのはどれか。

- a コイルスプリングの交換
- b アーチワイヤーの交換
- c 顎間ゴムの交換
- d 床装置辺縁の調整
- e 補助弾線の調整

54 正しい組合せはどれか。

- a 補助弾線 ————— 断続的矯正力
- b 拡大ネジ ————— 間歇的矯正力
- c アーチワイヤー ————— 持続的矯正力
- d エラスティック ————— 断続的矯正力
- e コイルスプリング ————— 間歇的矯正力

55 上顎中切歯部の矢状断面を図に示す。



矢印の方向に矯正力を加えた際に硝子様変性がみられるのはどれか。

- (1) ア
- (2) イ
- (3) ウ
- (4) エ
- (5) オ

a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3) d (3), (4) e (4), (5)

56 軟骨内骨化を抑制するのはどれか。

- a 急速拡大装置
- b 咬合斜面板
- c 舌側弧線装置
- d チンキャップ
- e ヘッドギア

57 混合歯列期の反対咬合の治療に用いるのはどれか。

- a 咬合斜面板
- b パラタルアーチ
- c タングクリブ
- d リップバンパー
- e アクチパトール

58 歯の位置異常で正しいのはどれか。

- a 傾斜は歯軸が整直している。
- b 転位は萌出位置が入れ替わっている。
- c 移転は唇舌方向の軸を中心に回転している。
- d 捻転は長軸を中心に回転している。
- e 低位は咬合平面を越えて位置している。

59 セファログラムの計測点で顔面正中にあるのはどれか。

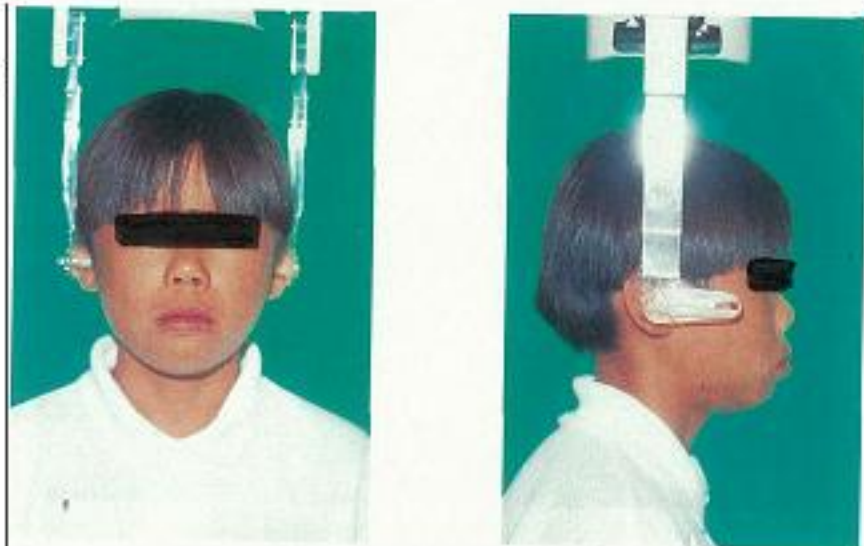
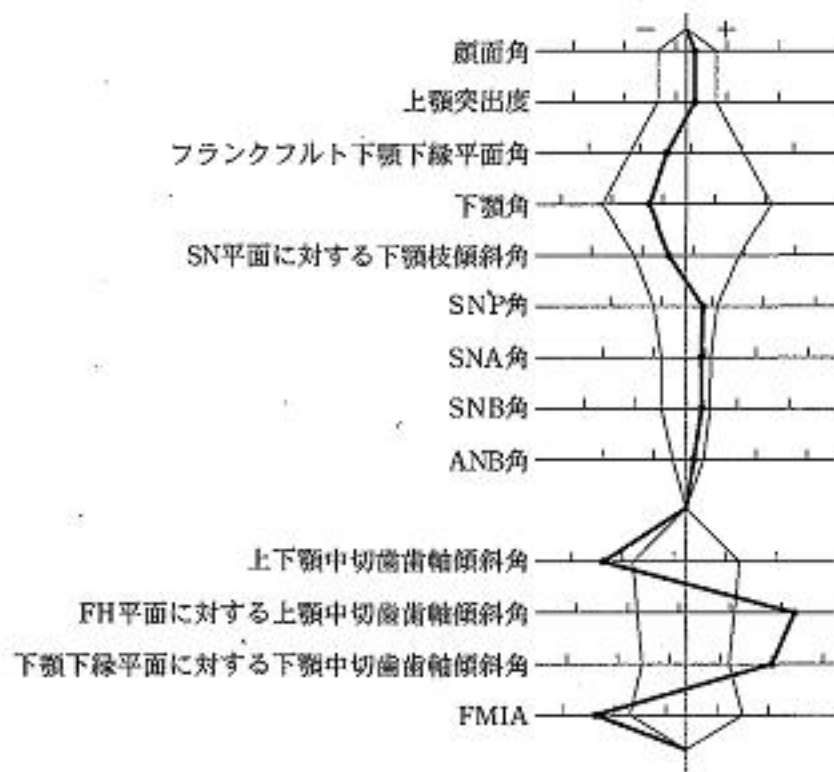
- a Po
- b Or
- c Go
- d Ar
- e Pog

60 垂直方向の位置関係の異常を示すのはどれか。

- (1) 過蓋咬合
- (2) 交叉咬合
- (3) 上顎前突
- (4) 下顎前突
- (5) 開 咬

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

61 13歳の男子。口元の突出感を主訴として来院した。初診時の顔面写真(別冊No. 22A、B)と口腔内写真(別冊No. 22C、D、E)とを別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。

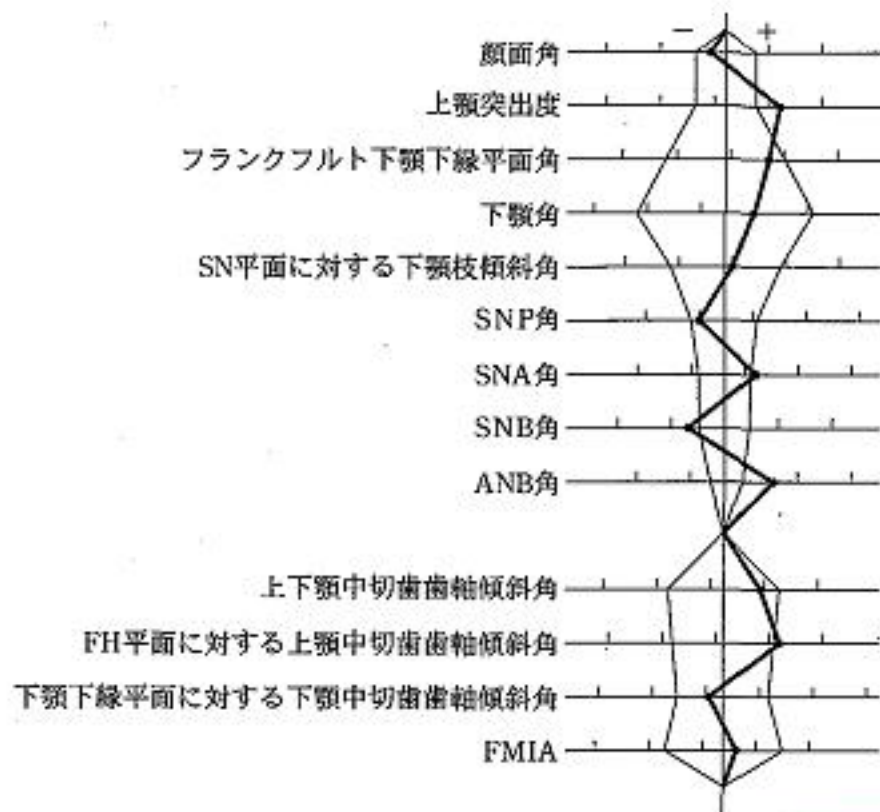


治療方針で適切なのはどれか。

- a 非抜歯で上下顎歯列を遠心移動する。
- b $\frac{4}{4}/\frac{4}{4}$ 抜歯後、加强固定を用いる。
- c $\frac{4}{4}/\frac{4}{4}$ 抜歯後、単純固定を用いる。
- d $\frac{4}{5}/\frac{4}{5}$ 抜歯後、顎間固定を用いる。
- e $\frac{4}{5}/\frac{4}{5}$ 抜歯後、相反固定を用いる。



62 10歳の男児。前歯で噛めないことを主訴として来院した。初診時の顔面写真(別冊No. 23A、B)と口腔内写真(別冊No. 23C、D、E)とを別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。

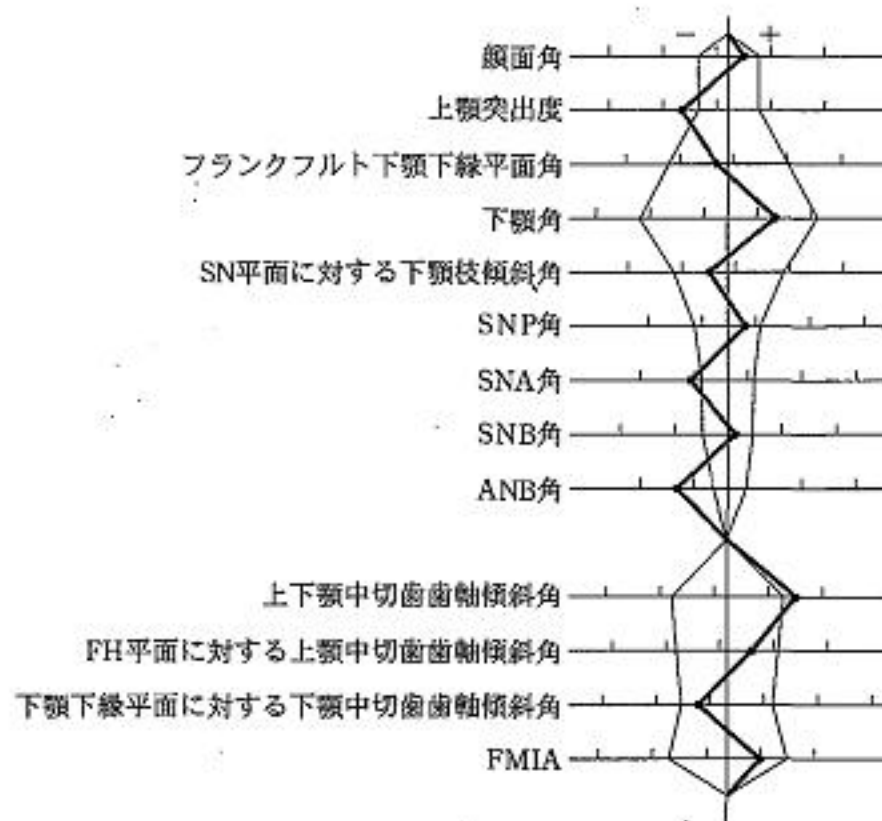


適切な治療方針はどれか。2つ選べ。

- a 上顎の前方成長抑制
- b 上顎大白歯の近心移動
- c 下顎の前方成長促進
- d 下顎歯列の側方拡大
- e 下顎前歯の唇側傾斜



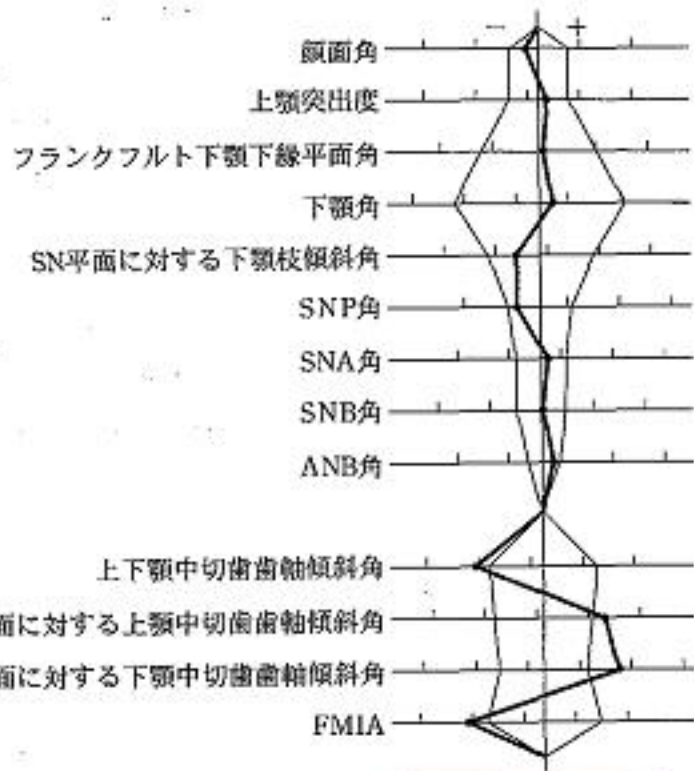
63 7歳の女児。受け口を主訴として来院した。初診時の顔面写真(別冊No. 24A、B)と口腔内写真(別冊No. 24C、D)とを別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。



適切な治療方針はどれか。

- a 上顎の前方牽引
- b 下顎の左方誘導
- c 上顎前歯の唇側傾斜
- d 下顎前歯の舌側傾斜
- e 乳犬歯の抜去

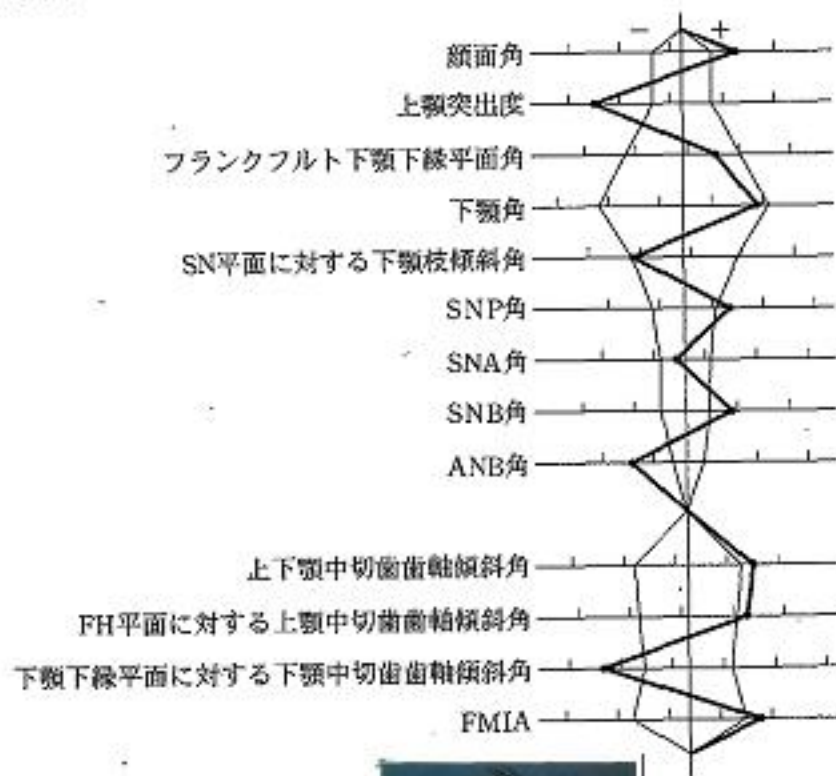
64 19歳の女性。口元の突出感を主訴として来院した。咬合関係はAngle I級で、アーチリングスディスクレパンシーは上顎 -6 mm、下顎 -5 mmである。初診時の顔面写真(別冊No. 25A)と口腔内写真(別冊No. 25B、C、D、E)とを別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。



適切な治療方針はどれか。

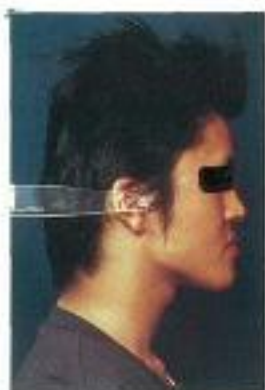
- a $\frac{4}{4}$ の抜歯
- b $\frac{5}{4}$ の抜歯
- c $\frac{2}{2}$ の抜歯
- d 非抜歯で上顎大白歯の遠心移動
- e 非抜歯で歯列弓の拡大

65 25歳の男性。受け口を主訴として来院した。咬合関係はAngleⅢ級で、アーチレングスディスクレパンシーは上顎 -3mm、下顎 -2mmである。下顎枝矢状分側術による外科的矯正治療を行うことにした。初診時の顔面写真(別冊No. 26A)と口腔内写真(別冊No. 26B、C、D、E、F)とを別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。



適切な抜歯部位はどれか。

- a $\frac{4}{1}$
 b $\frac{4}{1} \frac{4}{1}$
 c $\frac{1}{1}$
 d $\frac{4}{1}$
 e $\frac{4}{4} \frac{4}{4}$



66 8歳の男児。受け口を主訴として来院した。初診時の顔面写真(別冊No. 27A、B)と口腔内写真(別冊No. 27C、D)とを別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。



咬頭嵌合位



早期接触位



咬頭嵌合位

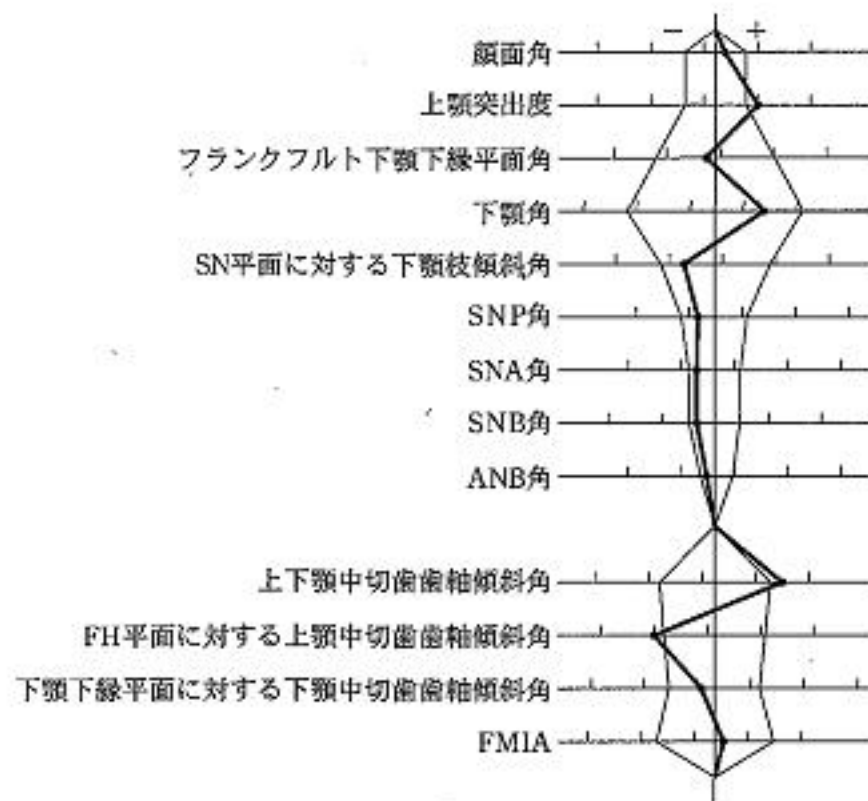


早期接触位

適切な治療方針はどれか。2つ選べ。

- a 上顎の急速拡大
- b 上顎の前方牽引
- c 下顎の後方誘導
- d 上顎前歯の唇側傾斜
- e 下顎前歯の舌側傾斜

67 9歳の女兒。前歯の噛み合わせの異常を主訴として来院した。初診時の顔面写真(別冊No. 28A)と口腔内写真(別冊No. 28B、C)とを別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。

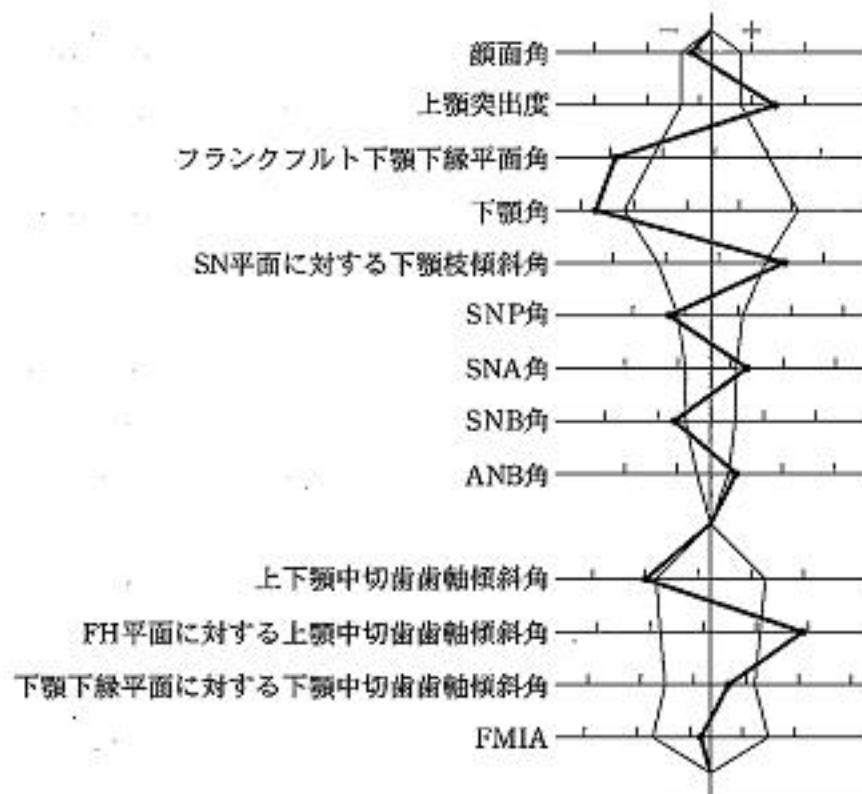


適切な矯正装置はどれか。

- a チンキャップ
- b パラタルアーチ
- c リップバンパー
- d タングクリブ
- e リンガルアーチ



68 7歳の女児。前歯の突出を主訴として来院した。初診時の顔面写真(別冊No. 29 A、B)と口腔内写真(別冊No. 29C、D、E)とを別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。

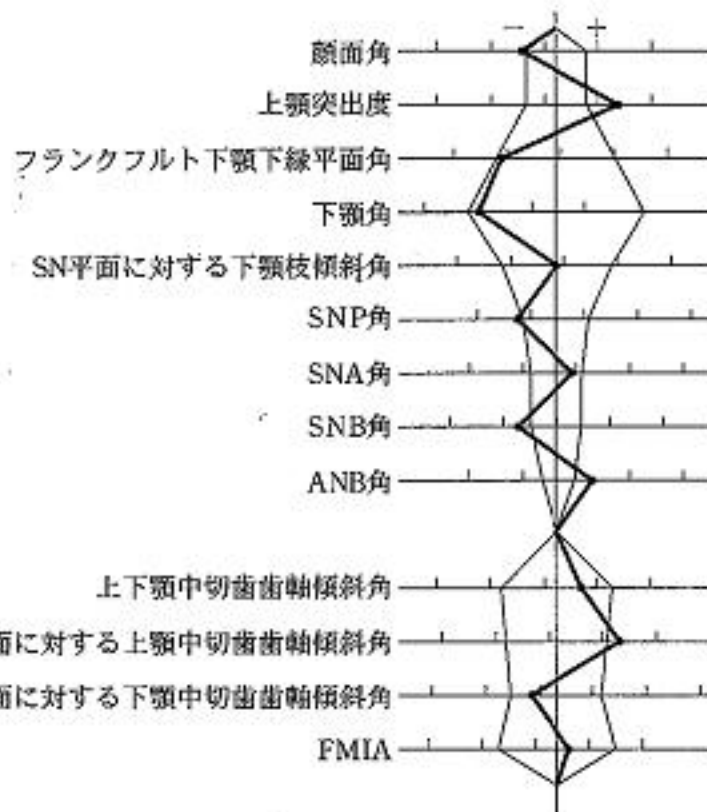


適切な矯正装置はどれか。2つ選べ。

- a 拡大床
- b オーラルスクリーン
- c ヘッドギア
- d 咬合斜面板
- e リップバンパー



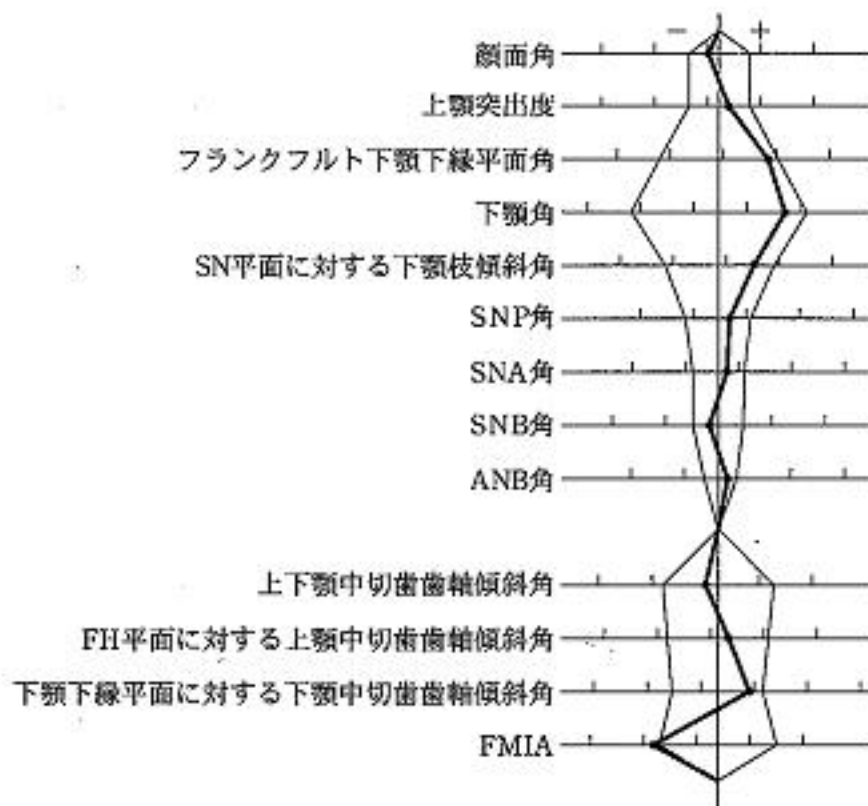
69 11歳の男児。前歯の突出感を主訴として来院した。咬合関係はAngleⅡ級である。初診時の口腔内写真(別冊No. 30A、B、C、D)を別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。



適切な矯正装置はどれか。

- a アクチバトール
- b ヘッドギア
- c リップバンパー
- d 切歯斜面板
- e 咬合挙上板

70 8歳の女児。前歯の歯並びが悪いことを主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊No. 31A、B)と早期接触を示す石膏模型写真(別冊No. 31C、D)とを別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。



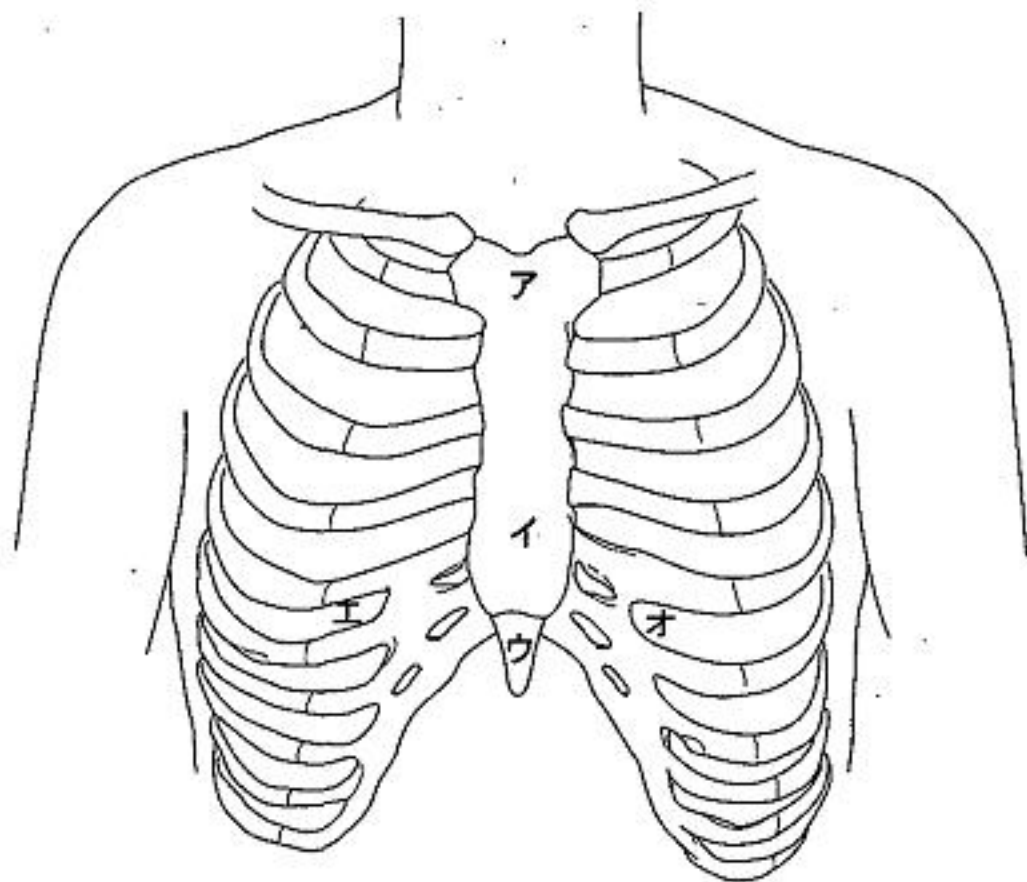
適切な治療方針はどれか。2つ選べ。

- a 上顎の成長抑制
- b 上顎歯列弓の側方拡大
- c 下顎骨の左方誘導
- d 上顎右側側切歯の唇側移動
- e 永久歯列期での治療

1 赤血球を抗 A 血清、抗 B 血清および抗 D 血清に加えるとすべて凝集した。
血液型はどれか。

- a AB 型、Rh(－)型
- b AB 型、Rh(＋)型
- c O 型、Rh(－)型
- d O 型、Rh(＋)型
- e A 型、Rh(－)型

2 非開胸式心マッサージを行う部位はどれか。



- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ

3 歯科用エックス線撮影装置の照射孔に取り付けられているのはどれか。

- (1) ろ過板
- (2) コーン
- (3) 絞 り
- (4) タイマー
- (5) トランス

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

4 心肺蘇生法で正しい組合せはどれか。

- a 頸動脈触知不能 ————— 心マッサージ
- b 意識消失 ————— 人工呼吸
- c 呼吸停止 ————— 静脈路の確保
- d 心音聴取不能 ————— 除細動
- e 顔面蒼白 ————— 口腔内異物の確認

5 に入る語句の組合せで正しいのはどれか。

リスクマネジメントは、「リスクの ① 」→「リスクの ② 」→「リスクへの対応」→「対応の評価」の順に行う。

①

②

- | | | |
|---|----|----|
| a | 把握 | 分析 |
| b | 把握 | 想定 |
| c | 想定 | 発見 |
| d | 想定 | 分析 |
| e | 分析 | 発見 |

6 熱伝導率が最も小さいのはどれか。

- a 金合金
- b 陶 材
- c アクリルレジン
- d コンポジットレジン
- e 歯科用アマルガム

7 単純性骨嚢胞のエックス線写真所見はどれか。

- a ホタテ貝状像
- b すりガラス状像
- c 旭日像
- d 虫食い状像
- e 蜂巣状像

8 基底細胞母斑症候群で見られるのはどれか。

- (1) 口蓋裂
- (2) 二分肋骨
- (3) 多発性顎嚢胞
- (4) 大脳鎌の石灰化
- (5) メラニン沈着

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

9 意識下鎮静法で起こりやすいのはどれか。

- a 喉頭反射の消失
- b 嚥下反射の消失
- c 横隔膜筋活動の消失
- d 気道の閉塞
- e 循環の虚脱

10 下顎骨関節突起の低形成を呈するのはどれか。

- a 第一鰓弓症候群
- b 変形性顎関節炎
- c Gardner 症候群
- d Eagle 症候群
- e McCune-Albright 症候群

11 23歳の女性。左側下顎部の腫脹を主訴として来院した。エックス線所見では「3」から「8」相当骨体部全体に多房性の嚢胞様透過像を認める。生検材料では断面は半透明、ゼリー状を呈し、組織学的には粘液様間質に紡錘形の細長い細胞が散在している。

適切な治療法はどれか。

- a 摘出術
- b 開窓術
- c 下顎骨部分切除術
- d 下顎骨区域切除術
- e 下顎骨半側切除術

12 62歳の男性。舌の疼痛と腫脹とを主訴として来院した。右側舌縁部に 13 mm × 20 mm の噴火口状潰瘍を認め、生検で扁平上皮癌と診断された。潰瘍を含めて 30 mm × 34 mm の硬結を触れる。触診と CT 所見とで右側顎下部に 25 mm × 28 mm の転移が疑われるリンパ節を認める。遠隔臓器への転移は認めない。

病期はどれか。

- a $T_1N_1M_0$, stage I
- b $T_1N_1M_0$, stage II
- c $T_2N_1M_0$, stage II
- d $T_2N_1M_0$, stage III
- e $T_3N_2M_1$, stage III

13 25歳の男性。閉口不能を主訴として来院した。両側耳前部の陥凹と疼痛、流涎、鼻唇溝の消失および発音障害を認める。

考えられる処置はどれか。

- (1) Hippocrates 法
- (2) オトガイ帽装着
- (3) 顎関節授動術
- (4) 咀嚼結紮
- (5) 顎間固定

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

14 悪性高熱症の症状でないのはどれか。

- a 筋硬直
- b 不整脈
- c ミオグロビン尿
- d 代謝性アルカローシス
- e 1 時間に 2°C 以上の体温上昇

15 11歳の男児。転倒しオトガイ部を打撲して来院した。オトガイ部と両側耳前部に腫脹と圧痛とがあり開咬状態を呈している。

疑われるのはどれか。

- (1) 下顎骨正中部骨折
- (2) 関節突起骨折
- (3) 頬骨弓骨折
- (4) 筋突起骨折
- (5) Le Fort I型骨折

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

16 核酸合成を抑制する代謝拮抗薬はどれか。

- a マイトマイシンC
- b シスプラチン
- c 硫酸ペプロマイシン
- d シクロホスファミド
- e フルオロウラシル

17 口腔癌の放射線治療で起こる晩期障害はどれか。

- a 口腔粘膜炎
- b 下顎骨壊死
- c 耳下腺腫脹
- d 白血球数減少
- e 放射線宿酔

18 長期服用で歯肉の肥厚をきたすのはどれか。

- (1) 抗結核薬
- (2) 抗血小板薬
- (3) 抗ウイルス薬
- (4) カルシウム拮抗薬
- (5) 抗てんかん薬

- a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

19 正しい組合せはどれか。

- a 口唇ヘルペス ————— プレドニゾロン
- b 帯状疱疹 ————— アシクロビル
- c 口腔カンジダ症 ————— 硫酸ストレプトマイシン
- d 白板症 ————— 塩酸テトラサイクリン
- e 溝状舌 ————— アンピシリン

20 老化でみられるのはどれか。

- a 大動脈の伸展性の増大
- b 尿の濃縮能の増大
- c ノルエピネフリン分泌の減少
- d 心電図での PQ 間隔の短縮
- e 肺の機能的残気量の減少

21 常染色体数の異常があるのはどれか。

- a Apert 症候群
- b Treacher-Collins 症候群
- c Marfan 症候群
- d Down 症候群
- e Turner 症候群

22 顎関節の診断で単純 CT が有効なのはどれか。

- a 関節円板転位
- b 関節円板癒着
- c 関節突起骨折
- d 関節液貯留
- e 関節円板穿孔

23 ガマ腫の一般的治療法はどれか。

- a 副腔形成術
- b 顎下腺摘出術
- c 梱包療法
- d 穿刺吸引療法
- e 放射線療法

24 30歳の男性。50日前に骨髄移植を受けたという。口腔内は乾燥し、扁平苔癬様病変を認める。

投与するのはどれか。

- a 抗菌薬
- b 抗ウイルス薬
- c 副腎皮質ステロイド薬
- d 唾液分泌促進薬
- e 消炎鎮痛薬

25 舌乳頭の黒色変化で確認すべき事項はどれか。

- a 抗菌薬の内服
- b 消炎鎮痛薬の内服
- c 貧血の既往
- d 胃潰瘍の既往
- e 輸血の既往

26 50歳の男性。右側眼瞼の閉鎖困難を主訴として来院した。1週前に右側顔面に違和感が生じ、その後、右側口角が下垂し、右側前額の皺形成ができなくなったという。聴覚に異常はないが、舌右側前方部の味覚が消失している。

考えられる神経の障害部位はどれか。

- a 耳下腺部
- b 茎乳突孔部
- c 鼓索神経分岐部
- d アブミ骨筋神経上部
- e 膝神経節上部

27 ある疾患の特徴を①～③に示す。

- ① 顎骨内に発生する。
- ② エックス線写真で透過像の中に不規則な不透過物が散在する。
- ③ 生検組織像で幻影細胞 (ghost cell) が認められる。

診断名はどれか。

- a 歯原性角化嚢胞
- b 石灰化歯原性嚢胞
- c 脈瘤性骨嚢胞
- d エナメル上皮腫
- e 腺様歯原性腫瘍

28 23歳の女性。無麻酔下の窩洞形成で疼痛と不快感とを訴え、顔面が蒼白になった。

まず行う対応はどれか。

- a バイタルサインの確認
- b 静脈確保
- c 気道確保
- d 血液学的検査
- e 血中炭酸ガス濃度測定

29 正しい組合せはどれか。

- a 鉄欠乏性貧血 ————— Hunter 舌炎
- b 巨赤芽球性貧血 ————— Plummer-Vinson 症候群
- c 再生不良性貧血 ————— ビタミン B₁₂ 欠乏症
- d 溶血性貧血 ————— ビタミン C 欠乏症
- e 続発性貧血 ————— 急性白血病

30 55歳の男性。下顎右側第三大臼歯を抜去したが、術後4日目に同部の激しい自発痛を訴えて再来院した。発熱はなく、抜歯窩には血餅の形成がみられず、骨が露出して口臭を認める。

考えられるのはどれか。

- a 急性顎骨骨髓炎
- b 反射性交感神経萎縮症
- c 歯槽膿瘍
- d 下顎管損傷
- e ドライソケット

31 25歳の男性。上顎右側第一大臼歯を抜去後、抜歯窩から排膿を認めた。口蓋根の抜歯窩に直径2mmの小孔を認め、歯科用ゾンデが貫通し、含嗽させると液体が鼻腔から流出する。エックス線写真で右上顎洞の不透過像が認められる。

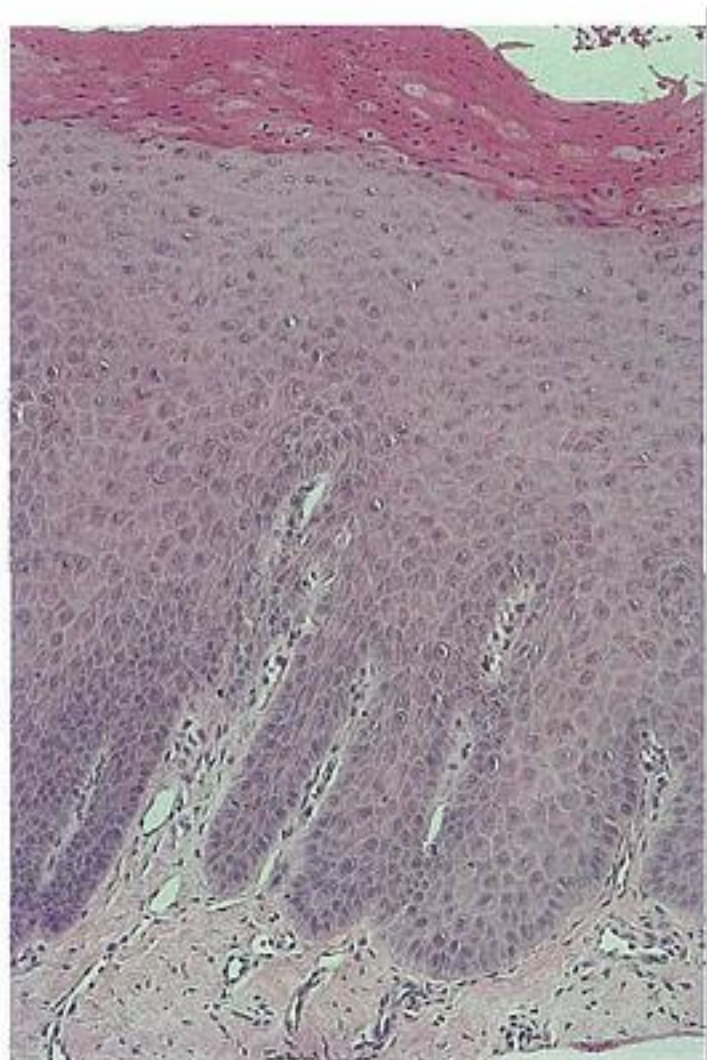
まず行う処置はどれか。

- a 上顎洞根治手術
- b 上顎嚢胞摘出術
- c 口腔・上顎洞瘻閉鎖術
- d 上顎切除術
- e 上顎洞洗浄療法

32 62歳の男性。左側頬粘膜の異常を主訴として来院した。3か月前に気付いたが、無痛であったという。顎下リンパ節は触れない。初診時の口腔内写真(別冊No. 1A)と生検時の病理組織像(別冊No. 1B)とを別に示す。

診断名はどれか。

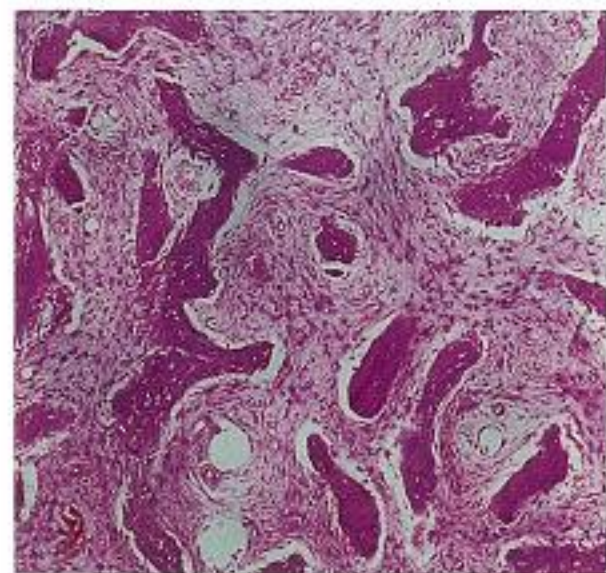
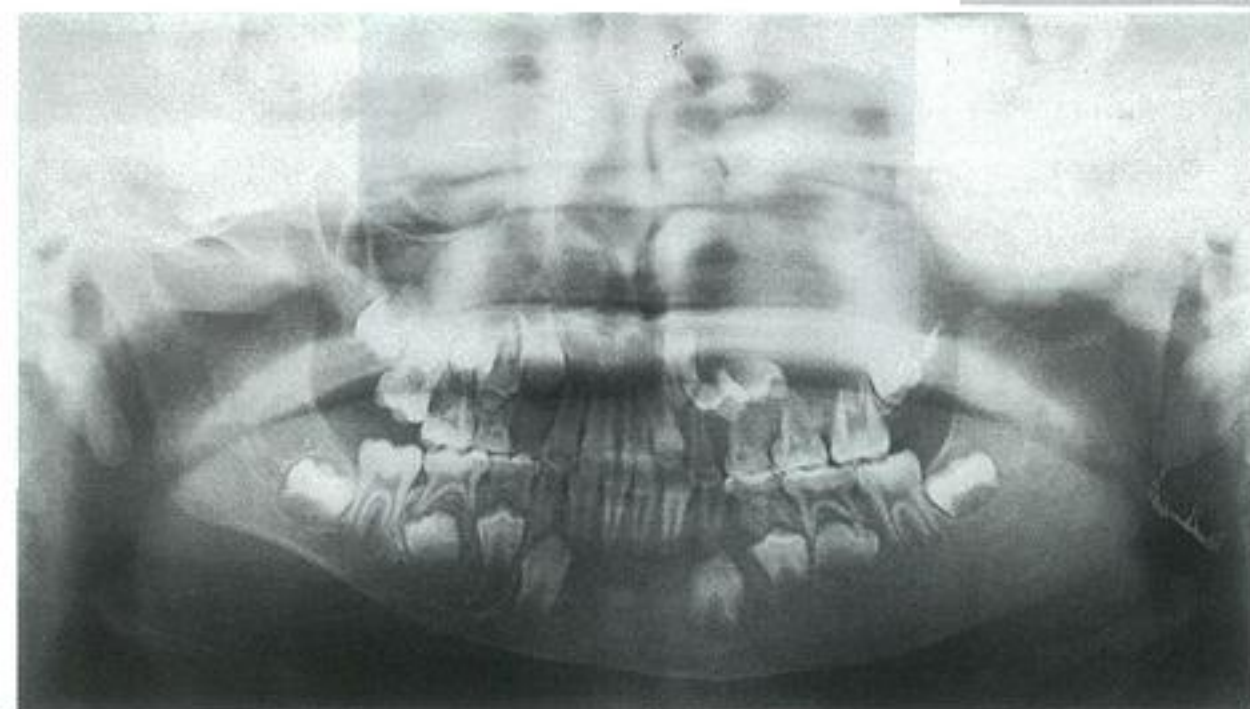
- a 白板症
- b 扁平上皮癌
- c 口腔カンジダ症
- d 扁平苔癬
- e 乳頭腫



33 9歳の男児。左側顔面部の腫脹を主訴として来院した。初診時の後頭部皮膚写真(別冊No. 2A)、エックス線写真(別冊No. 2B)、骨シンチグラム(別冊No. 2C)及び骨生検時の病理組織像(別冊No. 2D)を別に示す。

疑われるのはどれか。

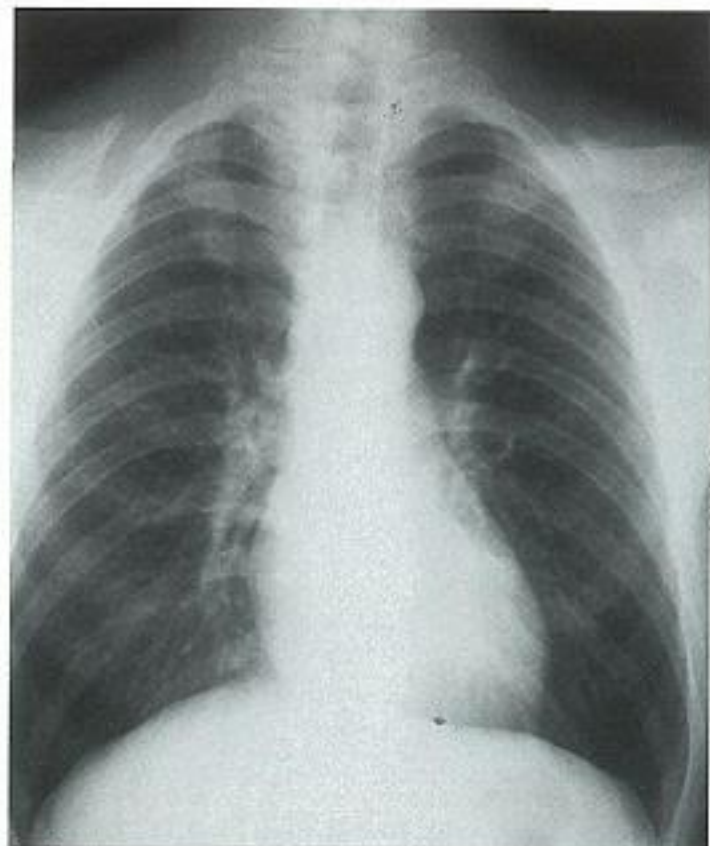
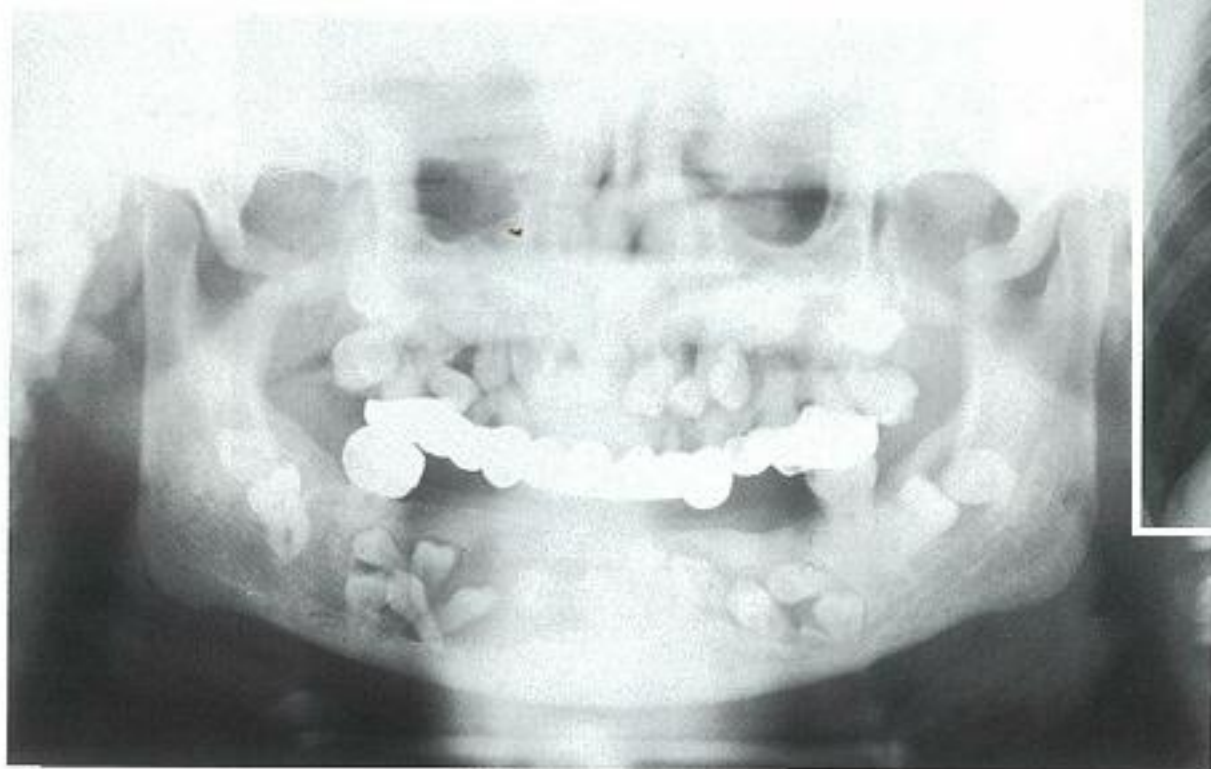
- a Peutz-Jeghers 症候群
- b Gardner 症候群
- c von Recklinghausen 病
- d McCune-Albright 症候群
- e Goldenhar 症候群



34 35歳の男性。かかりつけ歯科医の紹介で来院した。幼少時から遺伝性疾患を指摘されている。初診時のエックス線写真(別冊No. 3A、B)を別に示す。

考えられるのはどれか。

- a 基底細胞母斑症候群
- b 鎖骨頭蓋異骨症
- c 大理石骨病
- d Crouzon 症候群



35 33歳の女性。オトガイ部の突出感を主訴として来院した。術前矯正治療後の所見ではオーバージェット -15 mm、オーバーバイト -2 mmで、顎関節症状は認めなかった。手術前の口腔内写真(別冊No. 4A)とエックス線写真(別冊No. 4B)とを別に示す。セファロ分析の結果の一部を表に示す。

SNA 角	: 76.0(標準値 80.8)
SNB 角	: 83.0(標準値 77.9)
ANB 角	: -7.0(標準値 2.9)
FH 平面に対する上顎中切歯歯軸傾斜角	: 109.0(標準値 112.3)
下顎下縁平面に対する下顎中切歯歯軸傾斜角	: 90.5(標準値 93.4)

適切な処置はどれか。2つ選べ。

- a 下顎枝矢状分割術
- b Le Fort I 型骨切り術
- c Le Fort II 型骨切り術
- d Wunderer 法
- e Kōle 法



36 2歳の女兒。下顎部の異常を主訴として来院した。昨日、オトガイ部を強打したという。初診時の顔貌写真(別冊No. 5A)とエックス線写真(別冊No. 5B)とを別に示す。

適切な処置はどれか。

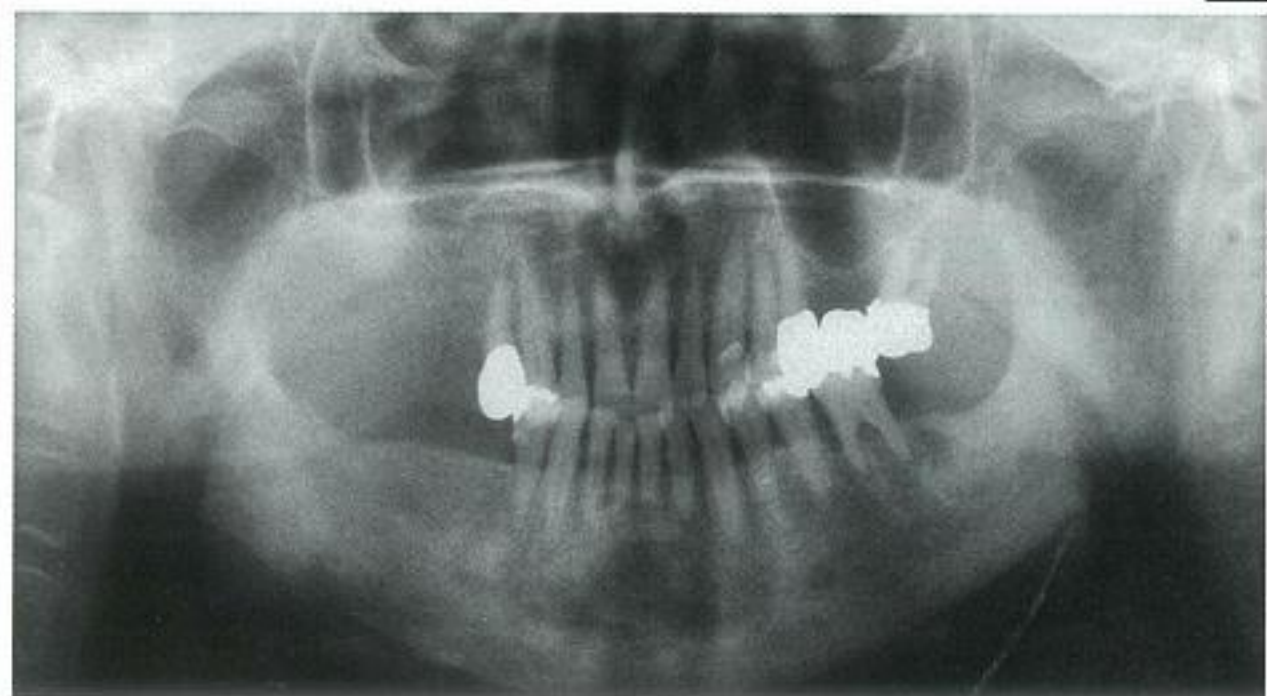
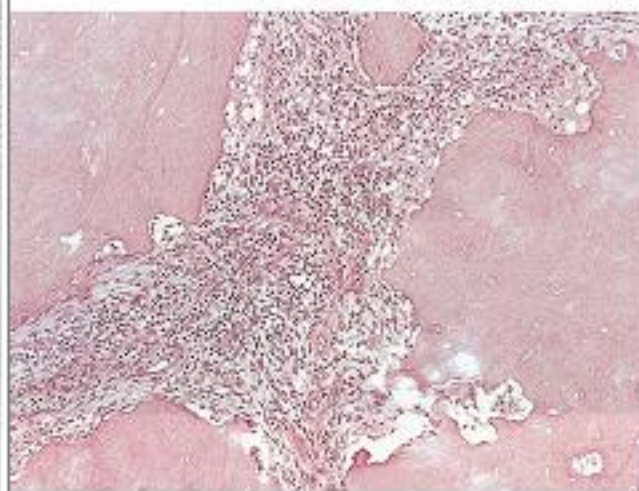
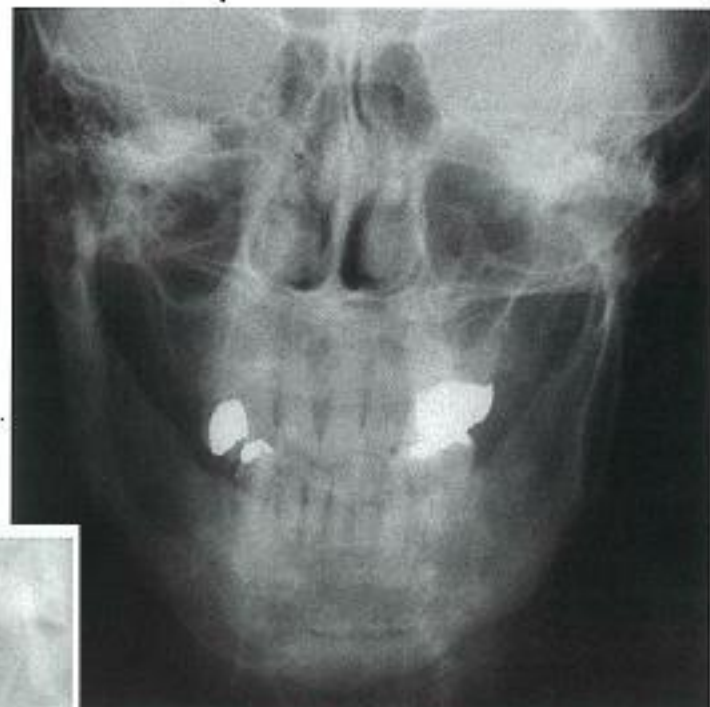
- a 歯牙結紮による固定
- b 金属プレートによる固定
- c 線副子による顎間固定
- d オトガイ帽による固定
- e 囲繞結紮による固定



37 67歳の女性。下顎部の疼痛を主訴として来院した。5年前から疼痛、腫脹および開口障害を繰り返しているという。初診時のエックス線写真(別冊No. 6A、B)と生検時の病理組織像(別冊No. 6C)とを別に示す。

適切でない処置はどれか。

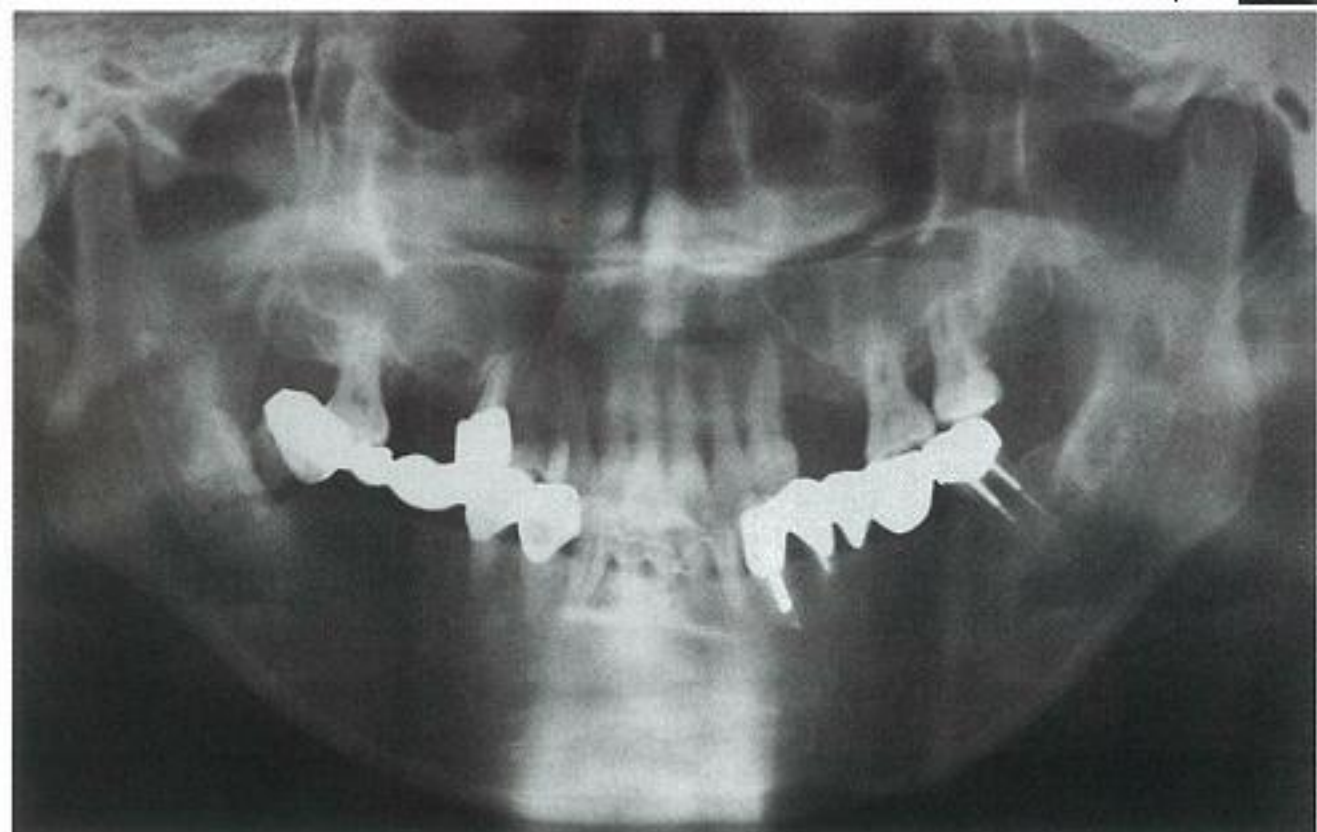
- a 骨穿孔術
- b 皮質骨切除術
- c 骨搔爬術
- d 下顎骨区域切除術
- e 高圧酸素療法



38 44歳の女性。上顎右側大臼歯部の違和感を主訴として来院した。2週前に6]を抜歯したという。初診時のエックス線写真(別冊No. 7A、B、C)を別に示す。

疑われるのはどれか。

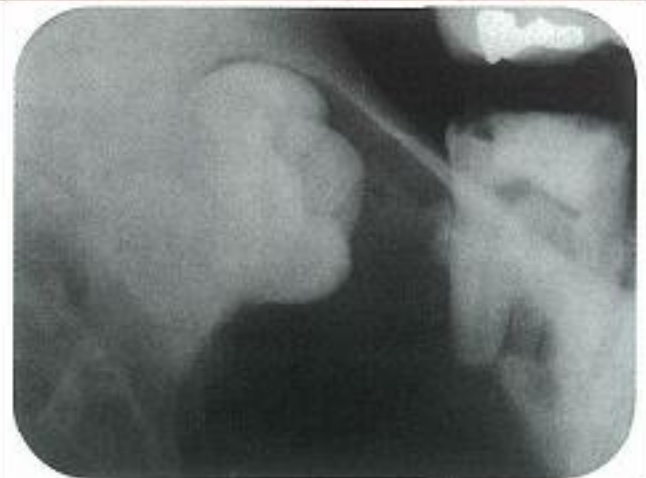
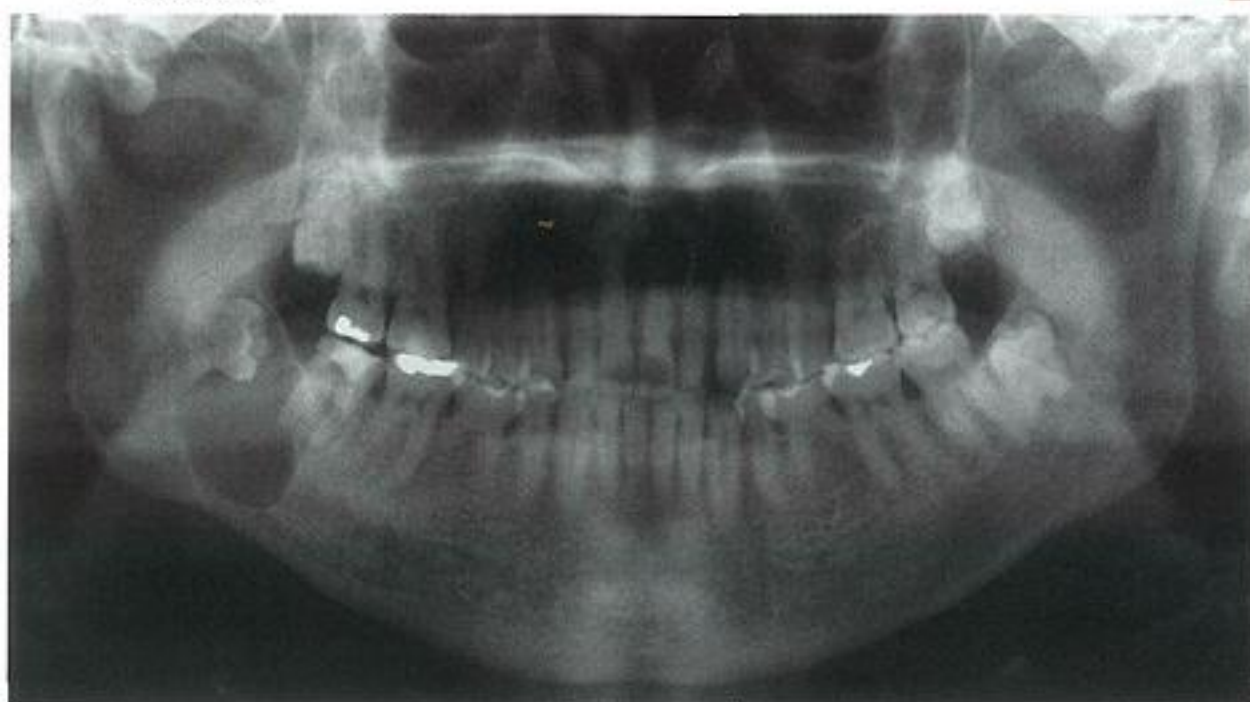
- a 歯性上顎洞炎
- b 残留嚢胞
- c 原始性嚢胞
- d 粘液貯留嚢胞
- e エナメル上皮腫



39 54歳の男性。下顎右側臼歯部の歯肉腫脹を主訴として来院した。10か月前に腫脹に気付いたが、痛みがないので放置していたという。波動を触知するが、圧痛はない。初診時のエックス線写真(別冊No. 8A、B)と摘出物の病理組織像(別冊No. 8C)とを別に示す。

診断名はどれか。

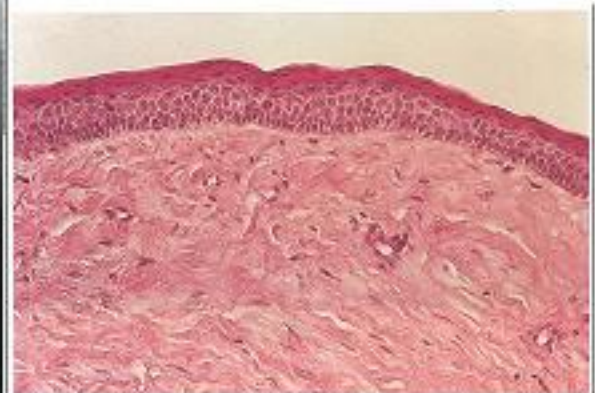
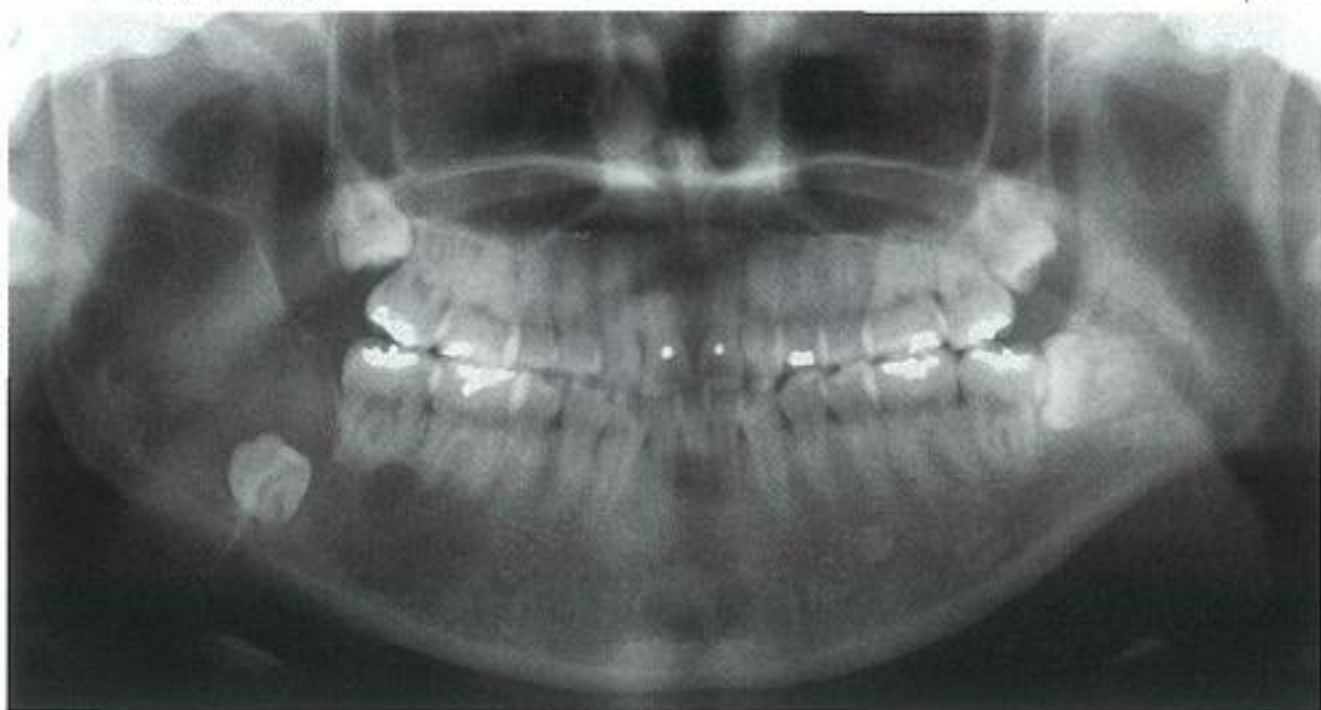
- a 腺様歯源性腫瘍
- b エナメル上皮腫
- c 歯源性粘液腫
- d 含歯性嚢胞
- e 歯根嚢胞



40 23歳の女性。右側頬部の腫脹を主訴として来院した。1年前に気付いたが、疼痛がないため放置していたという。臼歯部歯肉に波動を認めるが、圧痛はない。初診時のエックス線写真(別冊No. 9A、B、C)と生検時の病理組織像(別冊No. 9D)とを別に示す。

診断名はどれか。

- a 扁平上皮癌
- b エナメル上皮腫
- c 歯原性角化嚢胞
- d 歯原性粘液腫
- e 単純性骨嚢胞



41 26歳の男性。右側頬部の有痛性腫脹を主訴として来院した。3年前から、下顎右側臼歯部歯肉の腫脹を繰り返し、その都度、投薬を受けていたが、2週間前から疼痛と開口障害とが強くなったという。初診時のエックス線写真(別冊No. 10A、B、C)を別に示す。

疑われるのはどれか。

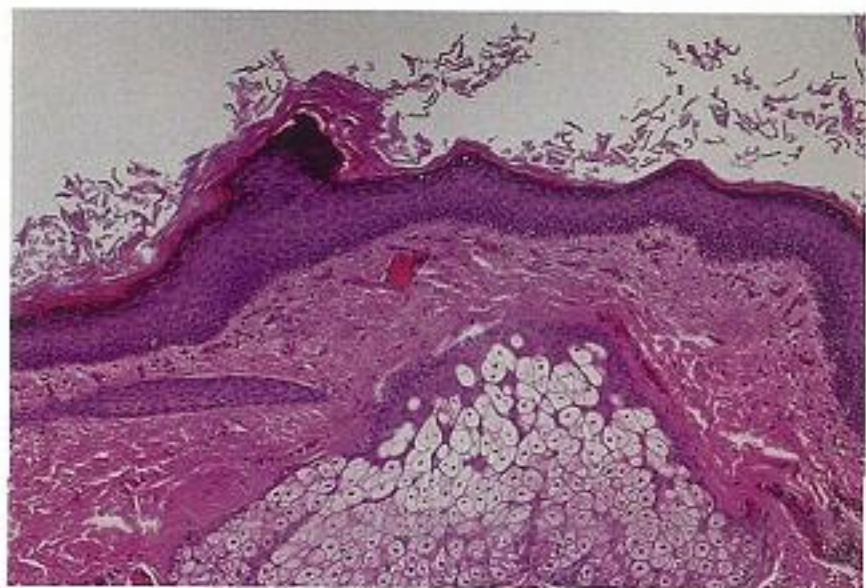
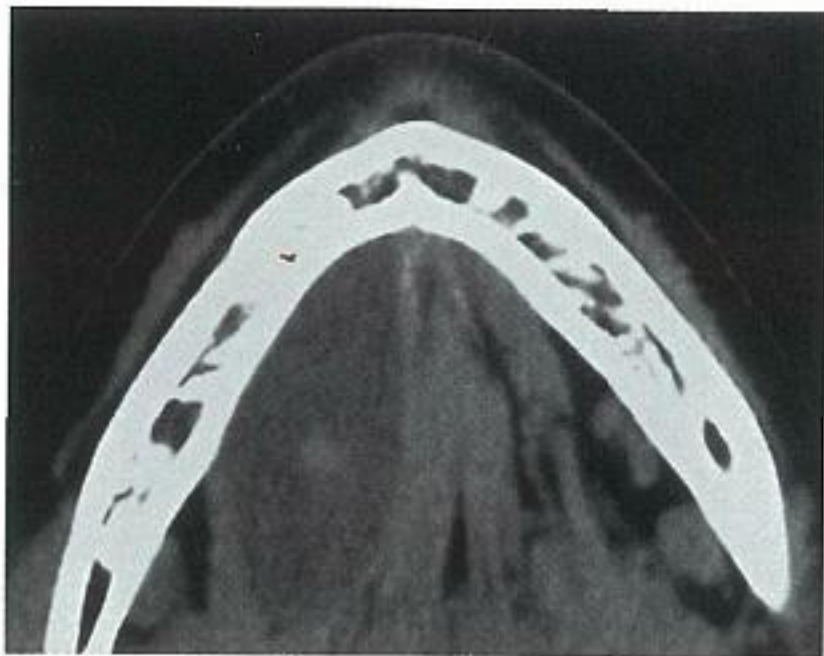
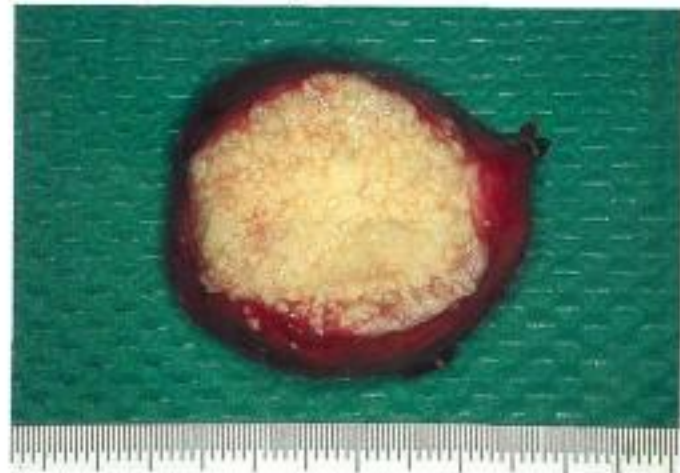
- a 骨肉腫
- b 歯肉癌
- c 骨髓炎
- d 歯原性線維腫
- e 線維性骨異形成症



42 13歳の男子。舌下部の腫脹を主訴として来院した。1年前に気付いたが最近腫脹が増大してきたという。初診時のCT写真(別冊No. 11A)、摘出物の断面写真(別冊No. 11B)および病理組織像(別冊No. 11C)を別に示す。

診断名はどれか。

- a 甲状舌管嚢胞
- b ガマ腫
- c 鰓嚢胞
- d 類皮嚢胞
- e 類表皮嚢胞

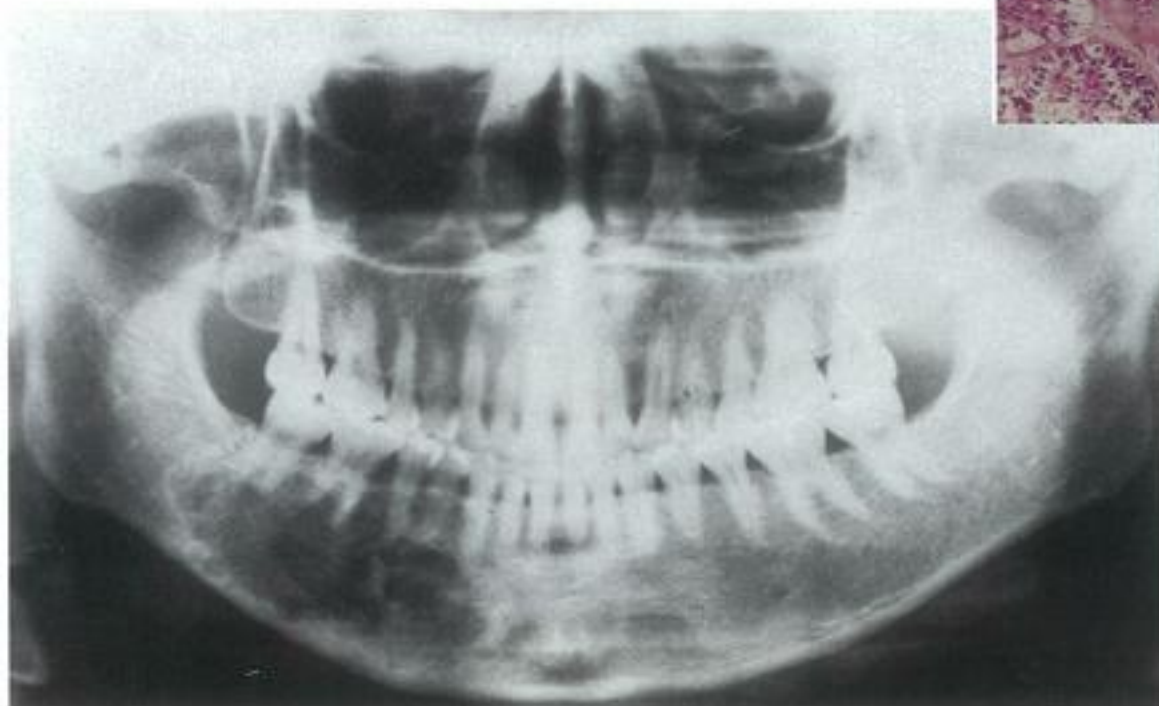
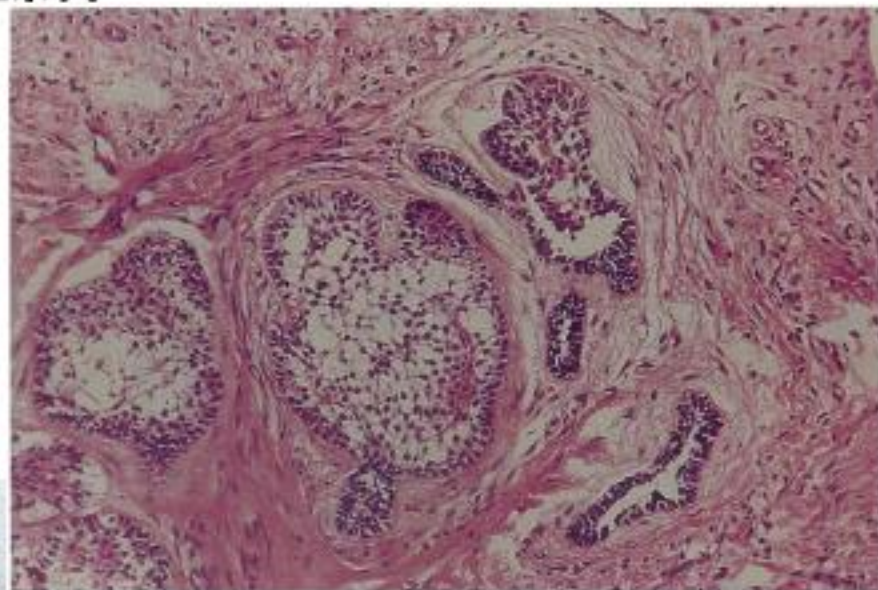


98D43

43 40歳の女性。右側頬部の腫脹を主訴として来院した。疼痛がないため放置していたところ、1週間前から急に増大してきたという。初診時のエックス線写真(別冊No. 12A)と生検時の病理組織像(別冊No. 12B)とを別に示す。

適切な治療法はどれか。2つ選べ。

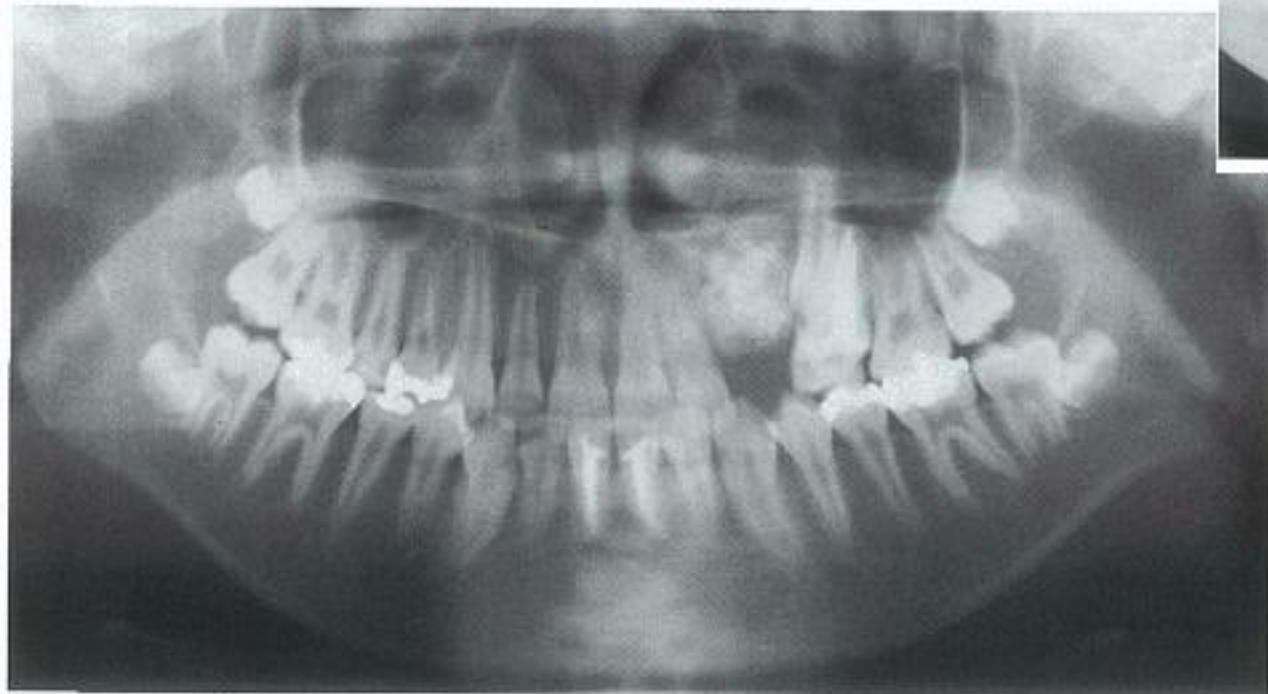
- a 組織内照射
- b 開窓
- c 高圧酸素療法
- d 動脈内注入化学療法
- e 摘出



44 12歳の女児。上顎左側犬歯の萌出遅延を主訴として来院した。犬歯部歯肉は膨隆し、骨様硬で圧痛はない。初診時のエックス線写真(別冊No. 13A、B)を別に示す。

疑われるのはどれか。

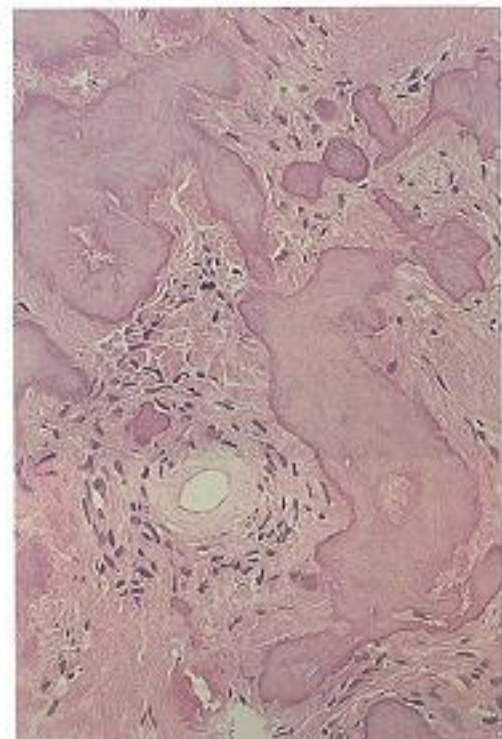
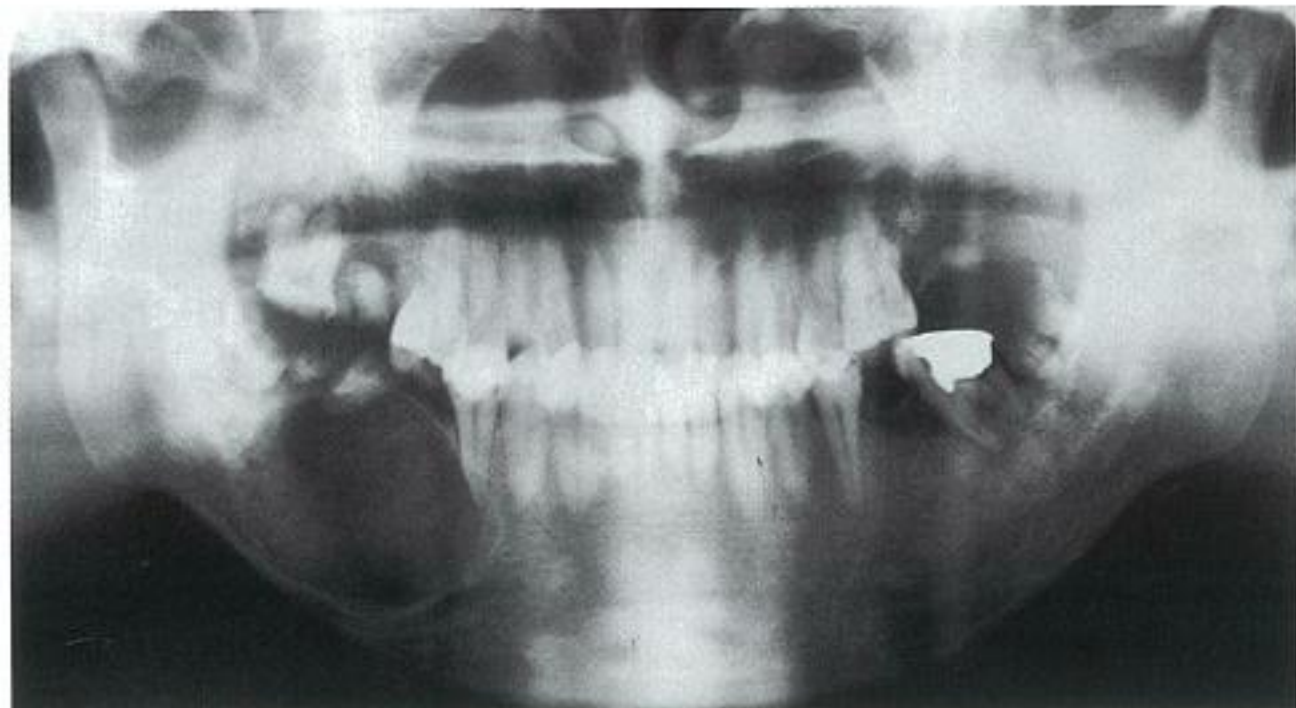
- a 骨肉腫
- b 骨腫
- c 歯牙腫
- d 良性セメント芽細胞腫
- e 線維性骨異形成症



45 35歳の男性。下顎右側臼歯部の腫脹を主訴として来院した。1年前に気付いたが、疼痛がないため放置していたという。初診時のエックス線写真(別冊No. 14 A、B)と生検時の病理組織像(別冊No. 14C)とを別に示す。

診断名はどれか。

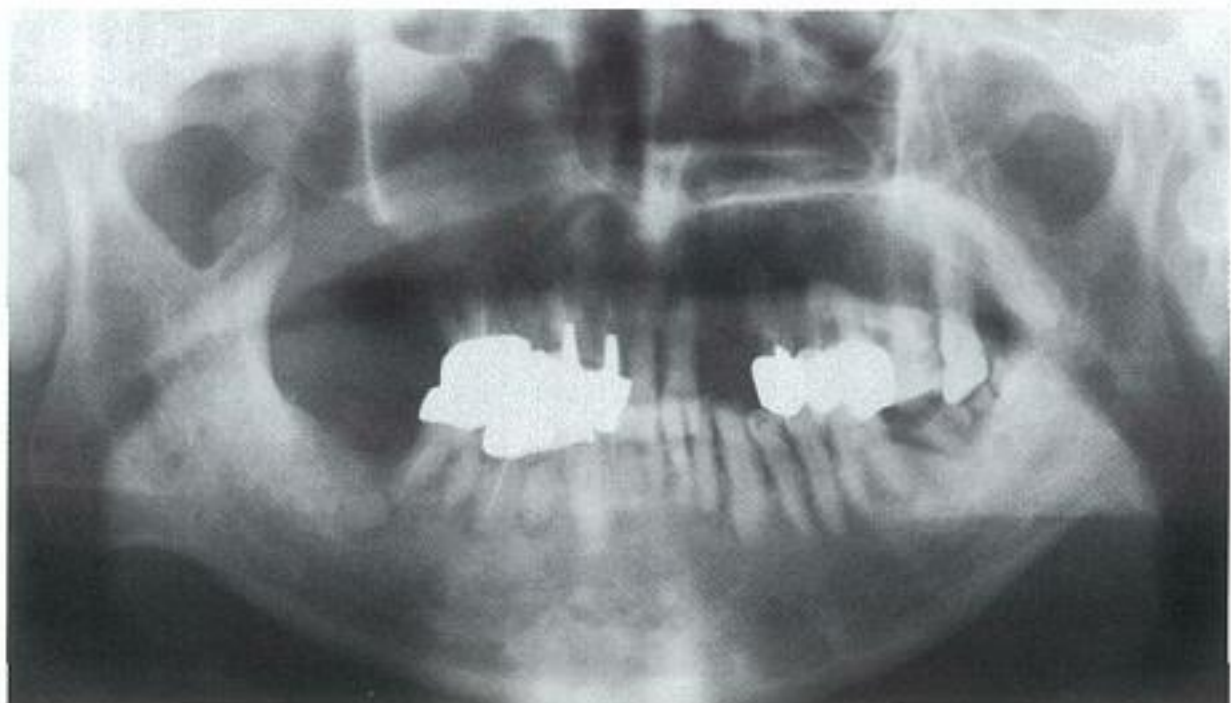
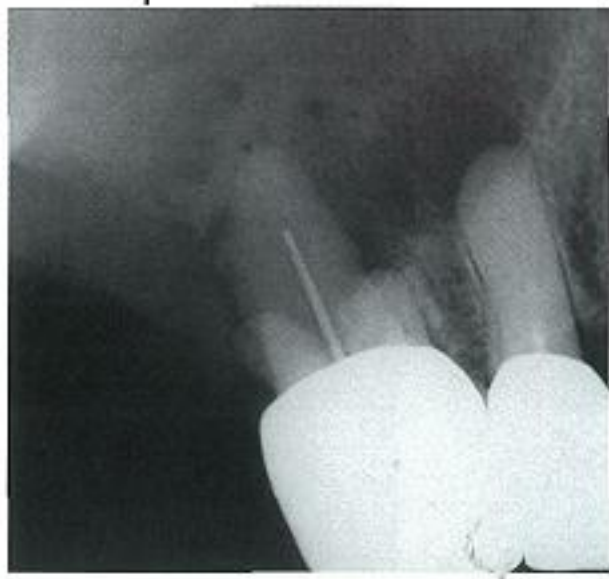
- a 良性セメント芽細胞腫
- b 腺様歯原性腫瘍
- c セメント質骨形成線維腫
- d 歯原性石灰化上皮腫
- e 根尖性セメント質異形成症



46 63歳の男性。右側頬部の腫脹を主訴として来院した。6か月前に気付いたが、2か月前から鈍痛を伴うようになったという。初診時のエックス線写真(別冊No. 15A、B、C)を別に示す。

疑われるのはどれか。

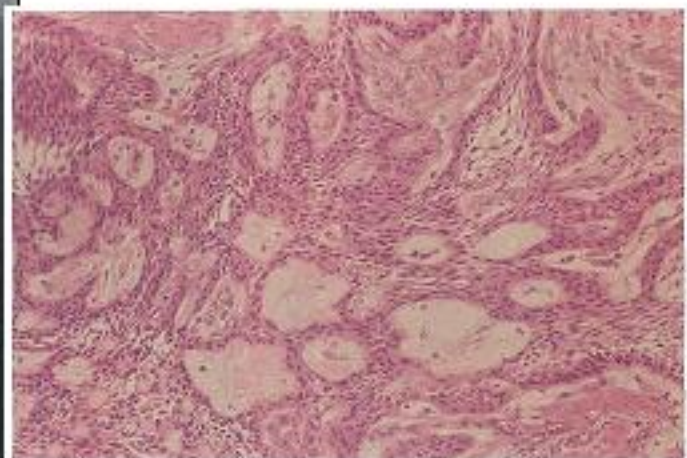
- a 線維性骨異形成症
- b 歯性上顎洞炎
- c 上顎癌
- d 歯原性角化嚢胞
- e 歯根嚢胞



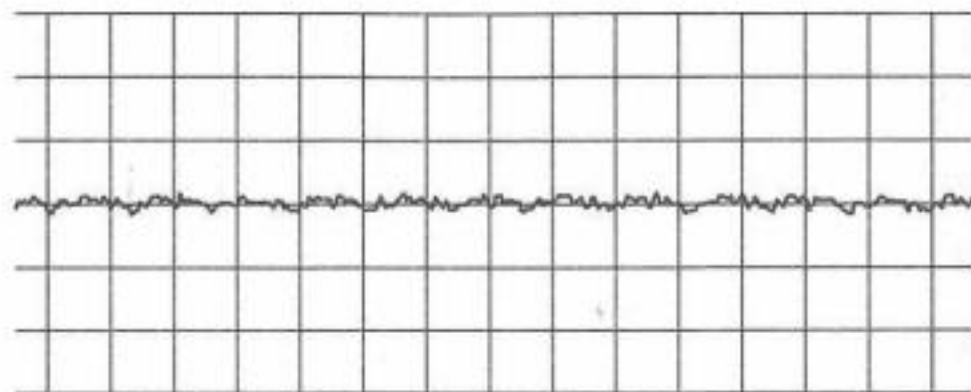
47 31歳の男性。下顎右側臼歯部の歯肉腫脹を主訴として来院した。1年前に腫脹に気付いたが、痛みがないので放置していたという。初診時のエックス線写真(別冊No. 16A、B、C)と摘出物の病理組織像(別冊No. 16D)とを別に示す。

診断名はどれか。

- a 骨肉腫
- b 歯源性線維腫
- c 歯源性粘液腫
- d エナメル上皮腫
- e 歯源性角化嚢胞



48 25歳の男性。下顎左側第三大臼歯の抜去のため下顎孔伝達麻酔を行った。2分後に呼吸困難を訴え、口唇の浮腫、胸部皮膚の発赤および膨疹が認められた。5分後に意識が消失して脈が触知不能となった。この時の心電図波形を図に示す。



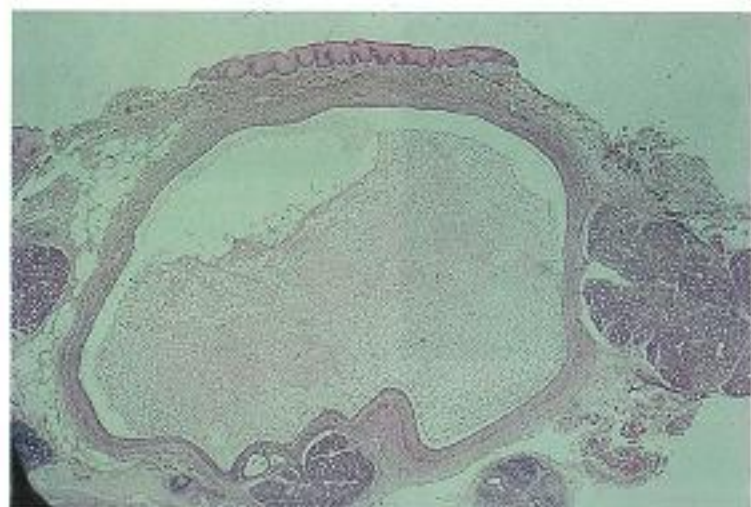
まず行うべき処置はどれか。

- a 輸液
- b 除細動
- c 昏睡体位
- d 気管内挿管
- e 塩化カリウムの投与

49 6歳の女兒。舌の異常を主訴として来院した。1週間から腫脹が増大してきたという。初診時の口腔内写真(別冊No. 17A、B)と摘出物の病理組織像(別冊No. 17C)とを別に示す。

関与するのはどれか。

- a 舌動脈
- b 舌深静脈
- c 舌下神経
- d 舌下腺
- e 前舌腺

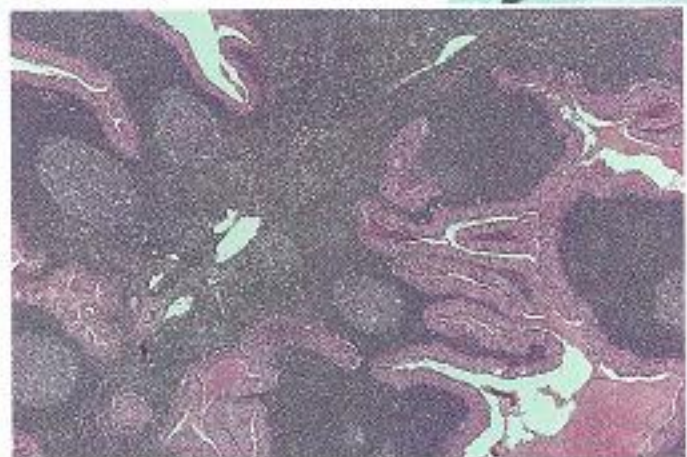
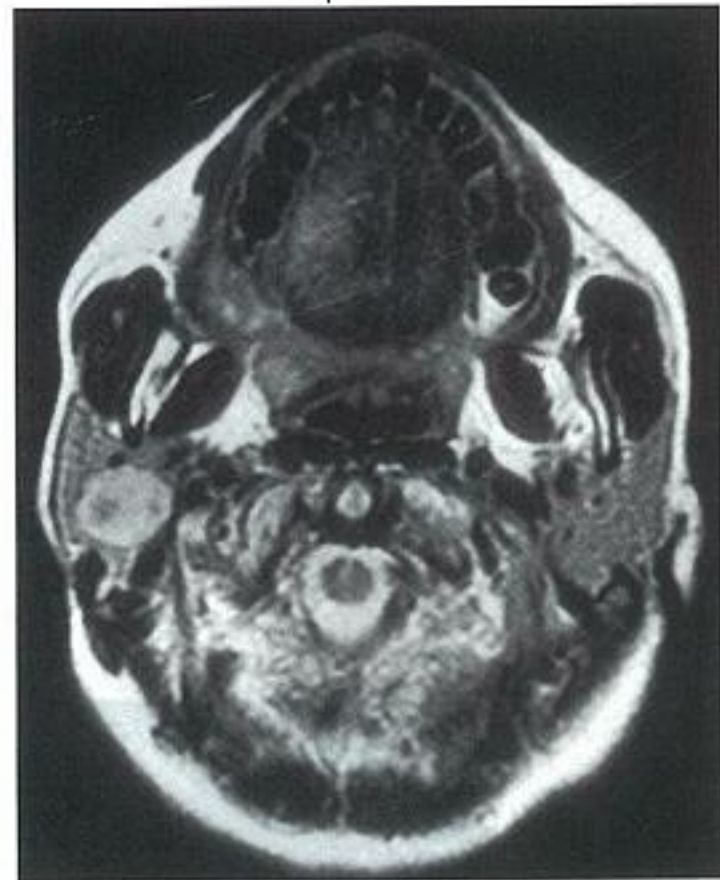


98D50

56歳の男性。右側頬部の腫脹を主訴として来院した。初診時の顔貌写真(別冊No. 18A)、MRI写真(別冊No. 18B)および摘出物の病理組織像(別冊No. 18C)を別に示す。

50 診断名はどれか。

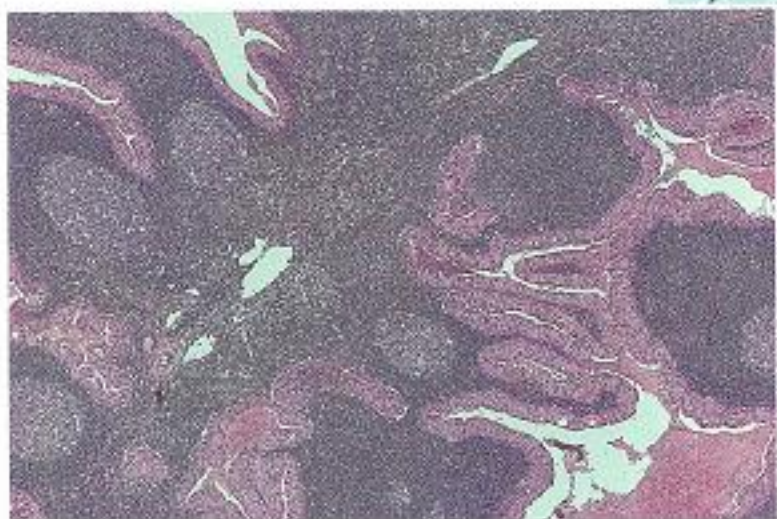
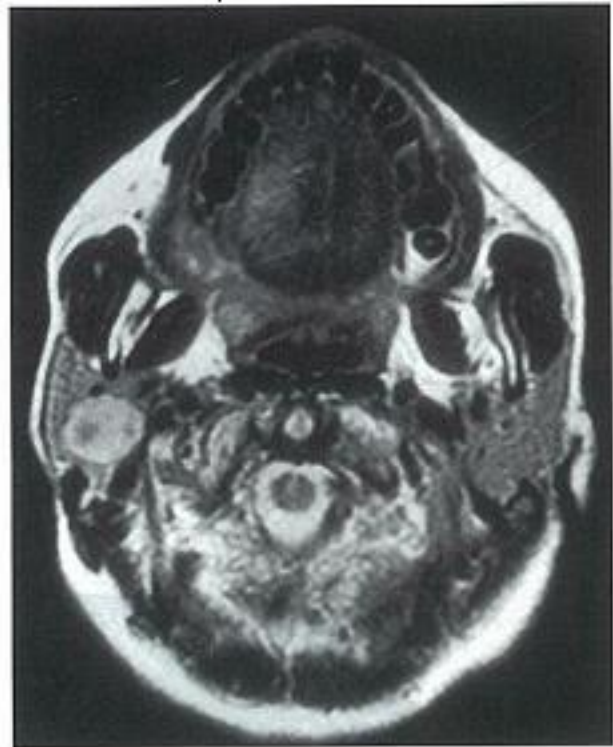
- a Küttner 腫瘍
- b 軟部好酸球肉芽腫
- c 筋上皮腫
- d 多形性腺腫
- e Warthin 腫瘍



56歳の男性。右側頬部の腫脹を主訴として来院した。初診時の顔貌写真(別冊No. 18A)、MRI写真(別冊No. 18B)および摘出物の病理組織像(別冊No. 18C)を別に示す。

51 術後に起こりうるのはどれか。

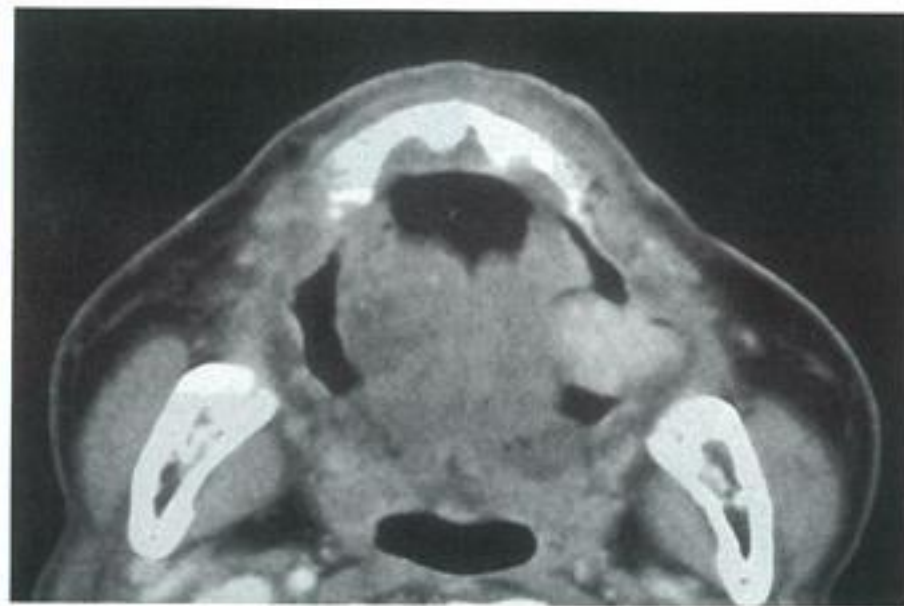
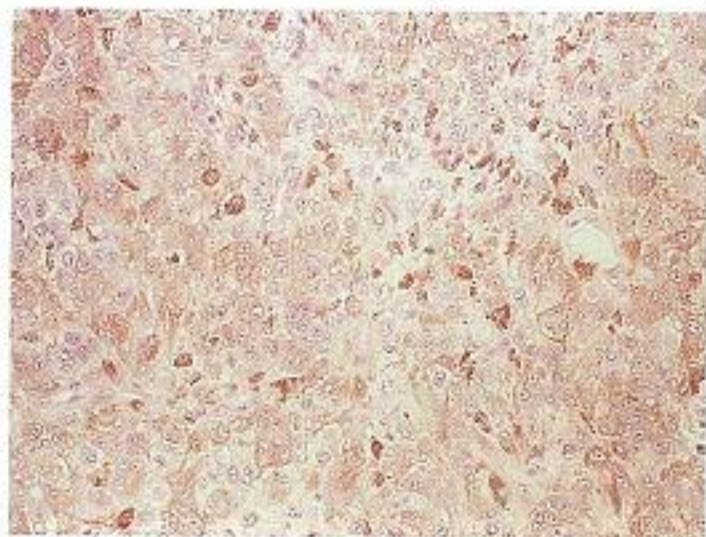
- a Sjögren 症候群
- b Frey 症候群
- c Heerfordt 症候群
- d Mikulicz 症候群
- e Melkersson-Rosenthal 症候群



52 69歳の男性。上顎左側臼歯部の腫瘍を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊No. 19A)、造影CT写真(別冊No. 19B)および生検時の病理組織像(別冊No. 19C)を別に示す。

適切でない処置はどれか。

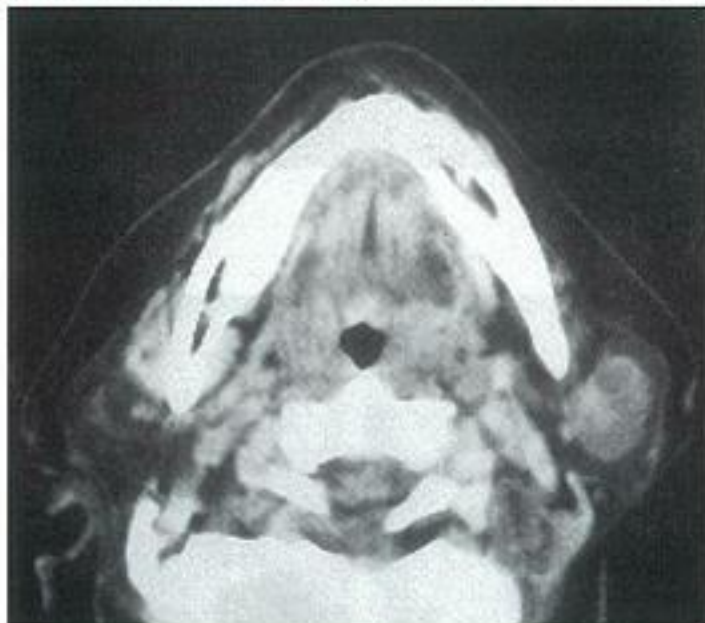
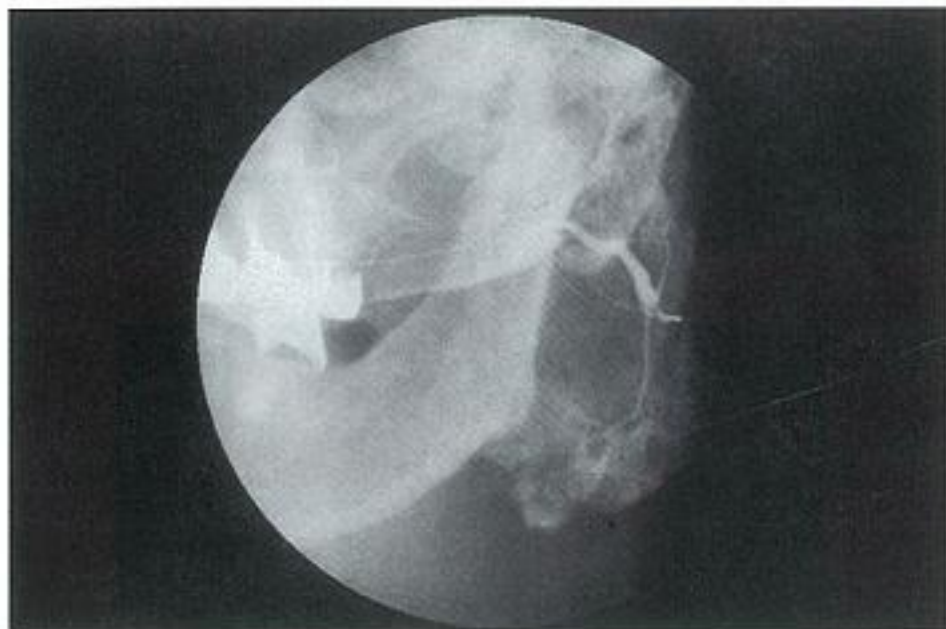
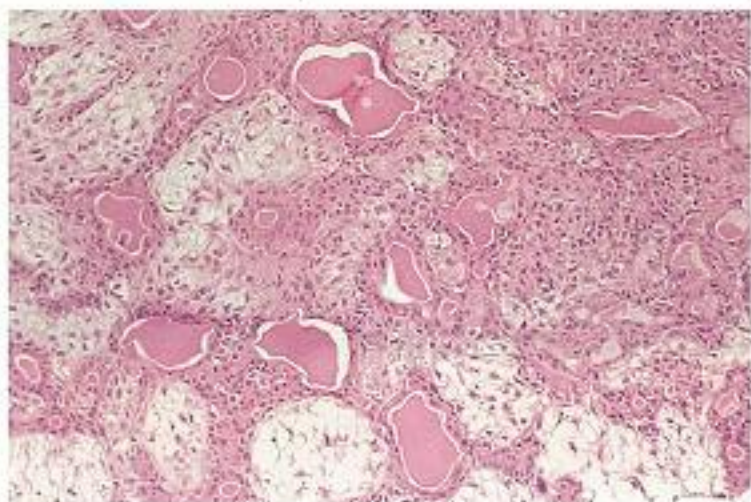
- a 化学療法
- b 免疫療法
- c 放射線療法
- d 摘出術
- e 上顎骨切除術



53 50歳の女性。左側頬部の無痛性腫脹を主訴として来院した。2年前に気付いたが、痛みがないため放置していたという。同部には弾性硬で、可動性の腫瘍が認められる。唾液腺造影エックス線写真(別冊No. 20A)、造影CT写真(別冊No. 20B)および摘出物の病理組織像(別冊No. 20C)を別に示す。

診断名はどれか。

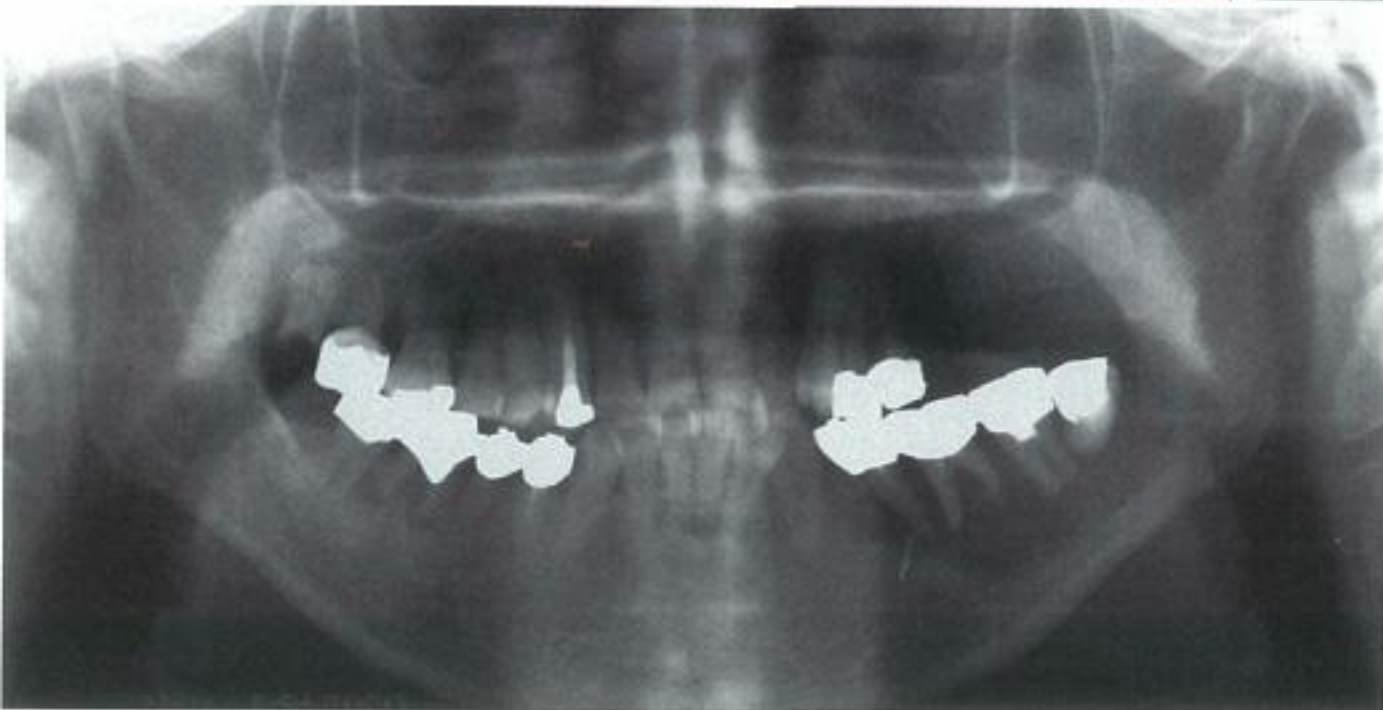
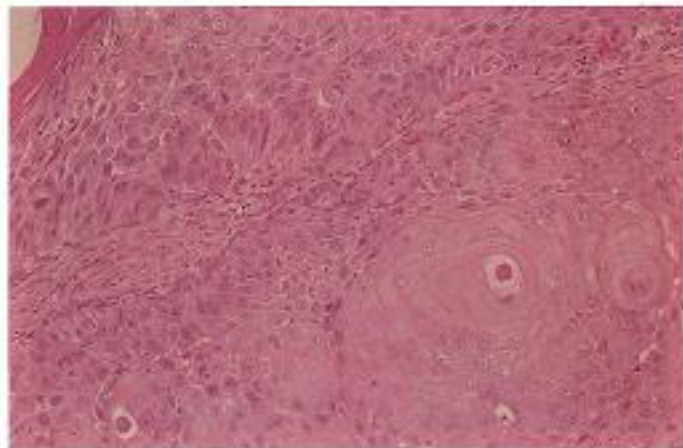
- a 筋上皮腫
- b 多形性腺腫
- c 腺房細胞癌
- d 粘表皮癌
- e 腺様嚢胞癌



54 47歳の女性。下顎左側臼歯部の腫脹と歯の動揺とを主訴として来院した。半年前に気付いたが、最近腫脹が増大してきたという。同部歯肉には易出血性の潰瘍が認められる。初診時のエックス線写真(別冊No. 21A、B)と生検時の病理組織像(別冊No. 21C)とを別に示す。

診断名はどれか。

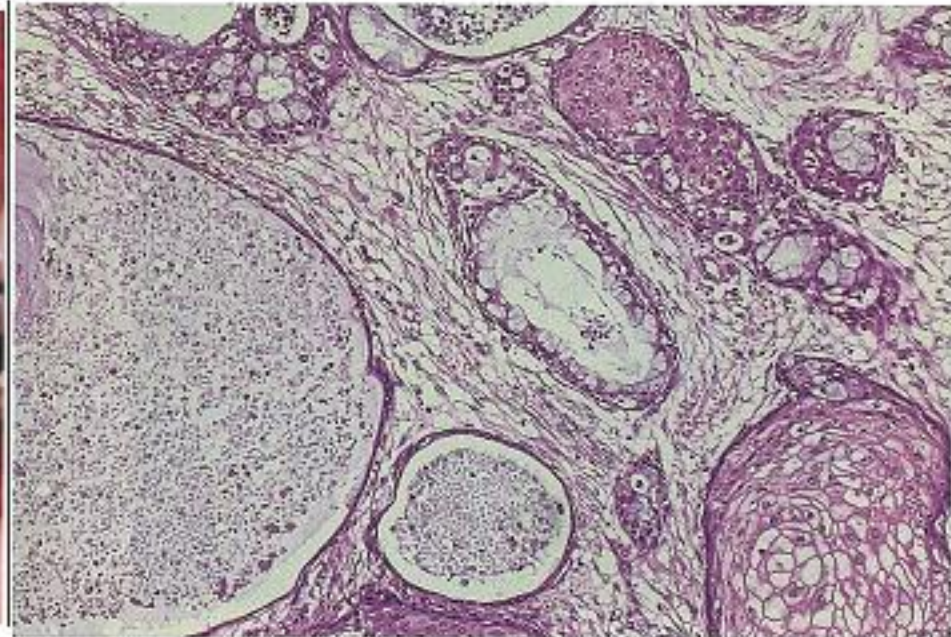
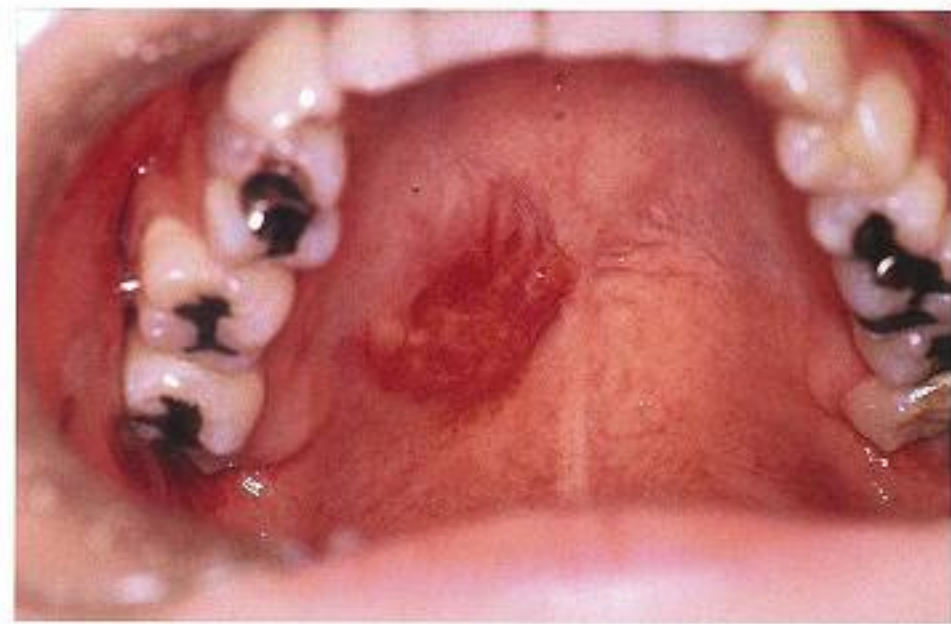
- a エナメル上皮腫
- b 扁平上皮癌
- c 骨肉腫
- d 粘表皮癌
- e 好酸球肉芽腫



55 22歳の女性。口蓋部の腫瘍を主訴として来院した。2か月前に気付いたが放置していたところ、最近増大してきたという。初診時の口腔内写真(別冊No. 22A)と生検時の病理組織像(別冊No. 22B)とを別に示す。

診断名はどれか。

- a 粘液腫
- b 血管腫
- c 粘表皮癌
- d 多形性腺腫
- e 腺様嚢胞癌



56 34歳の女性。右側頬部皮膚の異常を主訴として来院した。初診時の顔貌写真(別冊No. 23A)とエックス線写真(別冊No. 23B)とを別に示す。

適切な治療法はどれか。

- a 感染根管治療
- b 放射線治療
- c 赤外線治療
- d 抜 歯
- e 瘻孔切除

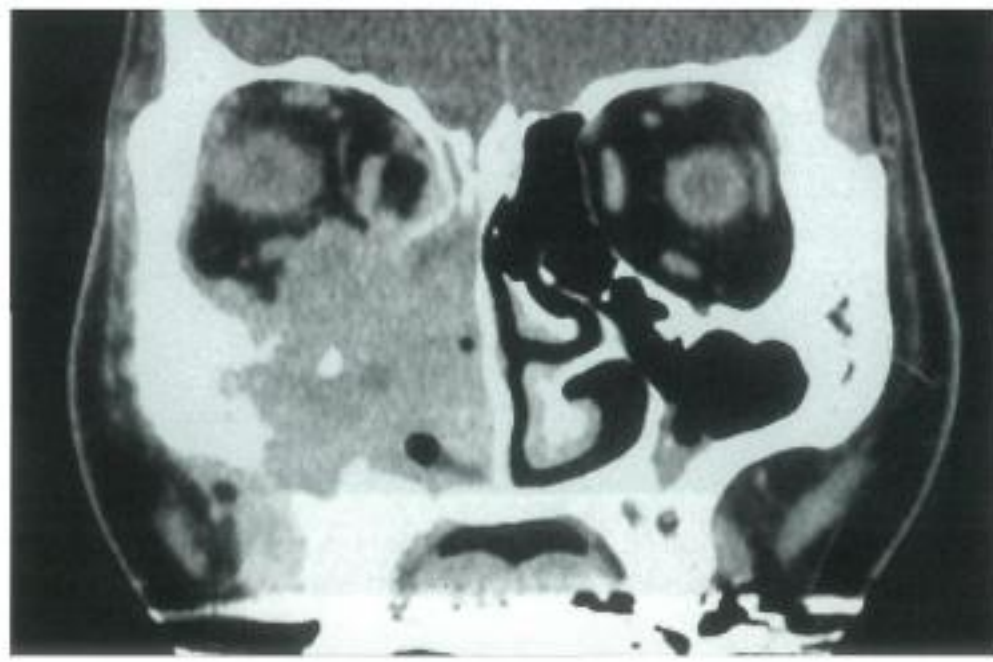
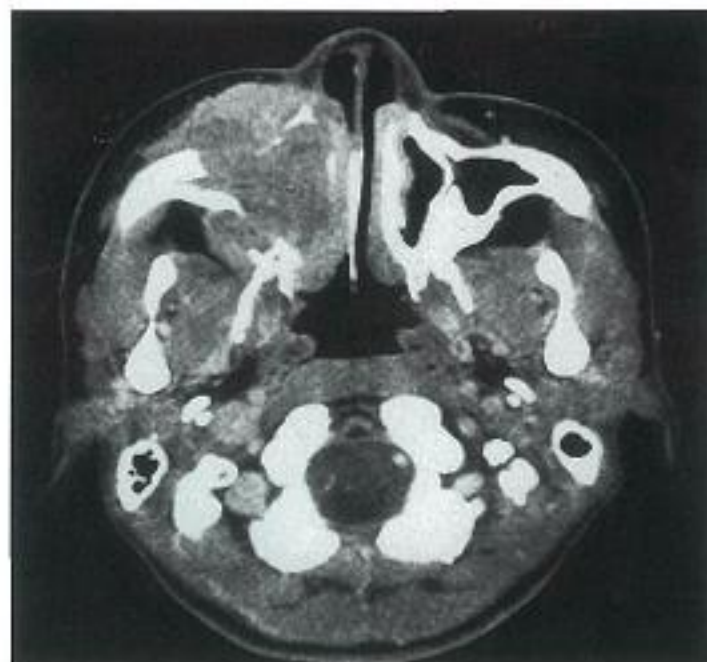
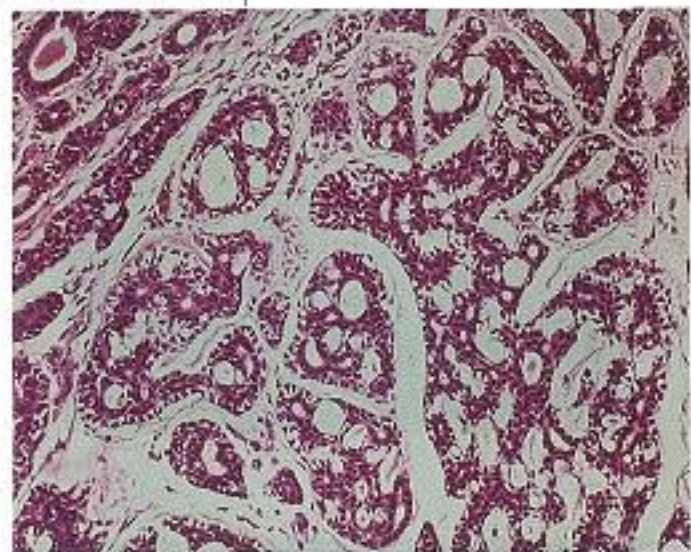


57 35歳の女性。右側眼窩下部の腫脹を主訴として来院した。3か月前に気付いたが放置していたところ、最近増大してきたという。初診時のCT写真(別冊No. 24

A、B)と生検時の病理組織像(別冊No. 24C)とを別に示す。

診断名はどれか。

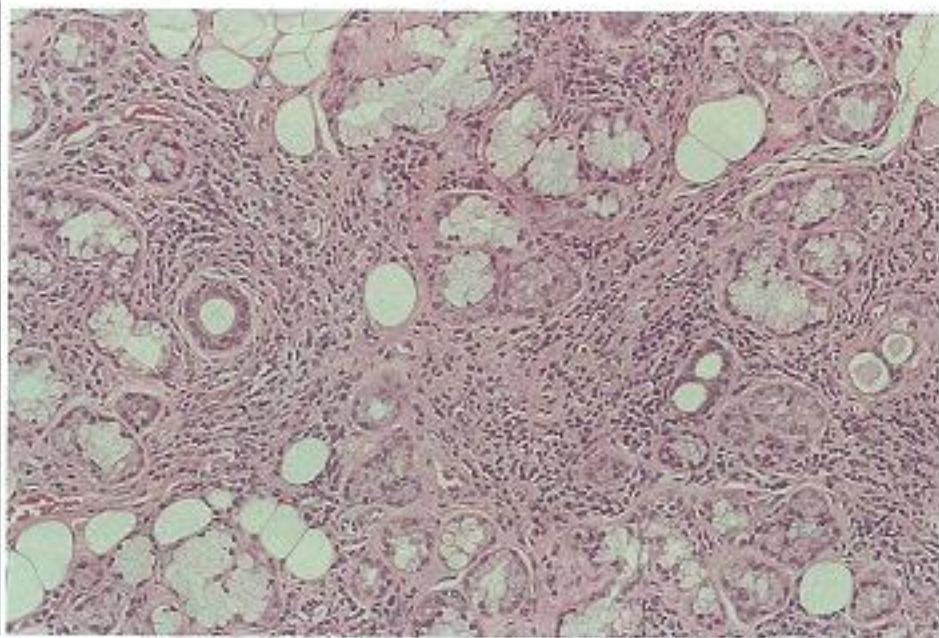
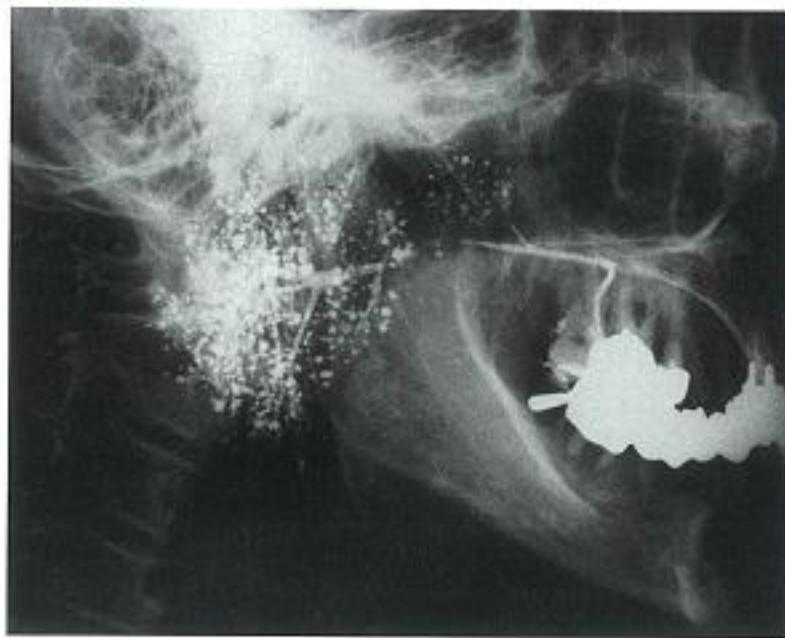
- a 多形性腺腫内癌
- b 扁平上皮癌
- c 悪性リンパ腫
- d 腺様嚢胞癌
- e 粘表皮癌



58 51歳の女性。両側耳下部の腫脹を主訴として来院した。4か月前に眼科で乾性角結膜炎と診断されたという。初診時の唾液腺造影写真(別冊No. 25A)と口唇腺生検時の病理組織像(別冊No. 25B)とを別に示す。

診断名はどれか。

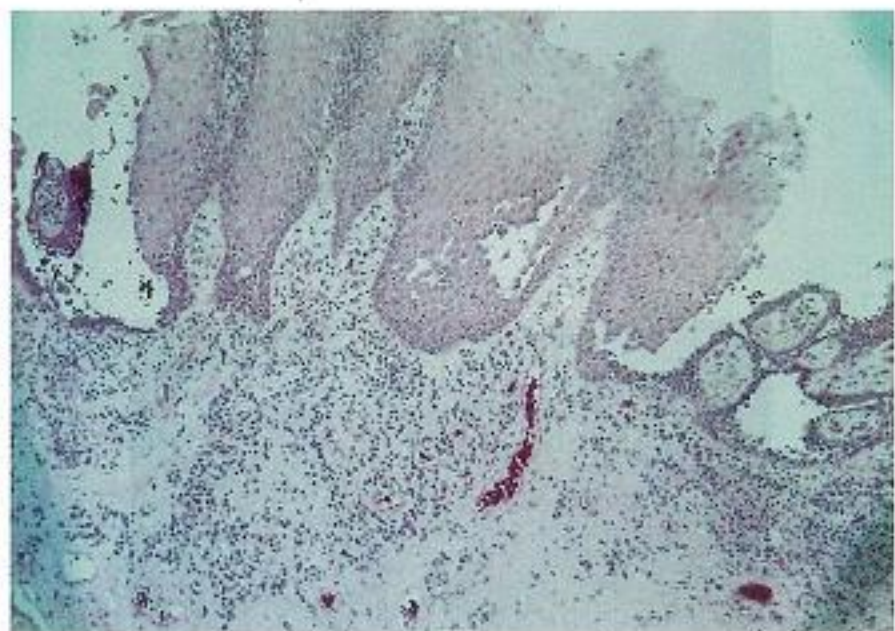
- a OFD 症候群
- b Peutz-Jeghers 症候群
- c Sjögren 症候群
- d Plummer-Vinson 症候群
- e Behçet 病



59 66歳の女性。頬粘膜の疼痛を主訴として来院した。1か月前から強い接触痛があり、容易に潰瘍を形成し、皮膚にも水疱形成が認められるようになったという。初診時の口腔内写真(別冊No. 26A)と生検時の病理組織像(別冊No. 26B)とを別に示す。

診断名はどれか。

- a 疱疹性歯肉口内炎
- b 紅斑性狼瘡
- c 多形滲出性紅斑
- d 類天疱瘡
- e 尋常性天疱瘡



60 67歳の女性。口角と舌との疼痛を主訴として来院した。3日前に気付いたという。初診時の顔貌写真(別冊No. 27A)と口腔内写真(別冊No. 27B、C)とを別に示す。

考えられる原因はどれか。

- a 水痘・带状疱疹ウイルス
- b 単純ヘルペスウイルス
- c コクサッキーウイルス
- d ムンプスウイルス
- e EBウイルス



61 に入る語句の組合せで正しいのはどれか。

学習援助型健康教育は指導型健康教育よりも ① に重点を置いており、学習者の態度は ② である。

①

②

- | | | |
|---|------|-----|
| a | 行動変容 | 積極的 |
| b | 行動変容 | 消極的 |
| c | 知識習得 | 積極的 |
| d | 知識習得 | 消極的 |
| e | 技能習得 | 積極的 |

62 研磨材と液体成分との分離を防止する目的で歯磨剤に配合するのはどれか。

- a 塩酸クロルヘキシジン
- b ピロリン酸カルシウム
- c プロピレングリコール
- d アルギン酸ナトリウム
- e ラウリル硫酸ナトリウム

63 宿主要因に対する齲蝕予防法はどれか。

- a フロッシング
- b 代用甘味料の使用
- c 間食回数の制限
- d PMTC
- e フッ化物洗口

64 ミュータンスレンサ球菌の酵素で不溶性多糖体を合成するのはどれか。

- a ウレアーゼ
- b プロテアーゼ
- c デキストラナーゼ
- d フルクトシルトランスフェラーゼ
- e グルコシルトランスフェラーゼ

65 ショ糖と同等の甘味度を有するのはどれか。

- a パラチノース
- b ソルビトール
- c キシリトール
- d マンニトール
- e アスパルテーム

66 フッ化物歯面塗布に用いるのはどれか。

a HF

b CaF_2

c SnF_2

d $\text{Ca}_{10}(\text{PO}_4)_6\text{F}_2$

e $\text{Na}_2\text{PO}_3\text{F}$

67 口腔清掃用具の写真(別冊No. 28)を別に示す。

この用具を使うことで改善するのはどれか。

- a 口 臭
- b 地図状舌
- c 扁平苔癬
- d 義歯性口内炎
- e アフタ性口内炎



68 1歳6か月児歯科健康診査でO₁型と判定された女兒に対し、保護者の希望でリン酸酸性2%フッ化ナトリウムゲルを歯面塗布した。

次回の塗布時期として適切なのはどれか。

- a 1週間後
- b 2週間後
- c 1か月後
- d 6か月後
- e 1年後

69 幼稚園の年長児を対象にフッ化物洗口を実施することになり、保護者への説明を依頼された。

説明内容で正しいのはどれか。

- (1) 洗口液は誤って1回量飲み込んでも問題ない。
- (2) 家庭ではフッ化物配合歯磨剤を使用しない。
- (3) 園でのフッ化物洗口頻度は月1回である。
- (4) 萌出直後の永久歯では齲蝕予防効果が低い。
- (5) 洗口後30分間は飲食やうがいを控える。

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

70 健康日本 21 の「歯の健康」に関するリスク低減目標項目はどれか。

- (1) 定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている者の割合
- (2) 3 歳まで子どもの仕上げ磨きをする保護者の割合
- (3) 学齢期における予防填塞を受けている者の割合
- (4) 学齢期におけるフッ化物配合歯磨剤使用者の割合
- (5) 40、50 歳における歯間部清掃用器具を使用している者の割合

a (1)、(2)、(3)

b (1)、(2)、(5)

c (1)、(4)、(5)

d (2)、(3)、(4)

e (3)、(4)、(5)

71 1歳6か月児健康診査結果の一部を図に示す。

歯 の 状 態		/		C	C	C	C		/		むし歯の罹患型：O ₁ O ₂ (A) B C
	E	D	C	B	A	A	B	C	D	E	要治療のむし歯：なし・ <u>あり</u> (4 本)
	E	D	C	B	A	A	B	C	D	E	歯の汚れ：きれい・ <u>ふつう</u> ・きたない
		/	/	/	/	/	/		/		歯肉・粘膜： <u>異常なし</u> ・あり()
		/	/	/	/	/	/		/		不正咬合： <u>なし</u> ・要注意()
		/	/	/	/	/	/		/		(2004 年 6 月 4 日診査)

問診で特に留意すべき項目はどれか。2つ選べ。

- a 主な養育者
- b 哺乳ピンの使用
- c よく飲むもの
- d 間食時刻
- e 歯の清掃

72 7歳の男児。学校健康診断時の口腔内写真(別冊No. 29)を別に示す。
健康診断票の上顎左側乳中切歯の欄に記入する記号はどれか。

- a C
- b CO
- c O
- d Δ
- e $\times$



73 学校健康診断票の一部を図に示す。昨年と今年の健診結果を比較したところ矛盾

点のある児童の健康診断票が認められた。

その健康診断票はどれか。

C

10 歳	平成 15 年度	8	7	6	5	4	3	2	1	0	1	2	3	4	5	6	7	8
		上			R	D	C	B	A	A	B	C	D	E	左			上
		下			R	D	C	B	A	A	B	C	D	E	左			下
11 歳	平成 16 年度	8	7	6	5	4	3	2	1	0	1	2	3	4	5	6	7	8
		上			R	D	C	B	A	A	B	C	D	E	左			上
		下			R	D	C	B	A	A	B	C	D	E	左			下

a

10 歳	平成 15 年度	8	7	6	5	4	3	2	1	0	1	2	3	4	5	6	7	8
		上			R	D	C	B	A	A	B	C	D	E	左			上
		下			R	D	C	B	A	A	B	C	D	E	左			下
11 歳	平成 16 年度	8	7	6	5	4	3	2	1	0	1	2	3	4	5	6	7	8
		上			R	D	C	B	A	A	B	C	D	E	左			上
		下			R	D	C	B	A	A	B	C	D	E	左			下

d

10 歳	平成 15 年度	8	7	6	5	4	3	2	1	0	1	2	3	4	5	6	7	8
		上			R	D	C	B	A	A	B	C	D	E	左			上
		下			R	D	C	B	A	A	B	C	D	E	左			下
11 歳	平成 16 年度	8	7	6	5	4	3	2	1	0	1	2	3	4	5	6	7	8
		上			R	D	C	B	A	A	B	C	D	E	左			上
		下			R	D	C	B	A	A	B	C	D	E	左			下

b

10 歳	平成 15 年度	8	7	6	5	4	3	2	1	0	1	2	3	4	5	6	7	8
		上			R	D	C	B	A	A	B	C	D	E	左			上
		下			R	D	C	B	A	A	B	C	D	E	左			下
11 歳	平成 16 年度	8	7	6	5	4	3	2	1	0	1	2	3	4	5	6	7	8
		上			R	D	C	B	A	A	B	C	D	E	左			上
		下			R	D	C	B	A	A	B	C	D	E	左			下

e

10 歳	平成 15 年度	8	7	6	5	4	3	2	1	0	1	2	3	4	5	6	7	8
		上			R	D	C	B	A	A	B	C	D	E	左			上
		下			R	D	C	B	A	A	B	C	D	E	左			下
11 歳	平成 16 年度	8	7	6	5	4	3	2	1	0	1	2	3	4	5	6	7	8
		上			R	D	C	B	A	A	B	C	D	E	左			上
		下			R	D	C	B	A	A	B	C	D	E	左			下

74 2歳の男児。10日前に前歯部齲蝕を処置し、経過観察のため保護者とともに来院した。経過観察時の口腔内写真(別冊No. 30)を別に示す。

処置前に保護者に説明したことはどれか。

- a この処置で齲蝕の進行が抑制される。
- b この処置で治療は終了である。
- c 黒変は細菌の産生する色素による。
- d 黒変は1か月もすれば消失する。
- e 後継永久歯にも影響する。



75 28歳の女性。上下顎前歯部歯肉の発赤と腫脹とを主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊No. 31)を別に示す。医療面接の結果の一部を表に示す。

ブラッシング回数：1日2回

補助的清掃器具：使用せず

歯磨剤：フッ化物配合歯磨剤

まず指導すべきことはどれか。

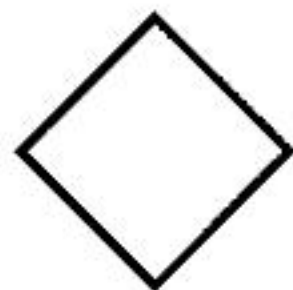
- a 間食の摂り方
- b ブラッシング方法
- c デンタルフロスの使用
- d ブラッシング回数の増加
- e 乳酸アルミニウム配合歯磨剤の使用



76 歯科材料の生体安全性を調べるスクリーニングテストはどれか。

- a 細胞毒性試験
- b 遺伝毒性試験
- c 発癌性試験
- d 抗原性試験
- e 埋植試験

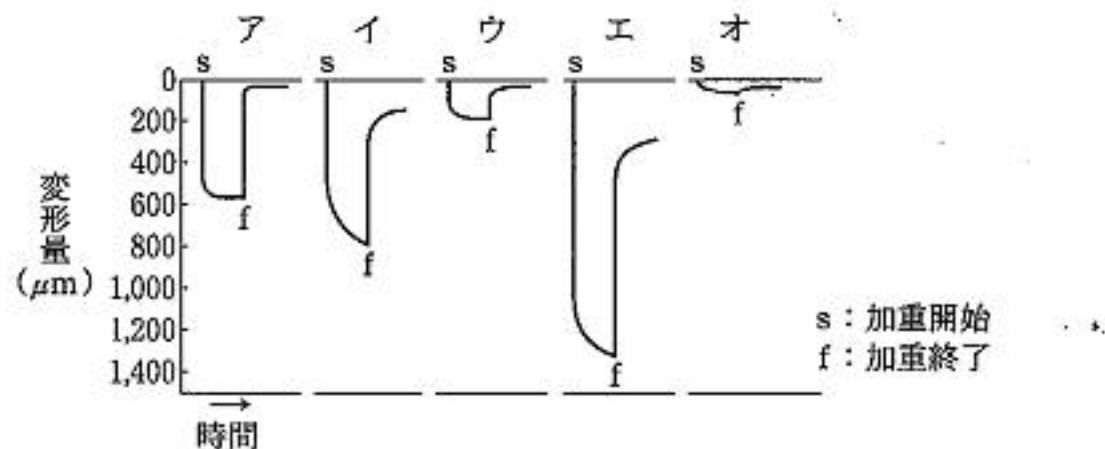
77 硬さ試験で生じた圧痕の形状を図に示す。



用いた圧子で正しいのはどれか。

- a 熱処理硬化性を有する。
- b 熱伝導性が良好である。
- c 結晶構造を有する。
- d 加工硬化性が大きい。
- e 展延性が大きい。

78 硬化した印象材(直径 13 mm、高さ 20 mm の円柱状)に 4.41 N の荷重を 30 秒間加えたのち、荷重を取り除いたときの寸法変化を図に示す。使用した印象材を表に示す。



酸化亜鉛ユージノール印象材
アルジネート印象材
付加型シリコーンゴム印象材
ポリサルファイドゴム印象材
ポリエーテルゴム印象材

アルジネート印象材はどれか。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ

79 鑄造用金銀パラジウム合金で正しいのはどれか。

- a 銀の含有量は 40 % 未満である。
- b 鑄込み温度は 700 °C である。
- c 石英埋没材を使用する。
- d 鑄造収縮は 1.0 % 以下である。
- e 硬化熱処理が可能である。

80 セラミックインレーで正しいのはどれか。

- (1) 金属よりも熱伝導に優れている。
- (2) 金属よりも塑性変形しやすい。
- (3) 接着にはシランカップリング処理を行う。
- (4) 対合歯が摩耗しやすい。
- (5) 口腔内で変色しやすい。

a (1)、(2) b (1)、(5) c (2)、(3) d (3)、(4) e (4)、(5)

81 ある合金の組成を表に示す。

Au : 85 %

Pt : 10 %

Pd : 3 %

Ag : 1 %

Sn : 0.5 %

In : 0.5 %

正しいのはどれか。

- a 熔融温度は 950 °C である。
- b 硬さ (Hv) は 80 である。
- c 熱膨張係数は $14 \times 10^{-6}/^{\circ}\text{C}$ である。
- d 鑄造収縮は 3.0 % である。
- e インレーに用いる。

82 粘膜調整材の成分でないのはどれか。

- a ポリエチルメタクリレート
- b 重合開始剤
- c エチルアルコール
- d 可塑材
- e 顔料

83 義歯の清掃で正しいのはどれか。

- a 熱湯による清掃は金属床を腐食させる。
- b 酵素系義歯清掃剤の長期使用はレジン床にひび割れを起こす。
- c 酵素系義歯清掃剤の長期使用はレジン床を変形させる。
- d 次亜塩素酸系義歯清掃剤の長期使用は金属床を変色させる。
- e 次亜塩素酸系義歯清掃剤の長期使用は金属床を変形させる。

84 人工歯根用材料としてのチタンで誤っているのはどれか。

- a 生体適合性が良好である。
- b 表面処理が可能である。
- c 耐食性が良好である。
- d オッセオインテグレーションを生じる。
- e 抗菌性を有する。

85 誤っているのはどれか。

- a エアター빈は圧縮空気でローターを回転させる。
- b エアター빈の回転数は 80 万回転/分以上である。
- c エアモーターは圧縮空気でローターを回転させる。
- d エアモーターはエアター빈よりトルクが大きい。
- e マイクロモーターはトルクのコントロールが正確にできる。